目次

重要　ご使用の際に必ず守っていただきたい注意事項などが書かれています。
メモ　補足説明やカメラの使いかたで参考になることが書かれています。

・本書ではデジタルカメラのことを「カメラ」と称しております。また、SD メモリーカードとマルチメディアカードのことを「メモリーカード」と称しております。

はじめに JP-5
取り扱い上のご注意 JP-5
安全に関する表示について JP-5
このカメラでできること JP-11
システムマップ JP-13
各部の名称 JP-14
画面に表示されるメニューとアイコンの名前 JP-17
“📷”静止画、“🎥”動画モードの表示 JP-17
“▶”再生モードの表示 JP-19
LED の表示 JP-21
セルフタイマー LED（赤） JP-21
カードアクセス LED（橙） JP-21
警告 LED（赤） JP-22
準備 JP-23
バッテリーパックを入れる JP-23
バッテリーパックを取り出す JP-24
充電する JP-25
メモリーカードを入れる JP-26
■ ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ　※SD メモリーカードのみ JP-26
メモリーカードを取り出す JP-27
電源を ON にする JP-28
■ バッテリー残量表示の見かたと充電の目安 JP-28
日付と時刻を合わせる JP-29
■ 日付の表示形式とは JP-29
付属品の使いかた JP-31
USB クレイドルの使いかた JP-31
ストラップの取り付けかた JP-32
カメラケースの使いかた JP-32
クリーナーの使いかた JP-33
フィルターアダプターの取り付けかた JP-33
撮る JP-34
静止画を撮影する JP-35
■ カメラぶれにご注意ください JP-35
■ 構えかた JP-36
■ シャッターボタンの半押し JP-37
■ メモリーカードが一杯になったら・・・ JP-37

次へ

連続して撮影する（連写）…… JP-39
動画を撮影する…… JP-42
　[fps] 動画のコマ数を決める（フレームレート）…… JP-44
撮影した画像をすばやく確認／消去する（Quick View）…… JP-46
　画像を確認する…… JP-46
　画像を消去する…… JP-47
撮影シーンを選んでフォーカスやストロボを自動設定する…… JP-48
　シーンモードを切り替える…… JP-48
　シーンモードを解除する…… JP-50
　マクロ／遠景モードを切り替える…… JP-51
　■ マクロ撮影のしかた…… JP-52
[セルフタイマー] セルフタイマーで撮影する…… JP-53
ズームを使って撮影する（望遠と広角）…… JP-55
　電子ズームの ON ／ OFF を選ぶ…… JP-56
ストロボを使う…… JP-58
　ストロボモードの種類…… JP-58
　設定のしかた…… JP-59
　各モードでのストロボ設定…… JP-60
　■ ストロボの光が届く距離…… JP-61
明るさを調節する…… JP-62
　[露出補正] 露出を補正する…… JP-62
　[ISO] ISO 感度を変えて動きの速い被写体を撮る…… JP-64
　[測光モード] 露出を合わせる範囲を選ぶ…… JP-66
フォーカス（ピント）を合わせる…… JP-68
　[フォーカス] ピントの合わせかたを選ぶ…… JP-68
　フォーカスを画面の中央以外に合わせる（フォーカスロック）…… JP-70
　■ ピントの合いにくい被写体…… JP-71
　[AF モード] 静止した被写体と動く被写体…… JP-72
[画素数] 画素数を選ぶ…… JP-73
　■ 画素数を選ぶときの目安…… JP-74
画像の色調などを調節する…… JP-75
　[WB] 光源の種類を選ぶ（ホワイトバランス）…… JP-75
　ホワイトバランスを手動で設定する…… JP-76
　[彩度] 鮮やかさを変える…… JP-77
　[シャープネス] 輪郭をくっきりさせる…… JP-79

再生する…… JP-80
静止画を再生する…… JP-81
　画像を拡大して表示する…… JP-82
　情報を表示する（ファイル No ／インフォメーション）…… JP-83
[一覧表示] 画像を一覧表示する…… JP-84
　一覧表示する…… JP-84
　■ マルチ表示／グループ表示時の画面と使いかた…… JP-86
　通常の再生（シングル表示）に戻すには…… JP-87

連写画像を再生する JP-88
動画を再生する JP-89
[▭] 自動的に次々と表示する（スライドショー） JP-90
スライドショーの設定をする JP-90
スライドショーの開始と終了 JP-93
[▭]/[▭] 不要な画像を消す JP-95
画像を一枚だけ消す（消去） JP-95
画像を選んで消す（選択消去） JP-96
すべての画像を消す（全消去） JP-98
[▭] 画像を消せないようにする（プロテクト） JP-99
プロテクトする JP-99
プロテクトを解除する JP-100
■ プロテクトと全消去を使った便利な画像の消しかた JP-101
[▭] 静止画に音声を入れる（アフレコ） JP-102
録音する JP-102
録音した音声を再生する JP-104
録音した音声を消去する JP-105
[▭] 画素数の変更とトリミング（リサイズ） JP-106
リサイズする JP-107
リサイズした画像の確認と消去 JP-109
すべての画像をリサイズする JP-110
リサイズ画像を全消去する JP-111
[▭] 画像を回転させる JP-113
[▭]DPOF でプリントの設定をする JP-114
DPOF の設定をする JP-114
インデックスプリントを設定する JP-116
プリント設定をすべて解除する JP-117
[▭] カメラをプリンターに接続してプリントする（PictBridge） JP-119
カメラとプリンターを接続する JP-119
プリントの設定をする JP-121
画像を一枚ずつプリントする JP-123
複数の画像をプリントする JP-124
DPOF の設定でプリントする JP-125
PictBridge を終了する JP-126
Windows パソコンにつなぐ JP-127
パソコンの使用環境 JP-127
USB ドライバーをインストールする
（Windows 98、Windows 98SE のみ） JP-128
Windows パソコンで画像を見る JP-130
■ メモリーカードのフォルダー構成 JP-132
Windows パソコンから USB ケーブルを取り外す JP-133
デバイスの削除と対処法（Windows 98、Windows 98SE のみ） JP-135

Macintosh パソコンにつなぐ JP-137
パソコンの使用環境 JP-137
Macintosh パソコンで画像を見る JP-138
■ メモリーカードのフォルダー構成 JP-140
Macintosh パソコンから USB ケーブルを取り外す JP-141
テレビにつなぐ JP-142
≪ビデオ出力端子を使ってテレビにつなぐ≫ JP-142
≪ D3 映像入力端子以上に対応したテレビで再生する≫ JP-144
情報を表示する（ファイル No 表示） JP-145
[ ] 画像を回転させる JP-146
[ ] 自動的に次々と表示する（スライドショー） JP-147
[ ] 画像を消せないようにする（プロテクト） JP-150
[ ] 画像を一枚だけ消す（消去） JP-151
設定 JP-152
[フォーマット]　メモリーカードを初期化する JP-153
[液晶の明るさ]　液晶モニターの明るさを調節する JP-154
[日付写し込み]　画像に日付を入れる JP-155
[オート OFF]　電源を自動的に OFF にして節電する JP-156
■ オート OFF 使用上のご注意（“ ”モード、“ ”モードのとき） JP-158
[操作音]　ボタンを押したときの音量を調節する JP-159
[シャッター音]　シャッター音の音量を調節する JP-160
[起動画面]　起動画面を選ぶ JP-161
コンタックスロゴの画面にする（シングル／マルチ） JP-161
ユーザー設定画面にする（シングル） JP-162
ユーザー設定画面にする（マルチ） JP-164
起動画面を OFF にする JP-166
[REC レビュー]　撮影直後に撮った画像を表示する JP-167
[言語 LANGUAGE]　メニューに表示する言語を選ぶ JP-168
[ビデオ出力]　テレビにつなぐときの出力形式を設定する JP-169
[起動モード]　カメラを起動したときのモードを設定する JP-170
[情報表示]　画面の情報を表示する方法を選ぶ JP-171
[連番リセット]　画像ファイルの名前を 0001 から始める JP-172
[設定リセット]　設定した機能を初期状態に戻す JP-174
メニューと初期設定の一覧表 JP-175
困ったときには JP-177
現象と処置 JP-177
メッセージとその処置 JP-180
デジタルカメラの基本用語解説 JP-182
索引 JP-186

取り扱い上のご注意

安全に関する表示について

この取扱説明書では、このカメラを安全に使用していただくために、以下のような表示をしています。内容をよくお読みいただき、正しく使用してください。

⚠ 危険	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合に、製品の使用者等が死亡または重傷を負う危険性が切迫して想定されることを示します。
⚠ 警告	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合に、製品の使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。
⚠ 注意	このマークは、製品を正しくお使いいただけなかった場合に、製品の使用者等が傷害を負う危険および物的損害の発生が想定されることを示します。

<カメラ使用上のご注意>

⚠ 警告	・カメラやバッテリーパックが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常を感じたときは、速やかにバッテリーパックを取り出してください。火災や火傷の原因となります。（バッテリーパックを取り出す際、火傷には十分ご注意ください。） ・カメラを分解、改造しないでください。高電圧がかかり感電する恐れがあります。 ・ストロボ撮影時、ストロボを人の目（とくに乳幼児）に近づけて撮影しないでください。目の近くでストロボを発光すると視力障害を起こす危険性があります。 ・移動しながらの撮影はおやめください。（事故の原因になります。） ・撮影時は被写体に気をとられすぎずに、周囲の状況にも十分注意をはらってください。

⚠ 注意	・海岸やほこりの多い所での撮影後は、カメラをよく清掃してください。潮風は金属を腐食し電子回路の断線ショートの原因となり、発煙・発火を起こすこともあります。また砂ぼこりは内部機構の作動不良を起こします。 ・寒いところから急に暖かい室内に持ち込むと、レンズがくもることがあります。しばらくするとくもりは消えますが、繰り返し行うとレンズやボディ内部に水滴が生じます。水滴は電子回路の断線、ショートの原因となり、発煙・発火を起こすこともあります。急激な温度変化はできるだけ避けてください。 ・カメラは精密な電子機器です。電子回路の断線による発煙・発火や機構の破損の原因となる落下や衝撃は避けてください。 ・このカメラは高性能 IC を使用した電子機器です。ご使用中に IC の放熱によりカメラが熱くなることがあります。故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。 ・**海外旅行や結婚式など大切な撮影のときは、前もって作動の確認、またはテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してから使用してください。**

次へ

- このカメラは防水機構になっていませんので、雨天や水中では使用できません。万一水に濡れてしまったときは、早めに当社サービスステーションにお持ちいただき、点検を受けてください。
- 撮影レンズなどを指紋などで汚すとカメラの精度に影響を及ぼしますので十分注意してください。もし汚れた場合はむやみに拭かず、付属のクリーナーや市販の眼鏡拭き用紙などで軽く拭く程度にしてください。また、ゴミやホコリはブロアーで吹き飛ばすかレンズ刷毛で払うようにしてください。
- 本体の汚れを落とすときは、柔らかな布などで拭いてください。ベンジンやシンナーなどの有機溶剤は本体破損の原因になりますので、絶対に使用しないでください。
- 撮影や再生直後など、カードアクセス LED が点滅しているときは、SD メモリーカードまたはマルチメディアカードを取り出さないでください。
- 強力な電磁波を発生させる場所（テレビやスピーカーのすぐ近くなど）では、画像が乱れて記録されたり、再生画像が乱れることがあります。
- 太陽に直接カメラを向けて撮影しないでください。カメラの CCD を損傷します。
- カメラを落下させたときは、外観に異常がなくても、内部が破損していたり、部品がはずれている場合があります。必ず当社サービスステーションにお持ちいただき、点検を受けてください。
- カード着脱部の内部には触れないでください。故障の原因となります。

＜カメラプレート／カメラケース（皮革）について＞

- 皮革は水、雨を嫌います。従って湿気やカビがつきやすいところでの保管は避けてください。
- 熱源または高温になる場所に近づけたり放置しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性のもので拭かないでください。
- 水拭きをしないでください。
- 濡れたときには、乾いた柔らかい布で軽く押すようにして水分を取り去り、通気性の良い場所で通気性の良い状態で保管してください。
- 水滴、汗などはシミの原因になります。
- 上質の皮革ほど色落ちがします。衣服などへの色落ちにご注意ください。
- レンズクリーナーを使用する際は、皮革への付着にご注意ください。

＜アクセサリーについて＞

本製品の機能をフルに活用していただくためにも、アクセサリー類は当社製品のご使用をおすすめします。市販されている他社製品、あるいは自作の製品を使用して生じた事故や故障については、当社では保証いたしかねます。

＜マイクロコンピューターの保護回路について＞

このカメラは外部の強力な静電気に対して、内部のマイクロコンピューターを保護するための安全回路を内蔵しています。この安全回路の働きにより、極めてまれにカメラが作動しなくなることがあります。このような場合はカメラの電源を OFF にし、一旦バッテリーパックを取り出して、もう一度入れ直してからご使用ください。

＜カメラの保管について＞

⚠注意	・カメラは湿気やほこりのある場所や防虫剤のあるタンス、実験室のように薬品を扱うところを避け、風通しのよいところに保管してください。電子回路の断線、ショートの原因となり、発煙・発火を起こすこともあります。

・熱い場所（夏の海辺、直射日光下の車内など）に長時間置いておくとカメラや SD メモリーカードまたはマルチメディアカード、バッテリーパック等の性能を低下させ、故障の原因となりますので放置しないでください。

・カメラを長期間使わないときはバッテリーパックを取り出しておいてください。バッテリーパックの液漏れなどによる事故を防ぎます。

＜液晶モニターについて＞

⚠注意	・液晶モニターの画面を強くこすったり、強く押したりすると故障やトラブルの原因になります。もしホコリやゴミなどが付着した場合は、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布などで軽く拭き取ってください。 ・万一液晶モニターが破損した場合、ガラスの破片などでケガをする恐れがありますので十分ご注意ください。 ・液晶モニターの破損により中の液晶が皮膚に付着した場合、すみやかに付着物を拭き取り、水で流し、石鹸でよく洗浄してください。また目に入った場合、きれいな水で最低 15 分間洗浄した後、すみやかに医師の診断を受けてください。

・液晶モニターの特性上、一部の画素で常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが故障ではありません。また記録される画像には何ら影響ありません。

・屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくくなる場合があります。

＜リチウムイオンバッテリーパック BP-1100S・使用上のご注意＞

⚠危険	・高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、炎天下など）や引火性ガスの発生するような場所での充電・放置はしないでください。発熱、発煙、発火、破裂の原因になります。 ・バッテリーパックの（＋）（－）端子を金属物などでショートさせないでください。発熱、発煙、発火の原因になります。 ・カギ、ネックレス、コインなどの金属物と一緒に保管はしないでください。金属片などと端子が接触してショートする恐れがあります。 ・火の中に投入したり、加熱しないでください。発熱、発煙、発火、破裂の原因になります。 ・分解や改造はしないでください。発熱、発煙、発火やバッテリーパック内の液が目に入り失明などの事故の原因になります。万一、バッテリーパックの液が目に入ったときはすぐにきれいな水で洗い流してただちに医師の治療を受けてください。 ・このバッテリーパックは本機専用です。充電の際は必ずカメラに装てんして充電してください。バッテリーパックを本機以外に使用したり、指定外の市販の充電器等で充電すると、発熱、発煙、発火、破裂の原因になります。

⚠ 警告	・電子レンジや高圧容器に入れないでください。液漏れ、発熱、発煙、発火、破裂の原因になります。 ・液漏れしたバッテリーパックを使用しないでください。バッテリーパック内の液が人体に付着すると傷害を起こす恐れがあります。万一、付着したらすぐにきれいな水で洗い流してください。 ・破損したバッテリーパックを使用しないでください。発熱、発煙、発火、感電の原因になります。

⚠ 注意	・水、雨水、海水などにつけたり、濡らしたりしないでください。発熱、発煙、発火、感電の原因になります。 ・濡れたバッテリーパックを使用・充電しないでください。発熱、発煙、発火、感電の原因になります。 ・乳幼児の手の届く場所には置かないでください。けがなどの事故の原因になります。 ・強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。液漏れの原因になります。 ・できるだけ、常温（20 ℃± 5 ℃）でご使用ください。夏期や冬期、閉め切った車内に放置するなど極端な高温や低温環境では、バッテリーパックの容量が低下し使用できる時間が短くなります。また、バッテリーパックの寿命も短くなります。 ・バッテリーパックを使用しない場合には、湿気の少ない場所に保管してください。

・バッテリーパックが充分に充電されていても、寒いところで使用する場合、バッテリーパックの使用できる時間が短くなります。その場合、充電済みの予備のバッテリーパックを用意してください。また使用時間を長くするためには、ポケットなどに入れて保温し、撮影直前にカメラに入れて使用してください。
・バッテリーパックを常温で使用した場合、約 300 回繰り返し使えます。撮影枚数が著しく少なくなった場合は電池の寿命です。新しい電池をお買い求めください。
・充電は専用のバッテリーパックとクレイドル（付属）を使用して、室温（10 ℃～ 35 ℃）で行ってください。室温範囲外で充電すると、充電時間が長くなったり充分な充電ができないことがあります。また継ぎ足し充電は可能ですが、充電完了したバッテリーパックを続けて再充電すると性能が劣化します。
・バッテリーパックを保管するときは、涼しいところに保管してください。極端に暑いところや寒いところに保管すると、性能が劣化します。
・しばらく使用しないときは、バッテリーパックをカメラから取り出してください。取り付けたままにすると、カメラの電源が切れていても微小電流が流れて過放電になり、使用できなくなる場合があります。
・バッテリーパックを取り外すと、カメラに設定した日付と時刻がリセットされることがあります。その場合、設定し直してください。
・保管する場合、バッテリーパックを使い切った状態（LOW BATTERY）で保管してください。また、保管が長期間になる場合は、年に 1 回程度充電した後、使い切った状態にしてから保管してください。（LOW BATTERY にするには、カメラのスライドショーを使用して放電してください。）
・バッテリーパックの端子が汚れたら、乾布で端子をきれいにしてください。

Li-ion

リチウムイオンバッテリーパック
使用後はリサイクルへ

小形二次電池再資源化推進センター

当社は JBRC（小形二次電池再資源化推進センター）に加盟し、リサイクルを実施しています。使用済みの充電式電池のリサイクルに御協力下さい。（http://www.jbrc.com）

＜ ACアダプター使用上のご注意＞

⚠警告	・プラグの抜き差しが不完全な状態で使わないでください。接触不良により発熱し、火災や感電の原因になります。 ・コードを加工したり無理な力を加えたりしないでください。コードが傷つき火災や感電の原因になります。芯線が露出するほど痛んだ場合は使用を中止し、ご購入店または当社サービスステーションにご相談ください。 ・カバーをはずしたり、分解、修理、改造しないでください。感電する危険があります。 ・プラグにほこりがついた状態で使用したり、金属を近づけたりしないでください。電気が金属を伝わり、火災や感電の原因になります。ほこりがたまったときは、プラグをコンセントから抜き、ほこりを取り除いてください。 ・煙や異臭、異音がでたり、落下、破損したときは使用を中止してください。そのまま使用すると火災の原因になります。そのような場合は、ご購入店か当社サービスステーションにご相談ください。 ・AC アダプターは家庭用電源コンセント（AC100 ～ 240V、50/60Hz）以外にはつながないでください。指定外の電圧や電源で使用すると火災や感電の原因になります。

⚠注意	・AC アダプターは必ず専用品をご使用ください。指定外の AC アダプターを使用すると思わぬ事故や火災の原因になることがありますのでご注意ください。 ・コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足すなどは絶対にしないでください。コードが傷ついたり断線したり火災や感電の原因になることがあります。容量の低いタップなどにコードを継ぎ足すと火災や感電の原因になります。 ・濡れた手でAC アダプターを抜き差ししないでください。感電する恐れがあります。 ・コンセントからの抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを引っ張るとコードが傷ついたり断線したり火災や感電の原因になることがあります。 ・この AC アダプターは、本機専用です。火災や感電の危険防止のため、指定されたデジタルカメラ以外には使用しないでください。 ・AC アダプターの傷、断線、プラグの接触不良などにお気づきのときは使用を中止して早めにご購入店または当社サービスステーションにご相談ください。

・AC アダプターは長時間使用すると若干熱を持ちますが、故障ではありません。
・長時間使用しないときは安全のため先に USB クレイドル側のプラグを抜き、その後コンセント側のプラグを抜いてください。
・カメラにバッテリーパックをセットした状態で AC アダプターを使う場合、カメラの電源を OFF にしてAC アダプターの抜き差しを行ってください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
航空機の機内や病院など、使用を禁止された場所ではカメラの電源を OFF にしてください。電子機器などに影響を与え事故の原因となります。

ためし撮りと撮影内容の補償について

必ず事前にためし撮りをし、画像が正常に記録されていることを確認してください。 万一本機や記録媒体（SDメモリーカードまたはマルチメディアカード）の不具合により、撮影画像の記録やパソコンへの読み込みが行われなかった場合の記録内容の補償についてはご容赦ください。

著作権について

あなたが、 実演や興行・展示物などを撮影したものは、個人で楽しむなどの他は、著作権法上、 権利者に無断で使用できません。 なお、実演や興行・展示物などのうちには、個人で楽しむなどの目的であっても、 撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

- SD ロゴは商標です。
- MultiMediaCard™ は、ドイツ Infineon Technologies AG 社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）へライセンスされています。
- Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Macintosh および Mac OS、QuickTime™ および QuickTime ロゴは、Apple Computer,Inc. の登録商標です。
- PRINT Image Matching および PRINT Image Matching II に関する著作権はセイコーエプソン株式会社が所有しています。
- Adobe, Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- 商標 DPOF は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士フイルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書 Version1.00 に対する著作権を保有しています。
- すべての会社名、ブランド名または商品名は、それらの所有者の登録商標または商標です。

PRINT Image Matching

＊本製品は PRINT Image Matching II に対応しています。PRINT Image Matching II 対応プリンターでの出力および対応ソフトウエアでの画像処理において、撮影時の状況や撮影者の意図を忠実に反映させることが可能です。

PictBridge

＊本製品は、PictBridge に対応しております。本製品は PictBridge 対応プリンターに直接接続し、デジタルカメラのモニタ上で写真選択や印刷開始を指示することができます。

このカメラでできること

薄型ボディでレンズ側のユニットと液晶モニター側のユニットが回転できるこのカメラは、従来のデジタルカメラにはない多様な使いかたが可能です。

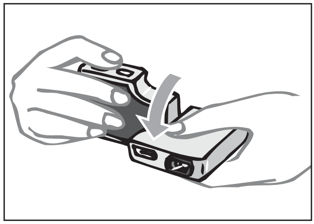
●スタイリッシュな薄型ボディ

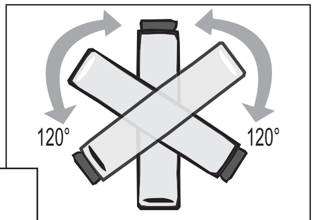
厚さ約 19mm のスタイリッシュな薄型ボディ。
ポケットなどに入れて手軽に持ち運べ、気軽に撮影できます。

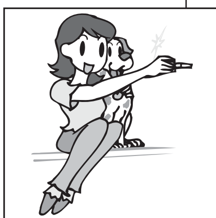


●レンズユニットと液晶モニター側が回転

レンズ側のユニットと液晶モニター側のユニットは± 120゜の範囲で自由に回転できます。
レンズ側のユニットを撮影者側に向ければ、液晶モニターで画像を確認しながらセルフポートレート（自写像）が撮影できます。
レンズ側のユニットの角度を変えれば、人垣の頭越しでも、潜望鏡のように画像を確認しながら撮影できます。









次へ

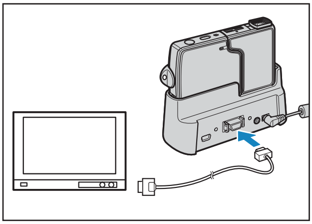
●設置しやすい平面ボディ

レンズ側のユニットと液晶モニター側のユニットを角度 0°に戻せば、設置性が良好な平面ボディになります。
セルフタイマー撮影時やマクロ撮影時などでカメラを安定させたいときに便利で、画像は液晶モニターを上からのぞいて確認できます。

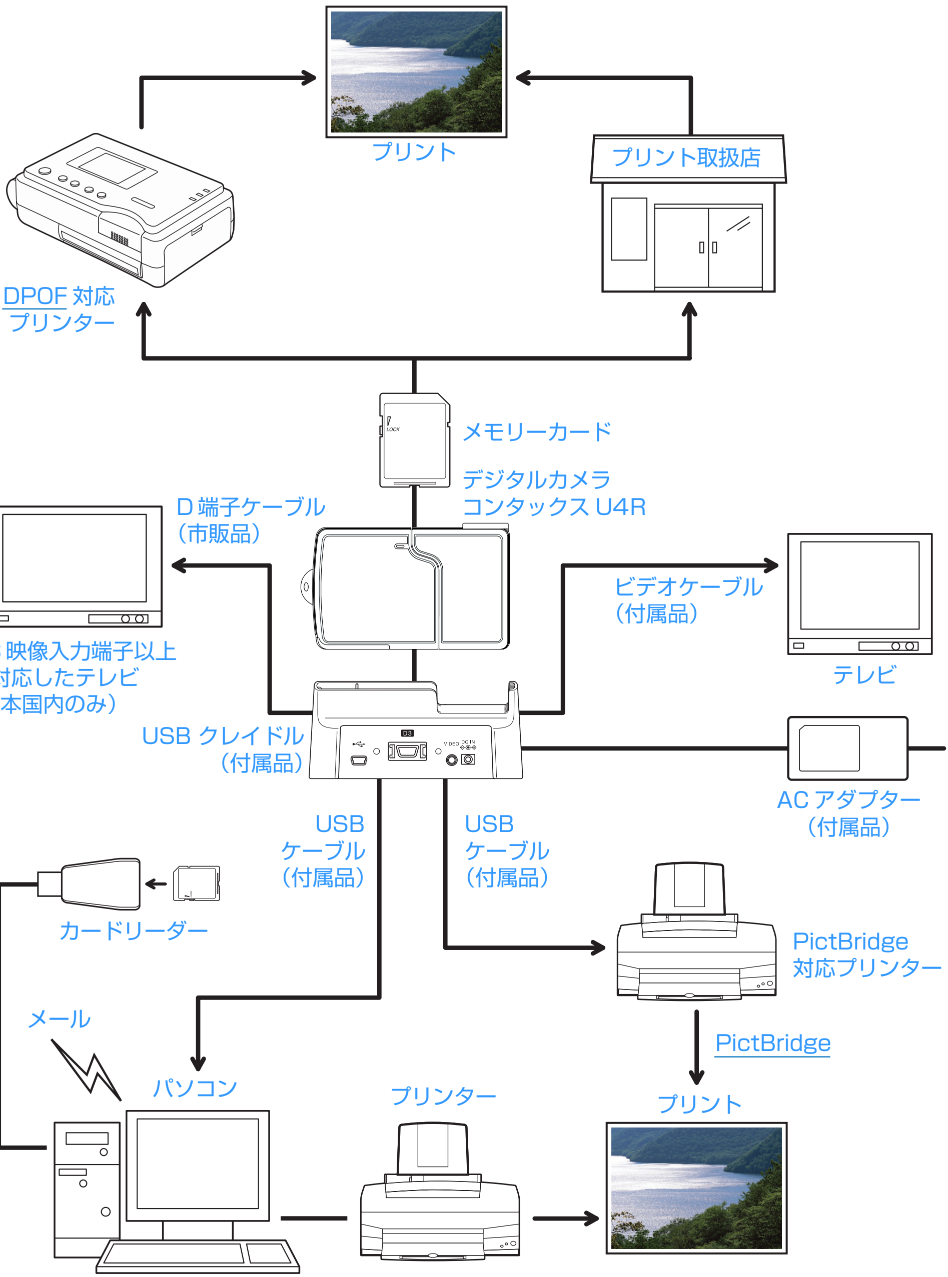


●高精細な画像をテレビで楽しめる D3 映像出力端子

有効走査線数 1080 本の D3 映像出力端子を USB クレイドルに装備しています。
D3 映像入力端子以上に対応したテレビに接続すると、より精細に撮影画像を見ることができます。
* D1 映像入力端子、D2 映像入力端子には対応しておりません。

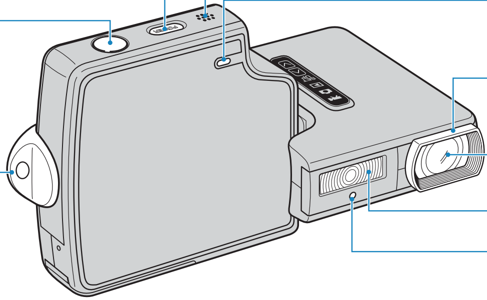


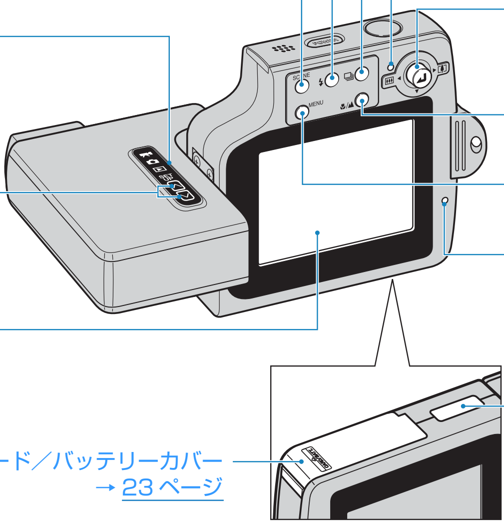
システムマップ



プリント
プリント取扱店
DPOF 対応
プリンター
メモリーカード
デジタルカメラ
コンタックス U4R
D 端子ケーブル
（市販品）
ビデオケーブル
（付属品）
D3 映像入力端子以上
に対応したテレビ
（日本国内のみ）
テレビ
USB クレイドル
（付属品）
AC アダプター
（付属品）
USB
ケーブル
（付属品）
USB
ケーブル
（付属品）
カードリーダー
PictBridge
対応プリンター
メール
PictBridge
パソコン
プリンター
プリント

各部の名称

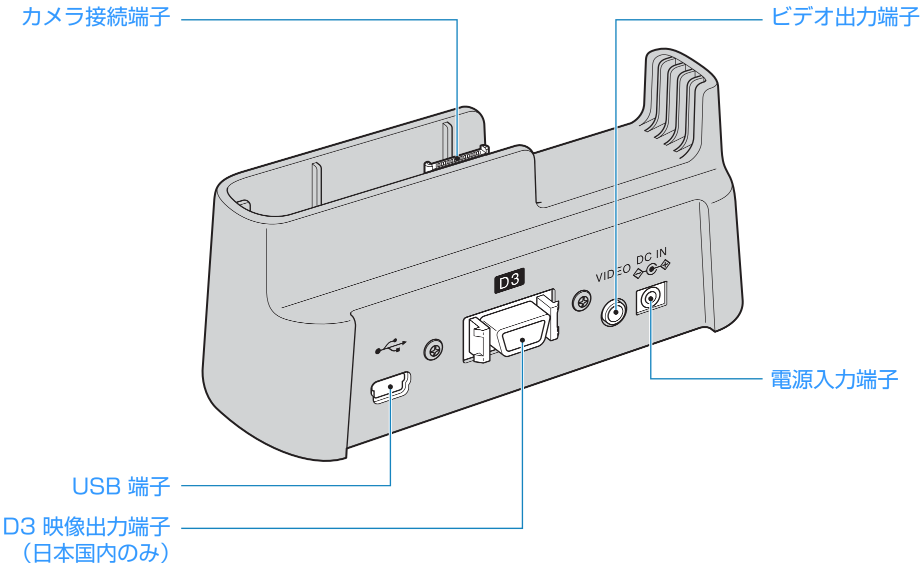

POWER ボタン (POWER)
→ 28 ページ
シャッターボタン
→ 36 ページ
ストラップ取り付け部
→ 32 ページ
スピーカー
マイク
レンズフード
レンズ／カバーガラス
ストロボ発光部
セルフタイマー LED


ストロボボタン
→ 58 ページ
SCENE ボタン
→ 48 ページ
モード切替表示 LED
モードボタン
液晶モニター
カード／バッテリーカバー
→ 23 ページ
連写ボタン
→ 39 ページ
警告 LED
選択レバー ▲▼◀▶ ／
（◀：ズーム （広角側）
▶：ズーム （望遠側））
マクロ／遠景ボタン
→ 51 ページ
MENU ボタン
カードアクセス LED
USB クレイドル端子

次へ

● USB クレイドル

USB クレイドルは、 バッテリーパックの充電やパソコン・プリンター・テレビ・D3 映像入力端子以上に対応したテレビ（日本国内のみ）につなぐときに使います。



●各種の機能

このカメラはモードボタンを押すことでモードを切り替え、様々な機能を活用できます。
また、液晶モニター側にあるボタンを使って様々なシーンに応じた設定で撮影ができます。

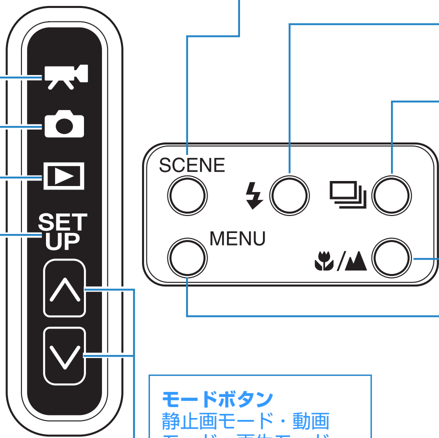
撮影（動画）
臨場感なら動画撮影。撮影と同時に音声も記録できます。（→ 42 ページ）

撮影（静止画）
4.0 メガピクセルの高性能 CCD により、高画質な静止画像を撮影できます。
（→ 35 ページ）

再生
撮影した画像を液晶モニターに表示します。画像のリサイズ、トリミングもできます。（→ 80 ページ）

セットアップ
AF（オートフォーカス）や液晶モニターの明るさなど、様々な機能を設定できます。
（→ 152 ページ）

SCENE ボタン
夜景やポートレートなど、様々な撮影シーンに対応した最適な設定が可能です。
（→ 48 ページ）



モードボタン
静止画モード・動画モード・再生モード・セットアップモードを切り替えます。

ストロボボタン
各種ストロボの設定をすることができます。
（→ 58 ページ）

連写ボタン
連続撮影を行うことができます。スポーツ撮影などで威力を発揮します。
（→ 39 ページ）

マクロ／遠景ボタン
近くの被写体や風景を撮影するのに最適な設定をすることができます。
（→ 51 ページ）

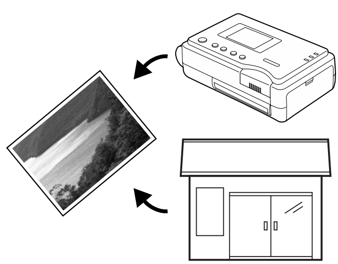
MENU ボタン
静止画モード・動画モード・再生モードで、各種設定を行うことができます。

「パソコンにつなぐ」、「プリント取扱店でプリントにしてもらう」 など、デジタルカメラならではの楽しみかたもできます。

パソコンにつなぐ
専用の USB クレイドルと USB ケーブルでカメラとパソコンを接続すると、撮影した画像をフォトレタッチソフトを使ってパソコンで加工したり、E メールに添付して送信するなど、デジカメならではの多様な使いかたが可能になります。
※Windows 98、Windows 98SE は付属の CD-ROM を使って USB ドライバーをインストールする必要があります。（→ 128 ページ）



デジタルプリントする
撮影した画像はプリンターから出力できるほか、プリント取扱店にメモリーカードごと持ち込んでプリントしてもらうことができます。
※サービス内容について詳しくはプリント取扱店にお問い合わせください。



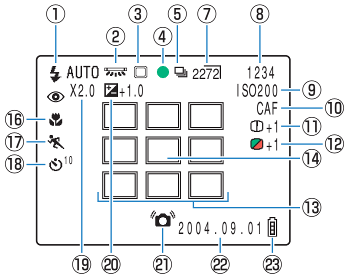
前へ

画面に表示されるメニューとアイコンの名前

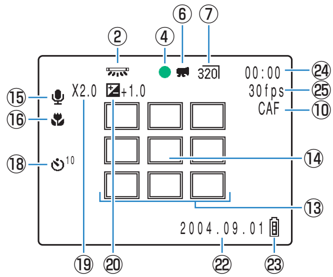
“📷” 静止画、“🎥” 動画モードの表示

●通常画面での表示

📷 静止画モード



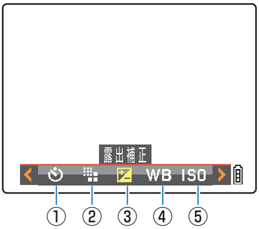
🎥 動画モード

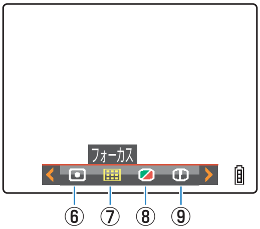


① ストロボモード → <u>58 ページ</u>
② <u>ホワイトバランス</u> → <u>75 ページ</u>
③ 測光モード → <u>66 ページ</u>
④ 撮影マーク
⑤ 連写モード → <u>39 ページ</u>
⑥ 動画モード→ <u>42 ページ</u>
⑦ 画素数 → <u>73 ページ</u>
⑧ 撮影可能枚数
⑨ ISO 感度 → <u>64 ページ</u>
⑩ AF モード → <u>72 ページ</u>
⑪ シャープネス → <u>79 ページ</u>
⑫ 彩度 → <u>77 ページ</u>
⑬ フォーカスフレーム（マルチ AF）→ <u>68 ページ</u>
⑭ フォーカスフレーム（スポット AF）→ <u>68 ページ</u>
⑮ 音声マーク
⑯ マクロ／遠景モード → <u>51 ページ</u>
⑰ シーンモード → <u>48 ページ</u>
⑱ セルフタイマー → <u>53 ページ</u>
⑲ 電子ズーム → <u>55 ページ</u>
⑳ <u>露出補正</u>→ <u>62 ページ</u>
㉑ 手ぶれ警告
㉒ 日付
㉓ バッテリー残量表示
㉔ 撮影前：撮影可能時間／撮影中：撮影時間
㉕ フレームレート → <u>44 ページ</u>

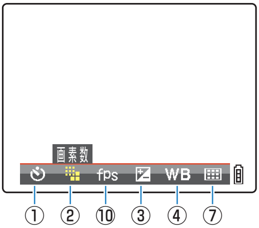
● MENU ボタン ◯MENU を押したときの表示

📷 静止画モード





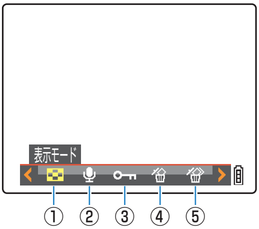
動画モード

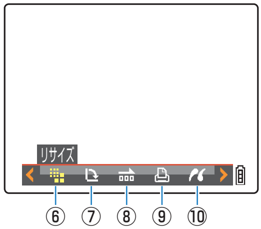


① セルフタイマー → 53 ページ
② 画素数 → 73 ページ
③ 露出補正
④ ホワイトバランス → 75 ページ
⑤ ISO
⑥ 測光モード
⑦ フォーカス
⑧ 彩度
⑨ シャープネス
⑩ フレーム／秒 → 44 ページ

“▶” 再生モードの表示

● MENU ボタン ◯MENU を押したときの表示







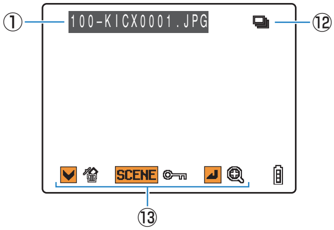
※ D3 映像入力端子以上に対応したテレビで再生時

① 表示モード → 84 ページ
② アフレコ → 102 ページ
③ プロテクト → 99 ページ／ 150 ページ
④ 消去 → 95 ページ／ 151 ページ
⑤ 複数消去 → 96 ページ

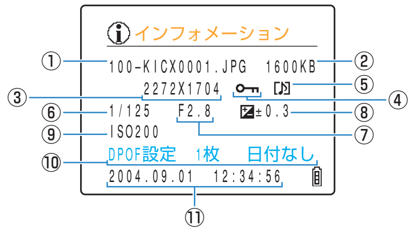
⑥ リサイズ → 106 ページ
⑦ 回転 → 113 ページ／ 146 ページ
⑧ スライドショー → 90 ページ／ 147 ページ
⑨ DPOF → 114 ページ
⑩ PictBridge → 119 ページ

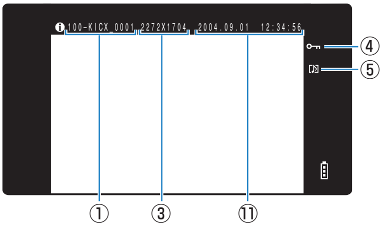
●選択レバーを ▲ に倒したときの表示

ファイル No 表示（▲1 回）



インフォメーション表示（▲2 回）





※ D3 映像入力端子以上に対応した
テレビで再生時

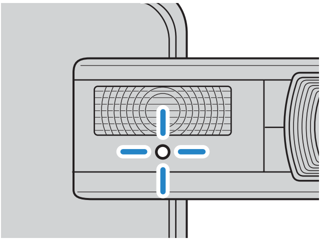
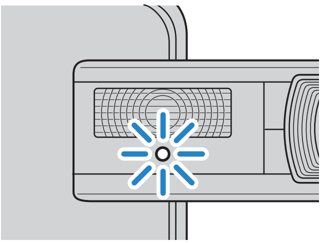
① フォルダー番号とファイル名 → 132 ページ
② ファイル容量
③ 画素数 → 73 ページ
④ プロテクトの状態
⑤ 音声の有無
⑥ シャッタースピード
⑦ 絞り値
⑧ 露出補正値 → 62 ページ
⑨ ISO 感度 → 64 ページ
⑩ DPOF 設定の内容 → 114 ページ
⑪ 撮影日時
⑫ 連写マーク
⑬ 操作ガイド

※操作ガイドは、 その画面で操作できるボタンのガイドを示しています。

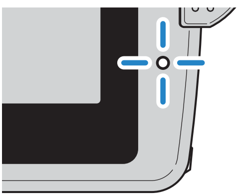
LED の表示

このカメラには 3 つの LED が付いています。これらの光りかたにより、カメラが今どのような状態であるかをお知らせします。

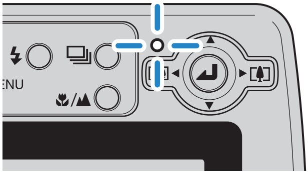
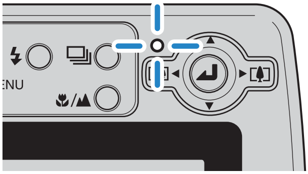
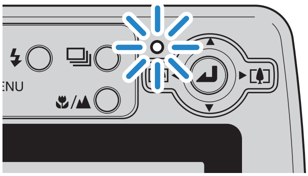
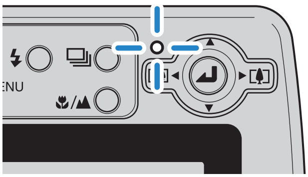
セルフタイマー LED（赤）

<table>
<tr><td>
点滅</td><td>セルフタイマーが作動しているとき</td></tr>
<tr><td rowspan="5">
点灯</td><td>動画を撮影しているとき</td></tr>
<tr><td>シャッターが作動して撮影が完了したとき（連写時は点灯しません）</td></tr>
<tr><td>再生モードに設定しているとき</td></tr>
<tr><td>セットアップモードに設定しているとき</td></tr>
<tr><td>パソコンにつないでいるとき</td></tr>
</table>

カードアクセス LED（橙）

<table>
<tr><td>
点滅</td><td>画像などのファイルをメモリーカードに記録したり、読み込んだりしているときなど、メモリーカードにアクセスしているときに点滅します。
点滅中は、カード／バッテリーカバーを開けたり、メモリーカードの取り出しは絶対に行わないでください。ファイルがこわれたり、場合によってはカメラが故障する原因になります。</td></tr>
</table>

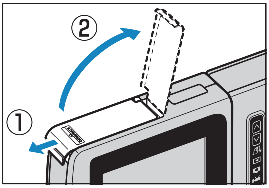
警告 LED（赤）

静止画モード 動画モード	 速い点滅	シャッタースピードが遅くなっていますので、カメラぶれに注意して撮影してください。
	 遅い点滅	ストロボを充電していますので、次の撮影は点滅が終わるまでお待ちください。
バッテリーパックの充電	 点灯	充電中です。
	 点滅	バッテリーパック、AC アダプター、カメラのいずれかに異常があると考えられます。

バッテリーパックを入れる

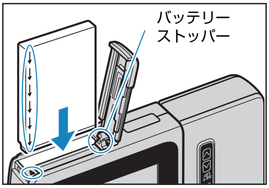
1 カード／バッテリーカバーを開ける。

カード／バッテリーカバーを「▲」方向にスライドして開きます。



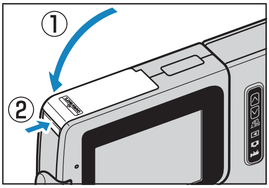
2 付属品のバッテリーパック（BP-1100S）を入れる。

図のようにカメラの「△」とバッテリーパックの「↓」を合わせ、バッテリーストッパーが確実にロックされるまで入れます。



3 カード／バッテリーカバーを閉める。

カバーを閉じ、「▲」方向とは逆にスライドしてロックします。

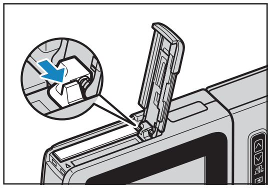


重要　バッテリーパックを逆向きに入れると故障の原因になりますので、カメラの「△」とバッテリーパックの「↓」を合わせ、必ず正しい向きに入れてください。

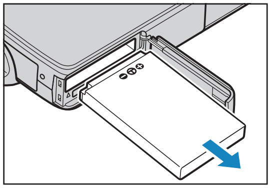
バッテリーパックを取り出す

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認してカード／バッテリーカバーを開ける。

2 バッテリーパックを押さえているツマミを指先でスライドして外す。



3 バッテリーパックをつまんで引き出す。



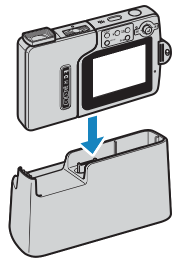
重要
- バッテリーパックを落とさないように注意してください。落下による強い衝撃は液漏れの原因になります。
- カメラの使用状態により、バッテリーパックが熱くなっている場合があります。バッテリーパックを取り出す際はご注意ください。

メモ バッテリーパックを長い期間使用しないときは涼しいところに保管してください。

充電する

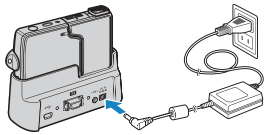
重要　充電する前にカメラにバッテリーパックが入っていることを確認してください。

1 カメラを USB クレイドルに取り付ける。



メモ　USB クレイドルの取り付けかたは「USB クレイドルの使いかた」（→ 31 ページ）をご覧ください。

2 AC アダプターを USB クレイドルにつないで充電する。



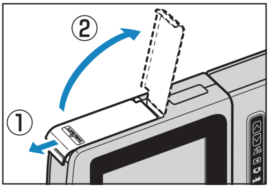
充電時間は約 4 時間です。
電源は OFF にしておいてください。
充電中は警告 LED（赤）が点灯し、約 3 時間後に消灯して 90%の充電が完了します。
さらに約 1 時間そのままにしておくとフル充電となります。

重要
- お買い上げいただいた直後はフル充電が必要です。
- バッテリーパック単体またはバッテリーパックを入れたカメラを高温で放置したり、繰り返し充電を行うとバッテリーパックが劣化して撮影枚数が減少します。そのときは新しいバッテリーパックに交換してください。
- カメラを USB クレイドルから取り外し、電源を ON にするとバッテリー残量を確認できます。（→ 28 ページ）

メモ　AC アダプターは 240V まで対応しています。海外で充電する場合は、その国の電圧・コンセントに合った AC アダプターケーブルとプラグをご使用ください。変圧器などは必要ありません。

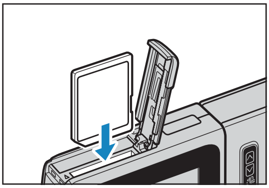
メモリーカードを入れる

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認して、カード／バッテリーカバーを開ける。



カード／バッテリーカバーを「▲」方向にスライドして開きます。

2 メモリーカードを入れる。



メモリーカードはラベル面を液晶モニター側にして差し込みます。
差し込むときは、「カチッ」と音がして止まるところまで差し込んでください。

重要
- 差し込みがスムーズでない場合は、メモリーカードの裏表を誤って差し込んでいるおそれがあります。無理に差し込まずに、カードの裏表を確認してください。
- メモリーカードにシールなどを貼らないでください。取り出せなくなることがあります。

3 カード／バッテリーカバーを閉める。

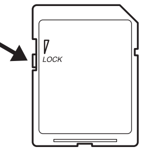
カバーを閉じ、「▲」方向とは逆にスライドしてロックします。

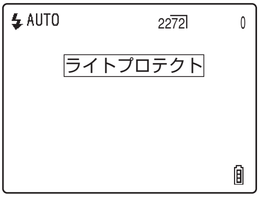
メモ　このカメラの性能を充分に発揮するために、撮影する前に本機でメモリーカードをフォーマットしてください。（→ 153 ページ）

■ライトプロテクト（書き込み禁止）スイッチ　※ SD メモリーカードのみ

SD メモリーカードにはライトプロテクトスイッチがついています（一部スイッチがないカードもあります）。
このスイッチを下にスライドするとカードへのファイル書き込みが禁止され、カードに保存されている画像などのファイルが保護されます。
“📷”、“🎥” モードでは、ライトプロテクトされたカードがカメラに入っていると、液晶モニターに“ライトプロテクト”と表示されます。
ライトプロテクトされたカードは撮影や加工ができません。また、カード内の画像を消去したり、フォーマットすることもできません。

ライトプロテクトスイッチ
（これを下げるとプロテクトがかかります）

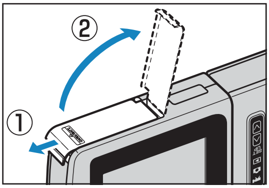




メモリーカードを取り出す

1 カメラの電源が OFF になっていることを確認して、カード／バッテリーカバーを開ける。

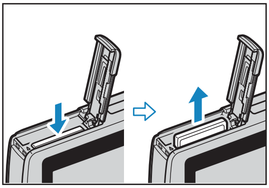
カード／バッテリーカバーを「▲」方向にスライドして開きます。



❢ **重要** カードアクセス LED が点滅しているときは、メモリーカードに画像を記録しています。点滅中にカード／バッテリーカバーを開けたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。ファイルがこわれたり、場合によってはカメラが故障する原因になります。

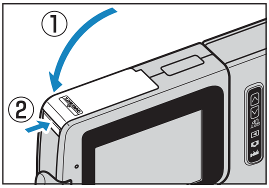
2 メモリーカードを指先で軽く押す。

メモリーカードを軽く一回押すと少し飛び出しますので、それを指でつまんで取り出してください。



3 カード／バッテリーカバーを閉める。

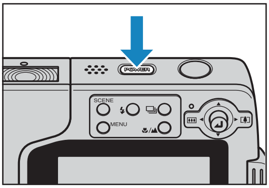
カバーを閉じ、「▲」方向とは逆にスライドしてロックします。



電源を ON にする

重要　電源を ON にする前にカメラにメモリーカードが入っていることを確認してください。

1 POWER ボタン (POWER) を押す。



起動画面が現れ、数秒後に各モードの画面に変わります。

メモ
- 電源が ON の状態で POWER ボタン (POWER) を押すと、電源が OFF になります。
- 電源を ON にしたときのモードを静止画モードにするか、前回電源 OFF 時のモードにするか設定できます。(→ 170 ページ)

■バッテリー残量表示の見かたと充電の目安


バッテリーの容量は十分です。

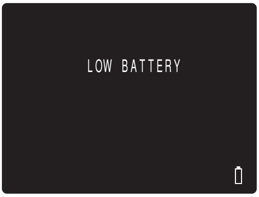

約 70%使った状態です。


残り少ない状態です。早めに充電してください。


カメラは作動しません。充電してください。

バッテリーが完全に消耗すると、液晶モニターには “LOW BATTERY” が表示されます。

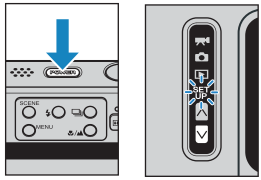
デジタルカメラは動作環境により、消費電量が大きく変わります。カメラの動作状態によっては、表示上でバッテリー容量が残っていても電源が OFF になる場合があります。その際は充電してください。



日付と時刻を合わせる

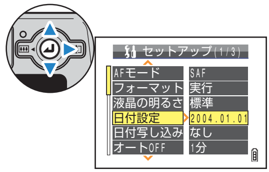
初めてご使用になるときは、日付と時刻を合わせてください。
また、バッテリーパックを取り出したときや、カメラを長い期間お使いにならなかったときも日付がリセットされていることがありますので、この場合も日付と時刻を合わせ直してください。

1 電源をONにし、モードボタン⋁を押してモード切替表示 LED の “SET UP” を点灯させる。



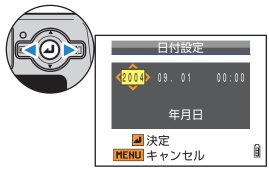
セットアップメニュー画面が表示されます。

2 選択レバーを▲または▼に倒して[日付設定]を選び、選択レバーを▶に倒す。



日付設定の詳細画面が表示されます。

3 選択レバーを◀または▶に倒し、設定する項目を選ぶ。



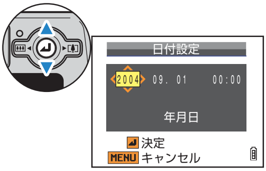
選択レバーを ◀ または ▶ に倒すと、項目は「年」⇔「月」⇔「日」⇔「時」⇔「分」⇔「日付の表示形式」の順に切り替わります。

■日付の表示形式とは

年、月、日の並び順です。右の 3 通りの表示形式から選ぶことができます。
日付の写し込みは、ここで設定した表示形式で写し込まれます。
(→ 155 ページ)

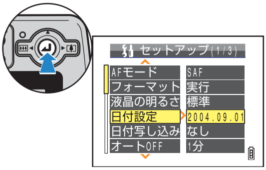
並び順	表示例
年月日	2004. 08. 21
月日年	08. 21. 2004
日月年	21. 08. 2004

4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒し、年月日の変更／表示形式を選ぶ。



5 ⏎ を押す。

設定を終了し、セットアップメニュー画面に戻ります。



メモ　このカメラでは、撮影したときの日付と時刻が画像ファイルと一緒にメモリーカードに保存されます。日付を設定しておくと、パソコンを使って画像を管理するときに便利です。

付属品の使いかた

USB クレイドルの使いかた

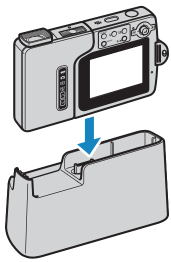
USB クレイドルはバッテリーパックを充電するときや、カメラをパソコン・プリンター・テレビ・D3 映像入力端子以上に対応したテレビ（日本国内のみ）につなぐときなどに使います。

重要 カメラを USB クレイドルに取り付ける／取り外すときは、カメラの電源が OFF になっていることを確認してください。

●カメラを USB クレイドルに取り付ける。

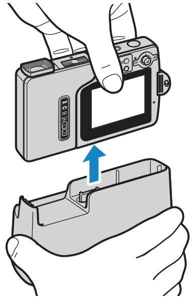
図の向きにカメラを取り付けてください。

重要 カメラの向きを逆に入れないでください。逆に入れるとカメラやクレイドルを破損する恐れがあります。



●カメラを USB クレイドルから取り外す。

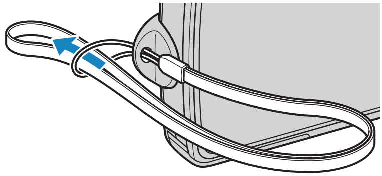
図のようにカメラと USB クレイドルを持って取り外してください。



重要 カメラがパソコンやプリンターと通信状態にあるときに、カメラを USB クレイドルから取り外さないでください。ファイルがこわれたり、場合によってはカメラが故障する原因になります。

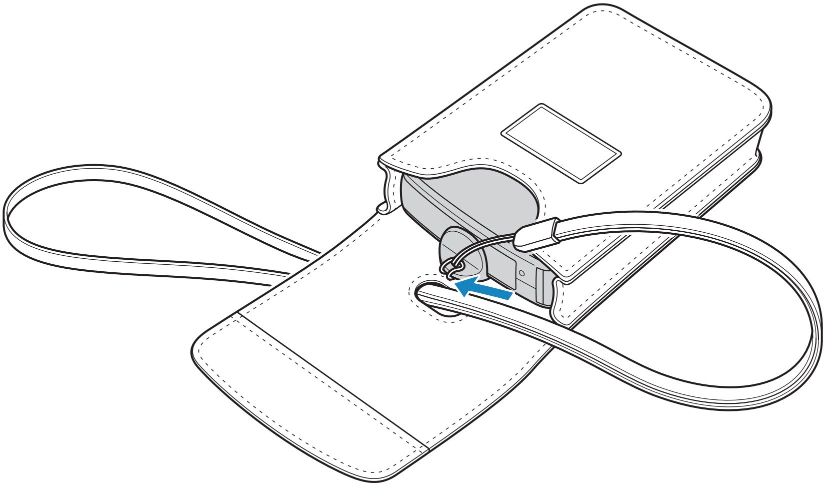
ストラップの取り付けかた

図のように取り付けてください。



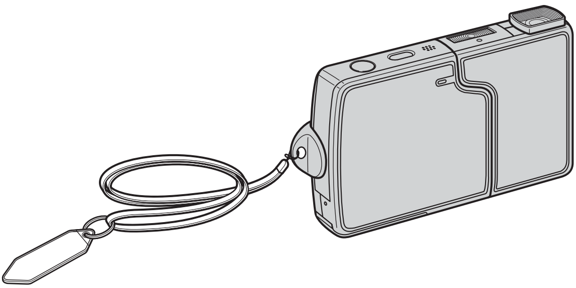
カメラケースの使いかた

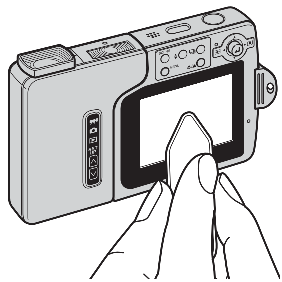
図のようにして使います。



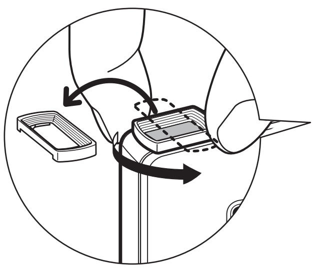
クリーナーの使いかた

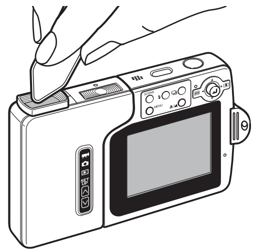
図のようにストラップに取り付けてください。
クロスが貼ってある側で、レンズや液晶モニターを清掃します。





レンズを清掃する際は、レンズフードを取り外してからクリーナーで拭いてください。
レンズフードを取り外すには、指先でレンズフードをつまみ、反時計回りに回転させます。





フィルターアダプターの取り付けかた

レンズフードを取り外してから、フィルターアダプターを時計回りに回転させて取り付けます。
フィルターは、市販の 28mm 径のものをご使用ください。

重要
- フィルターアダプターはフィルター専用です。フィルター以外のコンバージョンレンズなどを取り付けないでください。
- ストロボは使用しないでください（発光禁止モード）。正しい露出が得られません。
- フィルターの種類によっては、露出、ピントに影響があります。ご確認の上ご使用ください。
- レンズフードを取り外すときは、レンズに直接指先を触れないようご注意ください。
- レンズフードをなくさないようご注意ください。

撮る

この章では、静止画や動画を撮影する方法を説明します。

▼ご覧になりたい撮影モードをクリックしてください。

静止画を撮影する	連続して撮影する	動画を撮影する
撮影した画像を すばやく確認する （Quick View）	シーンモードで撮影する	セルフタイマーを使う
ズームを使って撮影する	ストロボを使う	明るさを調節する
フォーカス（ピント）を 合わせる	画素数を選ぶ	画像の色調などを 調節する

この章では各見出しの下に、どのモードで使用できるかアイコンですぐわかるようにしています。
アイコンの意味は下記のとおりです。

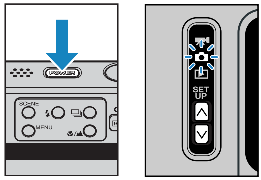
対応モード：📷　　📷（静止画モード）で使用できます。
対応モード：🎥　　🎥（動画モード）で使用できます

静止画を撮影する

《対応モード：📷》

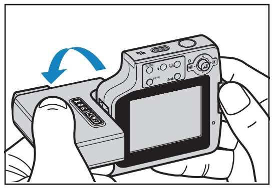
このカメラでは静止画や連写、動画など、様々な撮影を行うことができます。まず、静止画を撮影してみましょう。

1 POWER ボタン POWER を押してカメラの電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の“📷”を点灯させる。



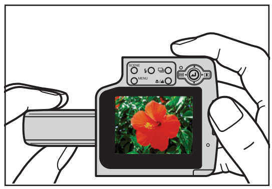
起動画面に続いて、日付が約 3 秒間表示されます。
日付が正しいか確認してください。

2 液晶モニターを手前に向けたまま、カメラの左側（レンズ側のユニット）を軽くひねる。



液晶モニターの見やすい角度を選びながらレンズ側のユニットをひねり、レンズを被写体に向けます。

3 液晶モニターを見ながら構図を決める。



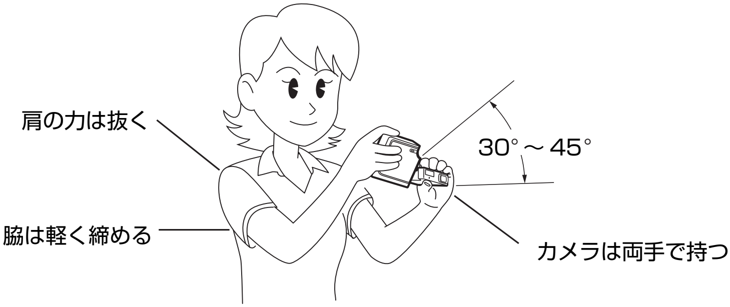
メモ 選択レバーを ▶ に倒すと画像が拡大され、選択レバーを ◀ に倒すと拡大された画像が元に戻ります。（→ 55 ページ）

■カメラぶれにご注意ください

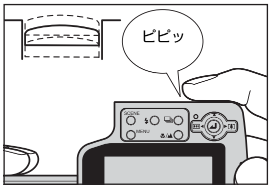
カメラぶれとは、撮影時にカメラが揺れたために画像がボケてしまう現象です。シャッタースピードが遅いときやマクロ撮影のときに起こりやすくなります。特にマクロ撮影では拡大率が大きく、さらに被写界深度が極端に浅くなるのでシャッターボタンを押したときのカメラの小さな揺れが画像に大きく影響してしまいます。
このような場合は、カメラを安定した場所に設置して撮影します。また、シャッターボタンを押したときにカメラが揺れるのを防ぐために、セルフタイマー（→ 53 ページ）を併用するとより効果的です。

■構えかた

液晶モニターを手前に向けた状態で、左手はレンズ側のユニットをはさむように持ち、右手は液晶モニター側のユニットを持ちます。レンズ、ストロボ発光部に指がかからないように注意してください。レンズ側のユニットと液晶モニター側のユニットを 30° ～ 45° に傾けると、持ちやすくなります。



4 シャッターボタンを半押しして、ピントを被写体に合わせる。



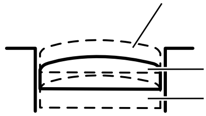
「ピピッ」という音がして、液晶モニター画面に緑色の撮影マーク“●”が点灯し、フォーカスフレームが緑色になると、ピント合わせは完了です。

メモ

- 撮影マーク“●”が点滅しているときは、ピントが合っていません。撮影マーク“●”が点灯してピントが合うまでシャッターボタンを半押しし直してください。
- フォーカスフレーム（→ 68 ページ）を［マルチ AF］に設定している場合は、ピントが合ったフレームが緑色に点灯します。
- フォーカスが無限遠に固定されている場合（トワイライトモード、夜景モード、遠景モード）、フォーカスフレームは表示されません。

■シャッターボタンの半押し

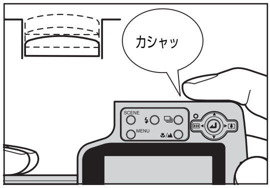
シャッターボタンを押すと、ボタンを押し切る途中で止まるところがあります。シャッターボタンをここまで押した状態を半押しといい、カメラはピントを決めて撮影のための準備をします。この状態からさらにシャッターボタンを押し込むと、画像が撮影されます。



5 シャッターボタンをさらに押し込む。

「カシャッ」というシャッター音がして撮影されます。

メモ　シャッター音は音量の調節ができます。（→ 160 ページ）

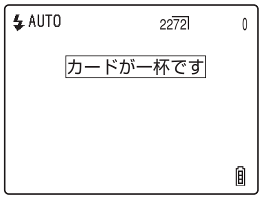


重要　被写体との距離が 60cm より近いときは、マクロモードを使って撮影してください。（→ 51 ページ）

■メモリーカードが一杯になったら・・・

メモリーカードが一杯になると、画面に「カードが一杯です」と表示されます。このときは以下のように対処してください。

- 不要な画像を消去する。
- パソコンに画像を保存してから、メモリーカードに記録されている画像を消去する。
- 空き容量のあるメモリーカードに入れ替える。



メモリーカードに記録されている画像を消去する方法は、「消去」、「複数消去」（「選択消去」、「全消去」）、「フォーマット」があります。消去については 95 ページ、フォーマットについては 153 ページをご覧ください。
パソコンに画像を保存する場合は、付属の USB ケーブルを使います。詳しくは「Windows パソコンにつなぐ」（→ 127 ページ）、「Macintosh パソコンにつなぐ」（→ 137 ページ）をご覧ください。

重要

- シャッターボタンは指先のふくらみで静かに押してください。乱暴に押すとカメラぶれの原因になります。（「カメラぶれにご注意ください」→ 35 ページ）
- シャッタースピードが遅くなっているときには、警告 LED が比較的速く点滅し、画面に手ぶれ警告［ ］が表示されます。このときはカメラぶれのおそれがありますので、安定した場所に設置してセルフタイマー（→ 53 ページ）で撮影するか、被写体によってはストロボを使用してください。
（「カメラぶれにご注意ください」→ 35 ページ、「ストロボを使う」→ 58 ページ）
- 撮影後に警告 LED が比較的ゆっくり点滅し、画面に赤と白のストロボマーク［ ］が交互に点滅しているときはストロボ充電中です。警告 LED が消灯し、ストロボマークが点灯に変わるまで次の撮影はお待ちください。（「ストロボを使う」→ 58 ページ）
- カードアクセス LED が点滅しているときは、メモリーカードからファイルの読み出し／書き込みをしています。点滅中にカード／バッテリーカバーを開けたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。ファイルがこわれたり、場合によってはカメラが故障する原因になります。ただし、カードアクセス LED が点滅中でも撮影はできます。

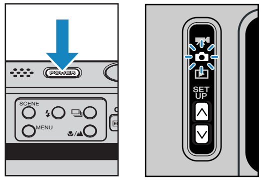
連続して撮影する（連写）

《対応モード：📷》

このカメラは最大で毎秒約 3.3 コマ * の連続撮影が可能です。動きのある被写体や、シャッターチャンスを逃したくないときに便利です。また、1 枚ごとにピントを合わせながら連写する AF 連写を選ぶことができます。

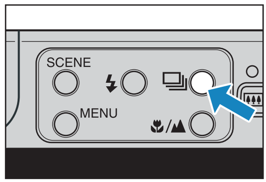
* 高速メモリーカード（10MB/S 以上の書き込み速度を有する SD メモリーカード）を使用した場合

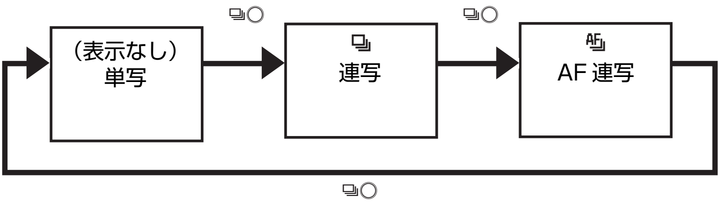
1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の "📷" を点灯させる。



2 連写ボタン ⧉○ を押して連写モードを選ぶ。

連写ボタン ⧉○ を押すたびに、撮影モードが以下のように切り替わります。





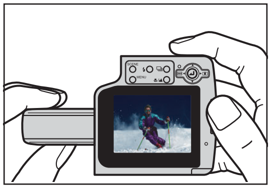
［表示なし］（単写）： 通常の撮影モードです。（初期設定）

［⧉］（連写）： 連続撮影することができます。（約 3.3 コマ / 秒）

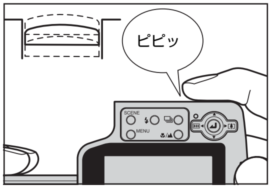
［AF⧉］（AF 連写）： 1 枚ごとにピントを合わせながら連写します。連写速度は遅くなります。（約 2 コマ / 秒）

次へ

3 構図を決める。

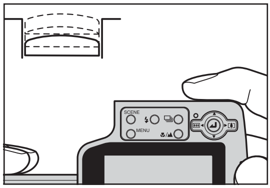


4 シャッターボタンを半押しして、ピントを被写体に合わせる。



5 シャッターボタンをさらに押し込む。

シャッターボタンを押している間、連写が行われます。



重要

- この設定は電源を OFF にしても保持されます。
- 毎秒約 3.3 コマ（AF 連写時は毎秒約 2 コマ）の連写性能を発揮するためには、撮影前に本機で SD メモリーカードをフォーマット（→ 153 ページ）してから使用されることをおすすめします。また、撮影と消去を繰り返すと、連写速度が低下する場合があります。このような場合も、一度画像をパソコンなどに保存した後、メモリーカードを本機でフォーマットしてからお使いください。
- 連写できる枚数は、カメラに入っているメモリーカードの容量や種類、または被写体によって異なります。メモリーカードが撮影画像で一杯になると、連写は中断されます。
- メモリーカードへの書き込み速度は、ご使用になるメモリーカードによって異なります。
- 高速記録用の SD メモリーカードをご使用の場合は、毎秒約 3.3 コマ（AF 連写時は毎秒約 2 コマ）の連写速度でメモリーカードが一杯になるまで撮影できます。（被写体によって速度が異なります。）
- 被写体が暗くてシャッタースピードが遅くなるような状況では、連写速度が毎秒約 3.3 コマ（AF 連写時は毎秒約 2 コマ）よりも遅くなることがあります。
- ストロボが発光する場合は連続して撮影できません。
- 一回の連写で撮影した連写グループの途中の画像を消去すると、2 つの連写グループになることがあります。

メモ

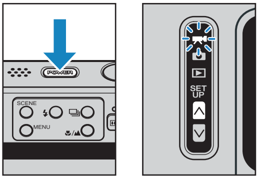
- セルフタイマーを併用すると、10 秒後または 2 秒後に 3 枚画像を連続撮影します。(「[Ȯ] セルフタイマーで撮影する」→ 53 ページ)
- トワイライトモード、夜景モード、遠景モードでは AF 連写に切り替えることはできません。
- 夜景ポートレートモードでは連写、AF 連写に切り替えることはできません。

動画を撮影する

《対応モード：🎥》

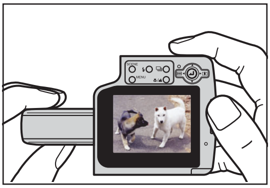
このカメラでは、音声付きの動画を撮影することができます。

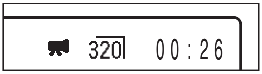
1 電源をONにし、モードボタン⋀を押してモード切替表示 LED の“🎥”を点灯させる。



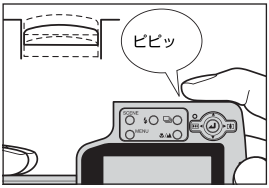
画面上に動画マークと撮影可能時間が表示されます。

2 構図を決める。

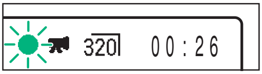




3 シャッターボタンを半押しして、ピントを被写体に合わせる。



「ピピッ」という音がして、液晶モニター画面に緑色の撮影マーク“●”が点灯し、フォーカスフレームが緑色になると、ピント合わせは完了です。

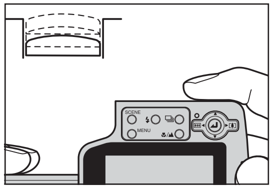


メモ

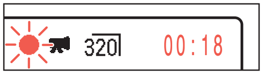
- 動画を撮影しているときは周囲の状況に応じて露出が調節されますが、ピントは変わりません。最後まで、撮影を開始する際に合わせたピントで撮影されます。
- 撮影マーク“●”が点滅しているときは、ピントが合っていません。撮影マーク“●”が点灯してピントが合うまでシャッターボタンを半押しし直してください。
- フォーカスフレーム（→ 68 ページ）を［マルチ AF］に設定している場合は、ピントが合ったフレームが緑色に点灯します。

次へ

4 シャッターボタンをさらに押し込む。



動画の撮影が始まります。
動画撮影中は撮影マーク“●”（赤）とセルフタイマー LED が点灯します。画面右上に撮影中の経過時間が表示され、フォーカスフレームが消えます。
撮影できる残りの時間が約 10 秒未満になると、時間表示が赤に変わります。



256MB のメモリーカードを使用した場合、以下の時間を目安として各画素数で撮影することができます。
（フレームレート：30fps、新品またはフォーマット済高速メモリーカードを使った場合）

画素数	時間
640 × 480	約 1 分 50 秒
320 × 240	約 7 分

動画モードの撮影可能時間表示について

- 動画モードにおいて撮影開始前に液晶画面に表示されている撮影時間は、1 回の撮影で連続して撮影できる時間ではありません。連続して動画撮影できる時間は、SD メモリーカードの書き込み速度に規制されますので、ご使用される SD メモリーカードによって異なります。
- 高速書き込み可能な SD メモリーカード使用時（10MB/S 以上の書き込み速度を有する SD メモリーカード）は、液晶パネルに表示されている撮影可能時間分を目安とした連続動画撮影が可能です。

重要　SD カードの書き込み速度によっては撮影が途中で止まる場合があります。

5 シャッターボタンを半押しして、撮影を終了する。

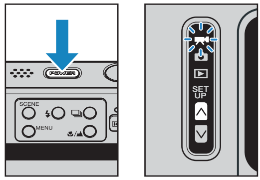
メモ　シャッターボタンを半押ししないと、メモリーカードの容量がなくなるまで撮影が続きます。

[fps] 動画のコマ数を決める（フレームレート）

《対応モード：》

動画で 1 秒間に撮影するコマ（フレーム）数をフレームレートといいます。毎秒 30 コマ撮影できる［30fps］と、毎秒 15 コマ撮影できる［15fps］のいずれかに設定できます。
［30fps］は動画の動きがスムーズになりますが、［15fps］よりも撮影時間は短くなります。

1 電源をONにし、モードボタンを押してモード切替表示 LED の “” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

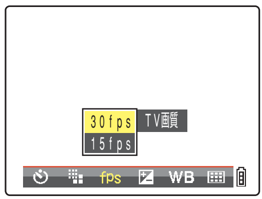
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してフレーム／秒［fps］を選び、を押す。



4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したいフレームレートを選び、を押す。

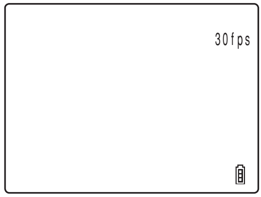
フレームレートの横に使用目的の参考が表示されます。
フレームレートが設定されます。

［30fps］／TV 画質　：毎秒 30 コマ撮影します。（初期設定）
［15fps］　　　　　　：毎秒 15 コマ撮影します。



5 MENU ボタン ◯MENU を押す。

設定したフレームレートが表示されます。



重要　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

撮影した画像をすばやく確認／消去する（Quick View）

《対応モード：／》

“”、“” モード時でも、撮影した直後の画像を確認したり、不要な画像を消去することができます。

画像を確認する

1 “”、“” モードで撮影できる状態のときに、を 1 秒以上押す。



最後に撮影した画像が表示されます。
選択レバーを ▶ に倒すと画像が順送りに、選択レバーを ◀ に倒すと画像が逆送りに表示されます。
シャッターボタンを半押しすると、通常の撮影画面に戻ります。

メモ

- 画像が表示された状態で を押すと、ズーム倍率変更画面が表示されます。選択レバーを ◀ または ▶ に倒すと、画像の拡大・縮小ができます。（→ 82 ページ）
- 連写画像が表示された状態で連写ボタン を押すと、連写再生することができます。（→ 88 ページ）
- 動画、アフレコ付き静止画の音声は再生できません。（動画は最初の 1 コマが表示されます。）
- 選択レバーを ▲ に倒すたびに、表示が以下のように切り替わります。表示される画像の詳細については 20 ページをご覧ください。



- 画像が表示された状態で SCENE ボタン を押すと、プロテクト設定画面が表示されます。選択レバーを ▲ に倒して［設定］を選び、を押すと表示中の画像がプロテクトされます。

次へ

重要　以下の状態のときは Quick View が使えません。
- メモリーカードが入っていないとき
- カード／バッテリーカバーが開いているとき
- メモリーカードに画像が保存されていないとき

画像を消去する

1 画像が表示された状態で、選択レバーを ▼ に倒す。

画像消去の確認画面が表示されます。



2 選択レバーを ▲ に倒して [実行] を選び、 を押す。

画像が消去されます。
シャッターボタンを半押しすると、通常の撮影画面に戻ります。

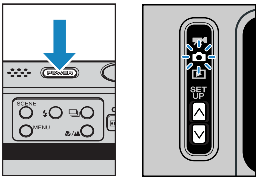
撮影シーンを選んでフォーカスやストロボを自動設定する

被写体に応じた最適な撮影方法を設定できます。

シーンモードを切り替える

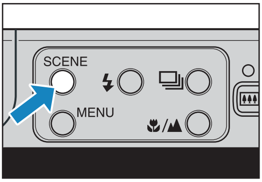
《対応モード：📷》

1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の“📷”を点灯させる。



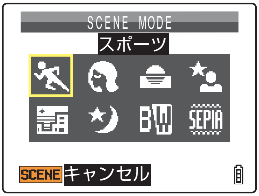
2 SCENE ボタン SCENE○ を押す。

シーンモードメニュー画面が表示されます。



3 選択レバーを ▲▼◀▶ に倒して、被写体に適したシーンモードを選ぶ。

各シーンモードについては 49 ページをご覧ください。



4 ⊙ を押す。

シーンモードが設定されます。設定したモードで撮影できます。

重要
- この設定は電源を OFF にしても保持されます。
- シーンモードではモードを切り替えるたびに、フォーカスやストロボなどの各種設定がそのモードの初期設定に戻ります。

次へ

シーンモードには以下の 8 つのモードがあります。

スポーツモード

スポーツなどの動きのある被写体に最適なシーンモードです。



ポートレートモード

人物撮影に適したシーンモードです。
このシーンモードでは、肌の色が美しく再現されるようにホワイトバランスが最適化されます。



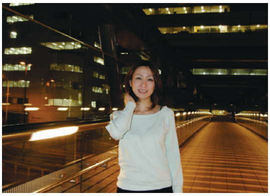
夕焼けモード

夕焼けを撮影するのに最適なシーンモードです。
ストロボは発光しないように設定され、ホワイトバランスと ISO が自動的に設定されます。



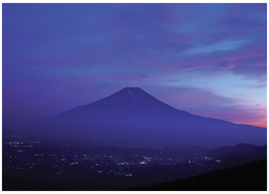
夜景ポートレートモード

夜景を背景にした人物撮影に最適なシーンモードです。
ストロボは周囲の明るさに応じて自動的に発光する「自動発光」、または人物の赤目現象を防ぐ「赤目軽減自動発光モード」が選べます。



トワイライトモード

日没後の薄明かりの中で撮影するのに適したモードです。
ストロボは発光しないように設定され、ホワイトバランスと ISO が自動的に設定されます。 また、フォーカスは無限遠に固定されます。



夜景モード



夜景を撮影するのに最適なシーンモードです。
ストロボは発光しないように設定され、フォーカスは無限遠に固定されます。

白黒モード



モノクロのフィルムで撮影した写真と同じような色合いで撮影することができます。

セピアモード



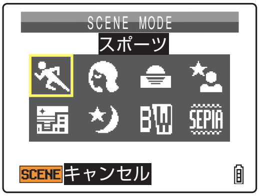
セピア調のフィルムで撮影した写真と同じような色合いで撮影することができます。

重要　夕焼けモード、夜景ポートレートモード、トワイライトモード、夜景モードは、シャッタースピードが遅くなりますので、撮影時にはカメラを安定した場所に設置し、セルフタイマー（→ 53 ページ）を使用するなどして、カメラぶれを防いでください。

シーンモードを解除する

《対応モード：📷》

1　シーンモード設定中に、SCENEボタンを押す。

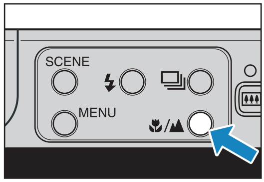


マクロ／遠景モードを切り替える

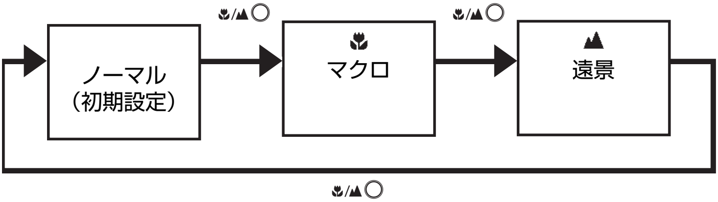
《対応モード：📷／🎥》

近くの被写体や風景を撮影するとき、それぞれに適した設定で撮影が行えるようにします。

1 "📷"、"🎥" モードで撮影できる状態のときに、マクロ／遠景ボタン 🌷/▲○ を押す。



マクロ／遠景ボタン 🌷/▲○ を押すたびに、マクロ／遠景モードが切り替わります。



重要　この設定は電源を OFF にすると初期設定に戻ります。

メモ　トワイライトモードと夜景モードではマクロ／遠景モードを切り替えることはできません。

🌷 マクロモード

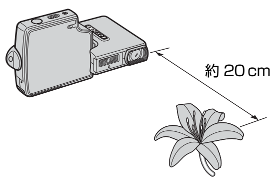


被写体に約 20 c m*1 までカメラを近づけて撮影できるモードです。レンズの焦点距離は最短（ワイド端）に固定されますので、ズームは作動しません。*2

ストロボは常時発光させる⚡強制発光モードと発光させない🚫発光禁止モードを選択できます。（→ 58 ページ）

*1 カメラのカバーガラス前端から被写体までの距離です。

*2 電子ズームのみ使用できます。



■マクロ撮影のしかた

構図を決めシャッターボタンを半押しします。「ピピッ」という音がして、液晶モニター画面に緑色の撮影マーク“●”が点灯し、フォーカスフレームが緑色になると、ピント合わせは完了です。
その後、カメラがぶれないようにシャッターを切ります。

▲遠景モード

遠景が中心の、風景写真に適した撮影モードです。
ストロボは発光しないように設定され、フォーカスは無限遠に固定されます。



[⏲] セルフタイマーで撮影する

《対応モード：📷／🎥》

記念写真など撮影する人も一緒に写りたいときなどに使用します。シャッターボタンを押してから 2 秒後もしくは 10 秒後にシャッターが切れます。また 2 秒後にシャッターが切れるセルフタイマーは、静止画のマクロ撮影や夜景撮影時に使用すると、カメラぶれを防ぐのに効果があります。

1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の "📷" または "🎥" を点灯させる。

2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

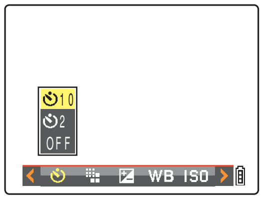
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してセルフタイマー［⏲］を選び、◎ を押す。



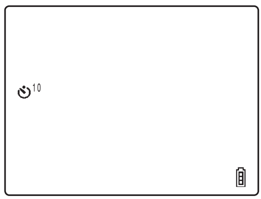
4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したい秒数を選び、◎ を押す。

セルフタイマーが設定されます。
設定した秒数に応じたアイコンが表示されます。

[⏲10] ：セルフタイマー 10 秒（10 秒後にシャッターが切れます。）
[⏲2] ：セルフタイマー 2 秒（2 秒後にシャッターが切れます。）
[OFF] ：通常の撮影になります。（初期設定）



5 MENU ボタン ○MENU を押す。



次へ

6 シャッターボタンを押す。

セルフタイマーで設定した時間が経過するとシャッターが切れます。動画撮影時はセルフタイマーが設定した時間が経過すると撮影が始まります。

重要
- このモードは、撮影後に設定が解除されます。続けてセルフタイマー撮影するときは、再度設定を行ってください。
- セルフタイマー撮影を途中で中止するときは、シャッターボタンを半押ししてください。

メモ
- カメラは安定した場所に設置して撮影してください。
- 連写と AF 連写では、指定した時間後に 3 枚連続撮影します。

ズームを使って撮影する（望遠と広角）

《対応モード：📷／🎥》

運動会や学芸会など、遠くの被写体を拡大して撮影するときや、遠くの風景を拡大して構図を決めるときに使います。

・選択レバーの ▶[♠]（望遠）：画像が拡大されます。
・選択レバーの ◀[♠♠♠]（広角）：拡大された画像が元に戻り、広い範囲を撮影できます。

このカメラにはレンズで倍率を変える光学ズーム（3 倍）に加えて、画像をデジタル的に拡大する電子ズームがあります。電子ズームと光学ズームの組み合わせで静止画は最大 18 倍まで、動画は最大 6 倍までの拡大ができます。

重要　電子ズームを使用すると画質が低下します。

1　撮影する前に選択レバーを ▶[♠] に倒す。

画面下にズームバーが表示されます。ズームの拡大、縮小に応じてズームバー中の指標が左右に動きます。





ズームバーは、選択レバーから指を離しても約 2 秒間表示されます。



次へ

2 画像が最大に拡大されたら、選択レバーから一度指を離し、再度選択レバーを ▶ [望遠] に倒す。



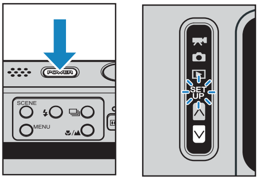
このカメラでは、x1.3 から x6.0 まで 1/3 おきに 15 段階のズームが可能です。（電子ズーム）
静止画撮影では、電子ズームで拡大できる倍率は設定している画素数（→ 73 ページ）によって以下のように異なります。動画撮影では画素数に関係なく 2.0 倍まで拡大できます。

画素数	電子ズームで拡大できる倍率
2272 × 1704	4.0 倍まで
1600 × 1200	5.0 倍まで
1280 × 960	6.0 倍まで
640 × 480	6.0 倍まで

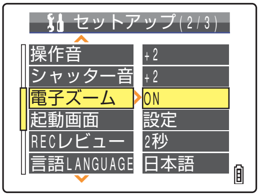
電子ズームの ON ／ OFF を選ぶ

電子ズームの ON ／ OFF を設定できます。

1 電源をONにし、モードボタン ∨ を押してモード切替表示 LED の “SET UP” を点灯させる。

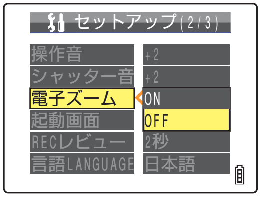


2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［電子ズーム］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定を選び、を押す。

選んだ設定が反映されます。



重要　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

メモ　電子ズームを［OFF］にしたときは、電子ズームバーは表示されません。

ストロボを使う

《対応モード：📷》

周囲の明るさに合わせて、カメラがストロボ発光を決定します。その他にも、撮影の状況に適した各種ストロボモードを利用できます。

重要　ストロボを使った近距離撮影時は、ISO 感度を 200 以下に設定することをおすすめします。ISO 感度を高感度に設定して近距離で撮影すると、露出オーバーになります。

ストロボモードの種類

[⚡AUTO] 自動発光モード

周囲の明るさに合わせて、カメラがストロボ発光を決定します。

[⚡👁AUTO] 赤目軽減自動発光モード

ストロボを撮影直前と撮影時の 2 回発光させて赤目現象を軽減します。自動発光モードと同様に、周囲の明るさに合わせて、カメラがストロボ発光を決定します。

重要　1 回目の発光では撮影が行われずに、2 回目の発光時に撮影されます。1 回目の発光後、カメラや撮影物を動かさないようにしてください。

[⊘] 発光禁止モード

周囲の明るさに関係なくストロボの発光を禁止します。夕暮れや室内の雰囲気を撮影したいときなどに適しています。

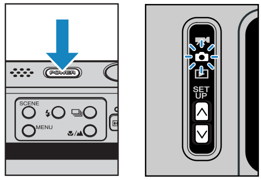
重要
- 明るさによってはシャッタースピードが遅くなることがありますので、撮影時にはカメラを安定した場所に設置し、セルフタイマー（→ 53 ページ）を使用するなどして、カメラぶれを防いでください。
- 撮影画像が暗いときは、露出補正（→ 62 ページ）や ISO 感度（→ 64 ページ）を使って調節してください。

[⚡] 強制発光モード

周囲の明るさに関係なくストロボを発光させます。強い日差しの下や逆光下で被写体が暗くなってしまう場合など、ストロボを発光すると被写体も背景もきれいに撮ることができます。

設定のしかた

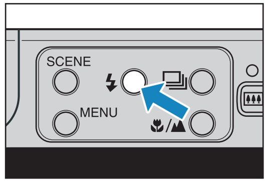
1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の “📷” を点灯させる。

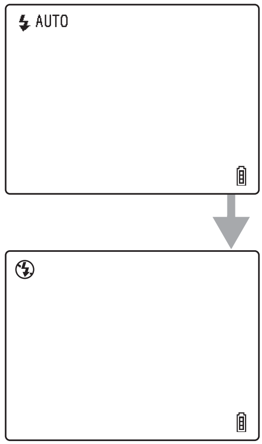


2 ストロボボタン ⚡◯ を押して設定したいモードのアイコンを選ぶ。

ストロボボタン ⚡◯ を押すたびにストロボモードのアイコンが、以下のように切り替わります。

→ ⚡AUTO（初期設定）→ ⚡AUTO 👁 → ⊘ → ⚡ →





メモ　この設定は電源を OFF にすると初期設定に戻ります。

各モードでのストロボ設定

シーンモード（→ 48 ページ）、マクロ／遠景モード（→ 51 ページ）の中には、設定できるストロボモードに制限があるものがあります。

メモ　各モードでのストロボモードの初期設定は、推奨のストロボモードです。

シーンモード

シーンモード	設定できるストロボモード
スポーツ	発光禁止モード（初期設定）、強制発光モード AUTO 自動発光モード、赤目軽減自動発光モード
ポートレート	赤目軽減自動発光モード（初期設定）、発光禁止モード、 強制発光モード、AUTO 自動発光モード
夕焼け	発光禁止モード
夜景ポートレート	赤目軽減自動発光モード（初期設定）、AUTO 自動発光モード
トワイライト	発光禁止モード
夜景	
白黒	AUTO 自動発光モード（初期設定）、赤目軽減自動発光モード、 発光禁止モード、強制発光モード
セピア	

メモ　シーンモードをノーマルに戻したときは、前回ノーマル時に設定していたストロボモードになります。ただし、シーンモードでストロボモードを変更した場合は、ノーマルに戻してもそのストロボモードを保持します。

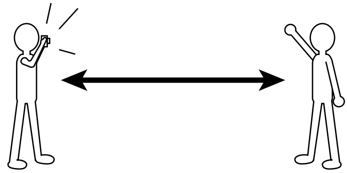
マクロ／遠景モード

マクロ／遠景モード	設定できるストロボモード
マクロ	発光禁止モード（初期設定）、強制発光モード
遠景	発光禁止モード

メモ
- マクロ／遠景モードをノーマルに戻したときは、前回ノーマル時に設定していたストロボモードになります。ただし、マクロモードでストロボモードを変更した場合は、ノーマルに戻してもそのストロボモードを保持します。
- マクロモードで強制発光モードをお使いの場合は露出オーバーになります。

■ストロボの光が届く距離

ズーミングの状態とISO感度（→64ページ）の設定によって違いがあります。
撮影のときは右図の距離を参考にしてください。



広角時：約0.6m〜約2.5m
望遠時：約0.9m〜約1.8m
（ISO：AUTO時）

前へ

明るさを調節する

[±] 露出を補正する

《対応モード：📷／🎥》

露出補正は、撮影画像の明るさを調節したいときに使います。被写体とその背景の明るさが極端に違うために、適正な露出が得られない場合や、意図的に露出がアンダーやオーバーの画像を撮りたいときに利用します。
このカメラでは、1/3EV おきに「－」または「＋」に最大 2.0EV までの補正ができます。

暗く
－ 2.0



明るく
＋ 2.0

± 0.0
（初期設定）

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の "📷" または "🎥" を点灯させる。

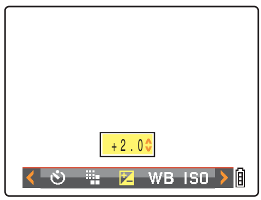
2 MENU ボタン ◯MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して露出補正 [±] を選び、◎ を押す。



4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したい補正値を選び、◎ を押す。

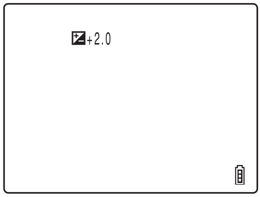
補正値が設定されます。



次へ

5 MENU ボタン ◯MENU を押す。

設定した補正値が表示されます。



重要
- 設定した補正値は、撮影後も保持されます。
- この設定は電源を OFF にすると初期設定に戻ります。
- ストロボ発光時の補正値は、－ 1.0 ～＋ 1.0EV に制限されます。

メモ 夜景モードでは露出補正を設定することはできません。

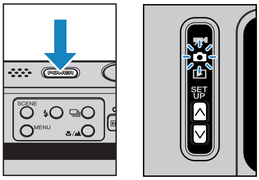
[ISO] ISO 感度を変えて動きの速い被写体を撮る

《対応モード：📷》

[ISO] はフィルムのISO感度に相当するもので、光に対する敏感さを表しています。

このモードでは、[AUTO]、[50]、[100]、[200]、[400] があり、初期設定は [AUTO] で、周囲の状況に合わせた ISO 感度をカメラが自動的に設定します。数値が高いほど画質は粗くなりますが、光に対する感度は高くなり、暗いところでの撮影や高速シャッターでの撮影ができます。また、ストロボ光の届く距離も少し長くなります。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の "📷" を点灯させる。

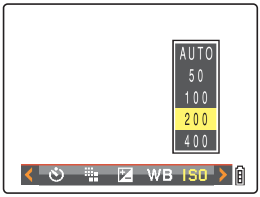


2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して ISO [ISO] を選び、◎ を押す。



4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したいモードを選び、◎ を押す。



ISO のモードが設定されます。

[表示なし] [AUTO] ：周囲の状況に合わせた ISO 感度をカメラが設定します。（初期設定）
[ISO50] [50] ：ISO50 に固定します。
[ISO100] [100] ：ISO100 に固定します。
[ISO200] [200] ：ISO200 に固定します。
[ISO400] [400] ：ISO400 に固定します。

5 MENU ボタン ◯MENU を押す。

設定した数値のアイコンが表示されます。



重要　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

メモ　スポーツモード、ポートレートモード、夕焼けモード、夜景ポートレートモード、トワイライトモード、夜景モードでは［AUTO］になります。

[測光モード] 露出を合わせる範囲を選ぶ

《対応モード：📷》

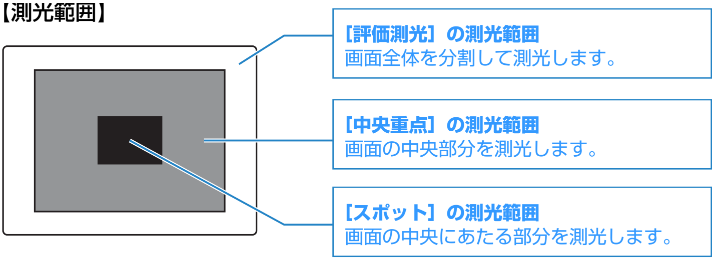
露出を合わせる範囲を選ぶモードです。評価測光、中央重点、またはスポットのいずれかに設定できます。被写体によって使い分けてください。

[評価測光]　：画面を分割して、それぞれの部分を測光して得られたデータから被写体の条件に最適な露出値を決めます。一般的な撮影や逆光などの撮影でもほとんど露出補正なしに撮影できますので、初めてカメラをお使いになる方や、露出設定を気にせずに撮影したい方におすすめします。

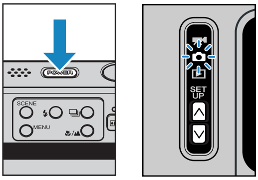
[中央重点]　：主に画面の中央部分の被写体の明るさを重点的に測光して露出値を決める方式です。被写体の周辺に強い光源がある場合の撮影でも容易に露出を決めることができます。

[スポット]　：画面中央にあたる被写体の明るさのみ測光して露出値を決める方式です。たとえば、逆光の人物や特定の部分のライティングを活かした舞台撮影など、被写体と背景の明るさが極端に違う場合、また、画面効果を考えて、特に被写体の一部分を測光したい場合などは、この [スポット] を利用します。

【測光範囲】



1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の "📷" を点灯させる。



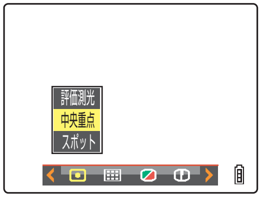
2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して測光モード [⊡] を選び、⏎ を押す。



前へ　次へ

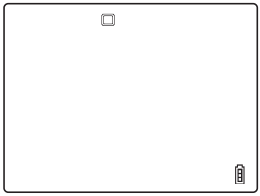
4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したいモードを選び、 ④ を押す。



測光モードが設定されます。

[表示なし]	[評価測光]	：画面全体を 256 分割して光の量を測り（測光）、その被写体に最適な露出値を決めます。（初期設定）
[□]	[中央重点]	：画面の中央部（スポットより大きい範囲）を重点的に測光し、露出値を決めます。
[⊡]	[スポット]	：画面の中央部を測光し、露出値を決めます。

5 MENU ボタン ◯MENU を押す。



設定した測光モードのアイコンが表示されます。

重要　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

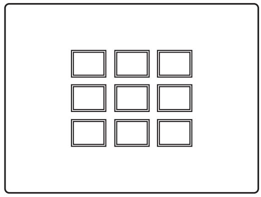
フォーカス（ピント）を合わせる

[フォーカス] ピントの合わせかたを選ぶ

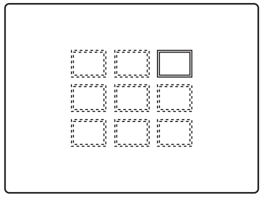
《対応モード： ／ 》

ピントの合わせかたを選ぶモードは、[マルチ AF] と [スポット AF] があります。

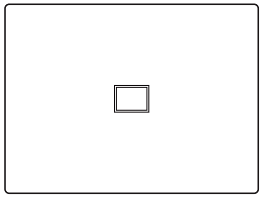
[マルチ AF] ：画面内の複数の測距点から、カメラが自動的にピントの合った箇所を選びます。ピント合わせの範囲が広いので、二人並んだ人物の撮影などに便利です。（初期設定）



シャッターを半押しすると、9 点のフォーカスフレームのうちピントが合った 1 ケ所が表示されます。



[スポット AF] ：被写体の特定の部分にピントを合わせたいときに使用します。フォーカスをロックして撮影するときは、この［スポット AF］を使用します。



※ピントを合わせたい被写体がフォーカスフレーム内にないときは、フォーカスロックを利用してピントを合わせてください。（「フォーカスを画面の中央以外に合わせる（フォーカスロック）」→ 70 ページ）

次へ

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “📷” または “🎥” を点灯させる。

2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してフォーカス［▦］を選び、◎ を押す。



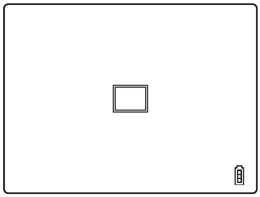
4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したいモードを選び、◎ を押す。

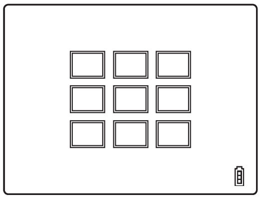
フォーカスフレームが設定されます。



5 MENU ボタン ○MENU を押す。

設定したフォーカスフレームが表示されます。





重要

- この設定は電源を OFF にしても保持されます。
- トワイライトモード、夜景モード、遠景モードではフォーカスは無限遠に固定されるため、［フォーカス］を設定することはできません。また、フォーカスフレームは表示されません。

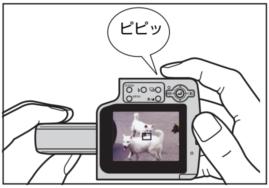
フォーカスを画面の中央以外に合わせる（フォーカスロック）

《対応モード：📷／🎥》

フォーカスロックは、ピントを合わせたい被写体が画面の中央にないときや、中央から被写体をずらした構図を作りたいときに便利な撮影のしかたです。

1 電源をONにし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示LEDの "📷" または "🎥" を点灯させる。

2 ピントを合わせたい被写体にフォーカスフレームを合わせ、シャッターボタンを半押しする。



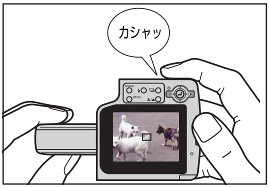
「ピピッ」という音がして、液晶モニター画面に緑色の撮影マーク "●" が点灯し、フォーカスフレームが緑色になると、ピント合わせが完了し、固定されます。（フォーカスロック、AEロック）

メモ

- 撮影マーク "●" が点滅しているときは、ピントが合っていません。点灯してピントが合うまでシャッターボタンを半押しし直すか、他の被写体でピントを合わせてください。
- フォーカスフレーム（→ 68 ページ）を［マルチ AF］に設定している場合は、ピントが合ったフレームが緑色に点灯します。
- フォーカスが無限遠に固定されている場合（トワイライトモード、夜景モード、遠景モード）、フォーカスフレームは表示されません。

3 シャッターボタンを半押ししたまま、写したい構図にカメラをずらす。

4 シャッターボタンをさらに押し込む。



フォーカスロックとAEロックは、シャッターボタンから指を離すと解除されます。

■ピントの合いにくい被写体

以下のような被写体は、ピントが合いにくいので等距離にある別の被写体でフォーカスをロックして撮影してください。

・ 低コントラストの被写体
・ 繰り返し同じパターンの被写体
・ 暗い被写体
・ 水平線など、横線だけの被写体
・ 非常に明るい被写体や、光沢のある被写体
・ 視野内やその周辺に強い光源がある場合や、太陽光などの強い光源が画面内に入る場合
・ 視野の中央付近に距離の違う 2 つ以上の被写体がある場合
・ 動いている被写体

[AF モード] 静止した被写体と動く被写体

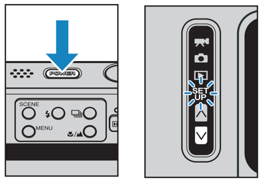
《対応モード：📷／🎥》

カメラが自動でピントを合わせるときの方式です。

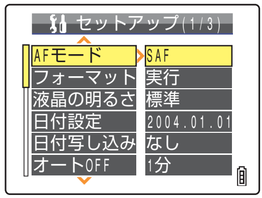
SAF: (シングル・オートフォーカス)(初期設定) 通常の撮影に適しています。
シャッターボタン半押しでピント合わせを行い、ピントが合うと撮影マーク (緑) が点灯し、ピントと露出が固定します。そのままシャッターボタンを全押しして撮影してください。

CAF: (コンティニュアス・オートフォーカス)：動きのある被写体を撮影するのに適しています。
カメラ電源 ON の状態で連続的にピントを合わせ続けます。シャッターボタン半押しで、撮影マークの点灯を確認してシャッターボタンを全押ししてください。

1 電源を ON にし、モードボタン ∨ を押してモード切替表示 LED の “SET UP” を点灯させる。

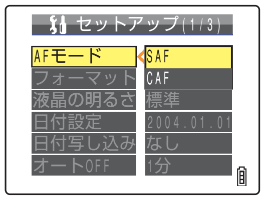


2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [AF モード] を選び、 選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したい AF モードを選び、 ⏎ を押す。

AF モードが設定されます。



重要

- この設定は電源を OFF にしても保持されます。
- [CAF] に設定していても、被写体の動きが速い場合、オートフォーカスが追随できない場合があります。
- [CAF] に設定すると、バッテリーの消耗が早くなります。

[▦] 画素数を選ぶ

《対応モード：📷／🎥》

画素数とは、画像を作り上げている一つ一つの点（ドット）の数のことです。この点の数が多いほど画質は良くなりますが、画像ファイルのサイズが大きくなるので撮影できる枚数は少なくなります。画像の使用目的に合わせて選んでください。（→ 74 ページ）

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “📷” または “🎥” を点灯させる。

2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

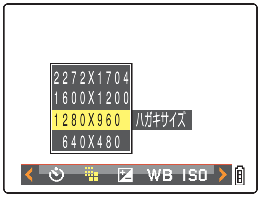
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して画素数 [▦] を選び、◎ を押す。

画素数と使用目的の参考が表示されます。



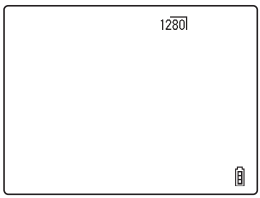
4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したい画素数を選び、◎ を押す。

画素数が設定されます。



5 MENU ボタン ○MENU を押す。

設定した画素数のアイコンが表示されます。



❢ **重要**　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

■画素数を選ぶときの目安

きれいにプリントしたいときや、画像の質を重視するときは大きい画素数を選び､メールに添付するときは小さい画素数にしてファイルのサイズを小さくします。

画素数が大きくなれば撮影できる枚数は少なくなり、画素数が小さくなれば撮影できる枚数は多くなります。

また、撮影した画像の画素数をさらに小さくすることもできます。(→ 106 ページ)

静止画

画素数	使用目的(参考)	画質	撮影可能枚数
2272 × 1704 (初期設定)	A4 サイズ以上でプリントするとき	高い ↕ 低い	少ない ↕ 多い
1600 × 1200	A5 サイズでプリントするとき		
1280 × 960	ハガキサイズでプリントするとき		
640 × 480	そのまま E メールに添付するとき *		

* 携帯電話でメールに添付して送信する場合は､ご使用の携帯電話によって扱うことのできる画素数が異なります。 詳しくはご使用の携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

動画

画素数	使用目的(参考)	画質	撮影可能時間
640 × 480	テレビ並みの画質で録画するとき	高い	少ない
320 × 240 (初期設定)	より長時間撮影するとき	低い	多い

画像の色調などを調節する

[WB] 光源の種類を選ぶ（ホワイトバランス）

《対応モード：📷 ／ 🎥》

被写体の色は光源によって変化します。
様々な光源の下でも、実際と同じような色に撮影できるように色調を補正することを「ホワイトバランス」といいます。

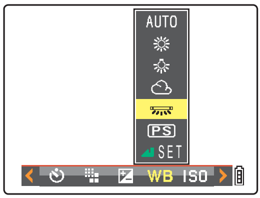
1　電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の "📷" または "🎥" を点灯させる。

2　MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

3　選択レバーを◀または▶に倒してホワイトバランス［WB］を選び、⊕ を押す。



4　選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したい光源を選び、⊕ を押す。



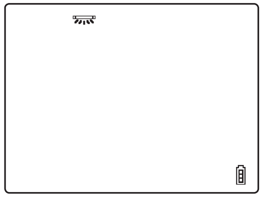
ホワイトバランスが設定されます。

[AUTO] 自動	周囲の状況に合わせて自動でホワイトバランスを設定します。（初期設定）
[☀] 太陽	光源を指定します。
[💡] 白熱電球	
[☁] 曇天	
[蛍] 蛍光灯	
[PS] プリセット	WB プリセットで設定したホワイトバランスを使います。あらかじめ設定が必要です。
[SET]WB プリセット	ホワイトバランスを自分で設定します。

次へ

5 MENU ボタン ○MENU を押す。

設定したホワイトバランスのアイコンが表示されます。



❗ **重要**　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

メモ　夕焼けモード、トワイライトモード、白黒モード、セピアモードではそれぞれのモードに適したホワイトバランスに設定されるため、変更できません。

ホワイトバランスを手動で設定する

《対応モード：📷／🎥》

複数の光源がある場合、または白を厳密に設定する場合などは、ホワイトバランスを自分で設定することができます。光源が変わるたびに設定し直してください。

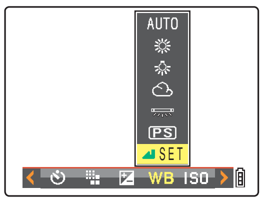
1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “📷” または “🎥” を点灯させる。

2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

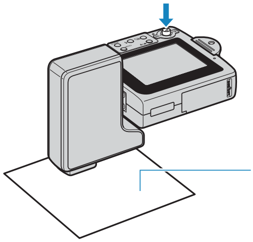
3 選択レバーを◀または▶に倒してホワイトバランス［WB］を選び、⊙ を押す。

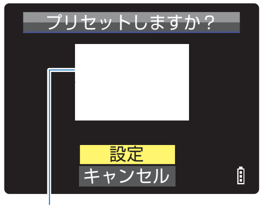


4 選択レバーを ▼ に倒して［SET］を選び、⊙ を押す。



5 あらかじめ用意した白の被写体を画面の枠一杯に合わせる。



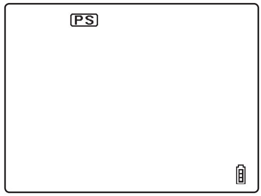


6 選択レバーを ▲ に倒して [設定] を選び、 を押す。

ホワイトバランスのプリセット値が設定されます。
キャンセルしたい場合は、[キャンセル] を選び を押します。

7 MENU ボタン ○MENU を押す。

ホワイトバランスは [PS] に設定されます。



重要 この設定は電源を OFF にしても保持されます。

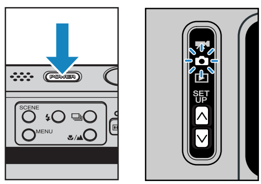
メモ 夕焼けモード、トワイライトモード、白黒モード、セピアモードではそれぞれのモードに適したホワイトバランスに設定されるため、変更できません。

[彩度] 鮮やかさを変える

《対応モード：📷》

[彩度] では、色の鮮やかさを強くした画像や抑えた画像を撮ることができます。

1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の “📷” を点灯させる。

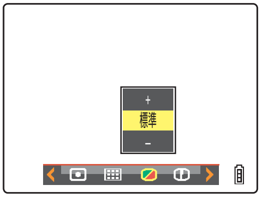


2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して彩度［⊘］を選び、 を押す。



4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したいモードを選び、 を押す。



彩度が設定されます。

[⊘+1]	［+］	：鮮やかさを強くして撮影します。
[表示なし]	[標準]	：標準で撮影します。（初期設定）
[⊘-1]	［−］	：鮮やかさを抑えて撮影します。

5 MENU ボタン ○MENU を押す。



設定した彩度のアイコンが表示されます。

重要　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

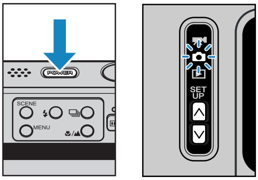
メモ　白黒モード、セピアモードでは［標準］になります。

[シャープネス] 輪郭をくっきりさせる

《対応モード：📷》

被写体の輪郭を強調したり、柔らかくした画像を撮ることができます。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “📷” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押して、メニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してシャープネス［◫］を選び、◎ を押す。

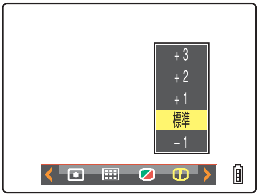


4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したいモードを選び、◎ を押す。

シャープネスが設定されます。

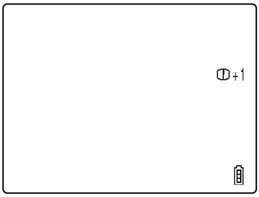
[◫+3]　：＋３
[◫+2]　：＋２
[◫+1]　：＋１
[表示なし]　：標準（初期設定）
[◫-1]　：－１





5 MENU ボタン ○MENU を押す。

設定したシャープネスのアイコンが表示されます。



❗ **重要**　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

前へ

再生する

この章では、撮影画像を確認する再生モードについて説明します。

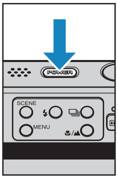
▼ご覧になりたい項目をクリックしてください。

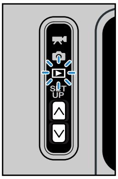
静止画を再生する	画像を一覧表示する	連写画像を再生する
動画を再生する	スライドショーで再生する	不要な画像を消す
プロテクトをかける	アフレコで音声を入れる	リサイズする
回転する	DPOF 設定をする	PictBridge でプリントする
Windows パソコンにつなぐ	Macintosh パソコンにつなぐ	テレビにつなぐ

静止画を再生する

《対応画像：静止画のみ》

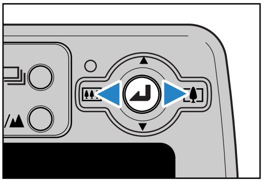
1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。





最後に撮影した画像が画面に表示されます。

2 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して再生する画像を選ぶ。



再生中は、以下の操作ができます。

ボタン操作	説明
選択レバー ▲	ファイル No 表示、インフォメーション表示に切り替えます。（→ 83 ページ）
選択レバー ▼	画像を消去することができます。（→ 95 ページ）
選択レバー ◀	画像を逆送りに表示できます。1 秒以上倒し続けると、高速で画像が送られます。
選択レバー ▶	画像を順送りに表示できます。1 秒以上倒し続けると、高速で画像が送られます。
⏎	画像を拡大して再生できます。（→ 82 ページ）
SCENE ボタン SCENE○	画像を保護することができます。（→ 99 ページ）
連写ボタン ○	連写画像の場合、連写再生を行います。（→ 88 ページ）

メモ

- リサイズした画像がある場合、リサイズ画像は通常の画像の前に表示されます。
- リサイズ画像は、画像サイズに応じて大きさを変えて表示されます。その際、液晶モニターの左上にリサイズアイコン［ ］が表示されます。画像のリサイズについては詳しくは「［ ］画素数の変更とトリミング（リサイズ）」（→ 106 ページ）をご覧ください。

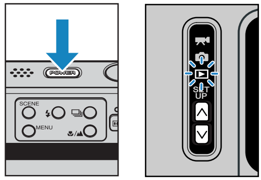
次へ

画像を拡大して表示する

《対応画像：静止画のみ》

選択レバーの ◀▶ で再生中の画像を拡大して表示できます。

1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



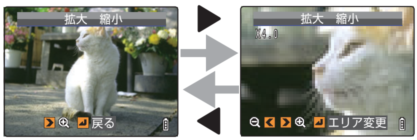
2 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して再生する画像を選ぶ。

3 ⏎ を押し、ズーム倍率変更画面を表示させる。



4 選択レバーを ▶[🔍] に倒す。

選択レバーを ▶[🔍] に倒すたびに画像が 2 倍→ 4 倍→ 8 倍に拡大されます。



メモ

- 拡大された画像を元の大きさに戻すには、選択レバーを ◀[▦] に倒します。選択レバーを ◀[▦] に倒すたびに、画像が 4 倍→ 2 倍→元の大きさに戻ります。
- ズーム再生中に MENU ボタン ○MENU を押すと、簡単に元の大きさに戻すことができます。

5 ⏎ を押し、ズーム領域移動画面を表示させる。

選択レバーを ▲▼◀▶ に倒すと、倒した方向に画面がスクロールします。
再度、⏎ を押すと、拡大された領域が固定されたまま再生画面に戻ります（拡大再生）。



メモ
・ズーム領域移動画面では画面の下側と右側にスクロールバーが表示され、元の画像のどの部分を表示しているかの目安になります。
・拡大再生時に選択レバーを ◀ または ▶ に倒すと、ズーム倍率とズーム領域は固定されたまま、画像が逆／順送りされます。

重要
・リサイズした画像をズーム再生で拡大表示することはできません。
・アフレコした画像を拡大する場合は、ファイル No 表示（→ 83 ページ）の状態から行ってください。

情報を表示する（ファイル No ／インフォメーション）

《対応画像：静止画、動画》

再生中の画像の絞りやシャッタースピードなどの情報を確認できます。

1 画像再生中に選択レバーを ▲ に倒す。

再生中の画像の情報が表示されます。
選択レバーを ▲ に倒すたびに表示が以下のように切り替わります。



重要
動画の場合は選択レバーを ▲ に倒しても、音量が調節されるだけで情報は表示されません。動画の情報を表示する場合は、静止画で情報を表示したまま選択レバーを ◀ または ▶ に倒して動画を選んでください。

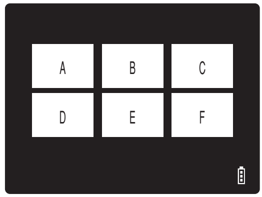
メモ
・表示される画面の詳細については20 ページをご覧ください。
・情報を表示している間に MENU ボタン ○MENU を押すと、通常の再生画面に戻ります。

[ ] 画像を一覧表示する

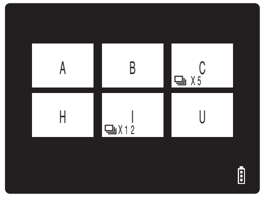
《対応画像：静止画／動画》

表示モードには、通常のシングル表示のほかに、マルチ表示、グループ表示があり、画像の一覧表示ができます。

・ マルチ表示　：画面に 6 枚の小さい画像（サムネイル）が表示されます。
連写画像もすべて表示されます。



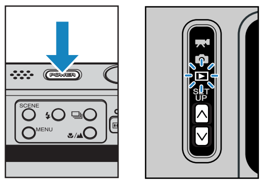
・ グループ表示：画面に 6 枚の小さい画像（サムネイル）が表示されます。
連写画像は、一続きの連写画像（連写グループ）の先頭の画像のみが表示されます。



メモ　マルチ表示／グループ表示から、連写再生、アフレコ、プロテクト、消去、複数消去、リサイズ、スライドショー、プリント設定、PictBridge の操作を行うことができます。

一覧表示する

1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

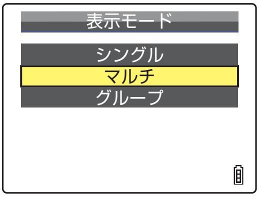
次へ

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して表示モード [田] を選び、⏎ を押す。



4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［マルチ］または［グループ］を選び、⏎ を押す。

画像が一覧表示されます。



■マルチ表示／グループ表示時の画面と使いかた

マルチ表示

DPOF アイコン
プリント設定がされている画像に表示されます。

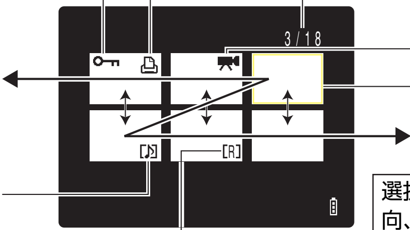
プロテクトアイコン
画像保護の設定がされている場合に表示されます。

何枚目／総枚数
撮影した画像の総枚数に対して何枚目の画像が選ばれているかを表しています。

動画アイコン
動画の場合に表示されます。

カーソル

前の画像へ（逆方向）



次の画像へ（順方向）

[♪] 音声アイコン
アフレコで音声が録音されている画像と音声付きの動画に表示されます。

[R] リサイズアイコン
リサイズした画像に表示されます。

選択レバーを ◀ に倒すと逆方向、▶ に倒すと順方向に動きます。選択レバーを ◀ または ▶ に倒し続けると、高速でページが送られます。選択レバーを ▲ または ▼ に倒すと上下段の移動ができます。

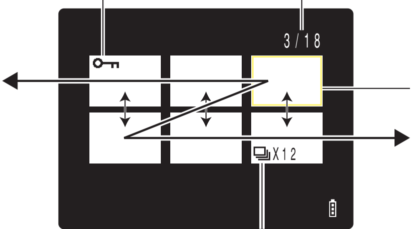
グループ表示

プロテクトアイコン
画像保護の設定がされている場合に表示されます。連写グループの場合は、連写グループ内のすべての画像が保護されている場合に表示されます。

何枚目／総枚数
撮影した画像の総枚数に対して何枚目の画像が選ばれているかを表しています。連写グループの場合は、先頭の画像のコマ番号を表しています。

前の画像へ（逆方向）

カーソル

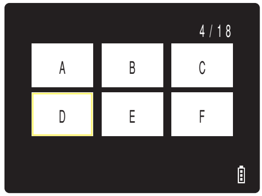


次の画像へ（順方向）

連写アイコン／連写枚数
グループ表示の場合、連写グループの先頭の画像に表示されます。連写枚数は、連写グループの画像の総枚数を表しています。

通常の再生（シングル表示）に戻すには

1 マルチ表示／グループ表示のときに選択レバーを▲▼◀▶に倒して、通常の再生に戻したい画像を選ぶ。



2 を押す。

メモ　グループ表示で連写グループの画像を選択すると、先頭の画像をシングル表示します。

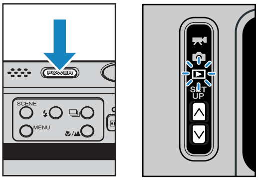


連写画像を再生する

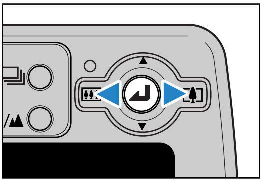
≪対応画像：連写画像のみ≫

一続きの連写画像（連写グループ）を自動的に連続再生します。

1 電源をONにし、モードボタンの ∧ ∨ を押してモード切替表示LEDの“▶”を点灯させる。



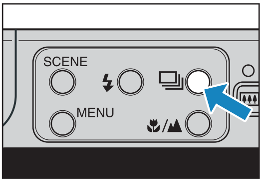
2 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して再生する連写画像を選ぶ。



メモ

- マルチ表示／グループ表示（→ 84 ページ）からも連写再生を行えます。
- シングル表示の場合は、選択レバーを ▲ に倒してファイル No 表示に切り替えると、連写画像に ⧉ が表示され、連写画像を探しやすくなります。
- シングル表示、マルチ表示では、連写グループのどの画像からでも連写再生を始められます。例えば、6 枚の連写画像の 3 枚目から連写再生を行うと、3 → 4 → 5 → 6 → 1 → 2 → 3 のように再生されます。
- 拡大表示から連写再生を行うと、拡大された領域が固定されたまま連写再生します。

3 連写ボタン ⧉○ を押す。



メモ　連写再生中に再度連写ボタン ⧉○ を押すか、MENU ボタン ○MENU を押すと、連写再生を停止します。

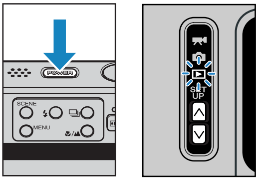
重要　一回の連写で撮影した連写グループの途中の画像を消去すると、2 つの連写グループになることがあります。

動画を再生する

《対応画像：動画のみ》

通常の再生に加えて、一時停止やコマ送り、音量の調節ができます。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して再生する動画を選び、選択レバーを ▲ または ▼ に倒して音量を調節する。



メモ

・音量は動画再生中でも調節できます。
・動画を再生する前に、画像の情報を表示させることができます。（→ 83 ページ）

3 ⏎ を押す。

動画の再生が始まります。
動画の再生中は、以下の操作ができます。



ボタン操作	説明
選択レバー ▲	音量が大きくなります。
選択レバー ▼	音量が小さくなります。
選択レバー ◀	1 回倒すと動画が止まり、以後、倒すたびに逆コマ送りで再生されます。1 秒以上倒し続けると、2 倍速で巻き戻し再生されます。さらに 2 秒以上倒し続けると、4 倍速で巻き戻し再生されます。
選択レバー ▶	1 回倒すと動画が止まり、以後、倒すたびにコマ送りで再生されます。1 秒以上倒し続けると、2 倍速で早送り再生されます。さらに 2 秒以上倒し続けると、4 倍速で早送り再生されます。（早送り中に音声は再生されません。）
⏎	動画の再生を途中で終了します。

[▭▭▭] 自動的に次々と表示する（スライドショー）

《対応画像：静止画／動画》

画像を撮影した順に一定間隔で表示させせます。動画やアフレコした画像の音声も再生でき、画像が切り替わるときの効果（エフェクト）も設定できます。

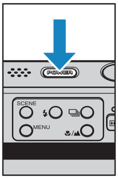
スライドショーの設定をする

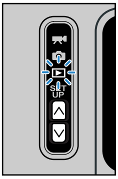
このカメラのスライドショーは、以下の設定ができます。

- 再生間隔　：次の画像を表示するまでの時間
- 開始画像　：最初に再生する画像
- アフレコ･動画：アフレコ音声や動画の再生
- エフェクト　：画像が切り替わるときの効果（エフェクト）

メモ　マルチ表示／グループ表示（→ 84 ページ）からでも設定できます。

1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。





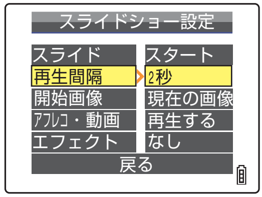
2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してスライドショー［▭▭▭］を選び、◎ を押す。



次へ

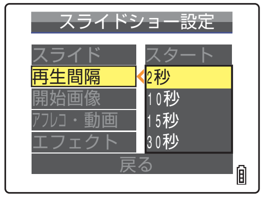
4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［再生間隔］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



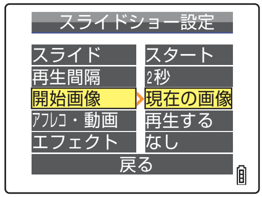
5 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して秒数を選び、◎ を押す。

再生間隔は 2 秒、10 秒、15 秒、30 秒から選べます。

メモ　動画・アフレコは記録時間が優先されます。

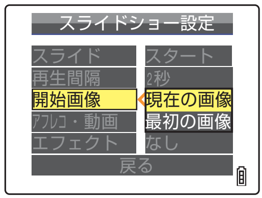


6 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［開始画像］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。

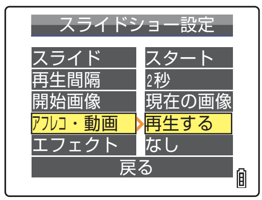


7 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して開始する画像を選び、◎ を押す。

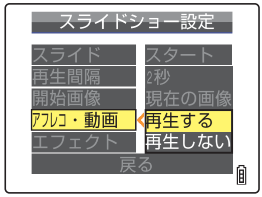
［現在の画像］：表示されている画像から再生されます。
［最初の画像］：ファイル名の番号が若い順から再生されます。



8 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［アフレコ・動画］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。

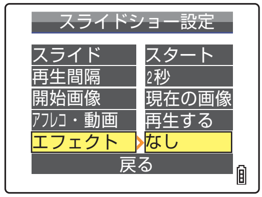


9 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して再生方法を選び、◎ を押す。

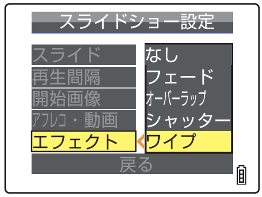


［再生する］　：アフレコ音声と動画が再生されます。
［再生しない］：アフレコ音声と動画は再生されません。

10 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［エフェクト］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



11 選択レバーを ▲ または ▼ に倒してエフェクトを選び、◎ を押す。



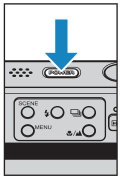
［なし］　　　　　：エフェクトは設定されません。
［フェード］　　　：再生中の画像は徐々に暗くなり、次の画像が徐々に明るくなって表示されます。
［オーバーラップ］：再生中の画像に次の画像が重なり、入れ替わります。
［シャッター］　　：黒い幕が上下から閉じて再生中の画像が消えます。その後、黒い幕が上下に開いて次の画像が表示されます。
［ワイプ］　　　　：再生中の画像が左から拭き取られるように消え、次の画像に入れ替わります。

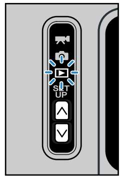
12 MENU ボタン ○MENU を押す。

スライドショーの開始と終了

スライドショーの設定については 90 ページをご覧ください。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



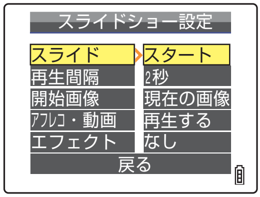


2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してスライドショー［▭］を選び、⏎ を押す。



4 選択レバーを ▲ に倒して［スライド］を選び、⏎ を押す。



スライドショーが始まります。

メモ　MENU ボタン ○MENU を押すと、スライドショーを途中で終了します。

動画とアフレコ付き静止画の再生中は以下の操作ができます。

ボタン操作	説明	
	動画	アフレコ付き静止画
選択レバー ▲	音量が大きくなります。	音量が大きくなります。
選択レバー ▼	音量が小さくなります。	音量が小さくなります。
選択レバー ◀	1 回倒すと動画が止まり、以後、倒すたびに逆コマ送りで再生されます。1 秒以上倒し続けると、2 倍速で巻き戻し再生されます。 さらに 2 秒以上倒し続けると、4 倍速で巻き戻し再生されます。	倒し続けると 1/2 倍速再生（遅くなる）になり、離すと通常再生に戻ります。
選択レバー ▶	1 回倒すと動画が止まり、以後、倒すたびにコマ送りで再生されます。1 秒以上倒し続けると、2 倍速で早送り再生されます。 さらに 2 秒以上倒し続けると、4 倍速で早送り再生されます。	倒し続けると倍速再生になり、離すと通常再生に戻ります。
◎	動画の再生を途中で終了します。	音声の再生を途中で終了します。
MENU ボタン ○MENU	スライドショーを途中で終了します。	

前へ

[ ]/[ ] 不要な画像を消す

《対応画像：静止画／動画》

メモリーカードに記録されている画像を、以下の方法で消すことができます。

- 消去　　：画像が 1 枚だけ消去されます。
- 選択消去：消したい画像を選んで消去できます。
- 全消去　：すべての画像が消去されます。

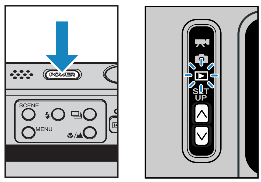
メモ　マルチ表示／グループ表示（→ 84 ページ）や Quick View（→ 46 ページ）からも画像を消すことができます。

画像を一枚だけ消す（消去）

画像を一枚だけ消去することができます。

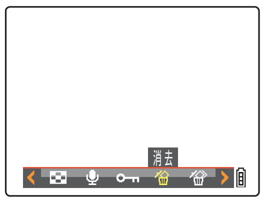
重要
- プロテクトされた画像（→ 99 ページ）は消すことができません。
- マルチ表示／グループ表示では画像が小さく表示されます。連続撮影した画像をマルチ表示で消去するときは、必要な画像を消去してしまわないように注意してください。
- アフレコした画像（→ 102 ページ）を消去すると、音声も一緒に消えます。
- 一度消去した画像をカメラ操作で元に戻すことはできません。消去するときは、必要な画像を消去してしまわないように注意してください。
- 一回の連写で撮影した連写グループの途中の画像を消去すると、2 つの連写グループになることがあります。

1 電源を ON にし、モードボタン [∧] [∨] を押してモード切替表示 LED の “[▶]” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

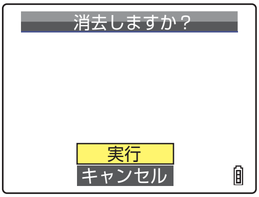
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して消去［ ］を選び、 を押す。



次へ

4 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して消去したい画像を選ぶ。

5 選択レバーを▲に倒して [実行] を選び、◎を押す。



画像が消去され、次の画像が表示されます。
他に画像がない場合は「画像がありません」と表示されます。

メモ
- 続けて消去するときは、操作４と５を繰り返します。
- 連写グループの画像を選んだ場合は、連写グループ消去確認画面が表示されます。選択レバーを ▲ に倒して [実行] を選び、◎ を押すと連写グループ内のすべての画像が消去されます。

6 MENU ボタン ○MENU を押す。

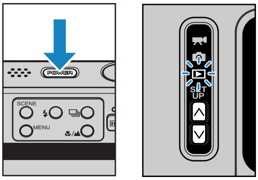
メモ シングル表示の場合はメニューから消去［🗑］を選ばなくても、選択レバーを ▼ に倒すと消去確認画面が表示されます。選択レバーを ▲ に倒して［実行］を選び、◎ を押すと表示中の画像が消去されます。

画像を選んで消す（選択消去）

消したい画像を選んで、まとめて消すことができます。

重要
- プロテクトされた画像（→ 99 ページ）は消すことができません。
- アフレコした画像（→ 102 ページ）を消去すると、音声も一緒に消えます。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



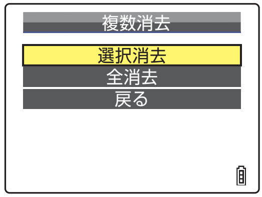
2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを◀または▶に倒して複数消去 [🗑] を選び、◎ を押す。



複数消去の設定画面が表示されます。

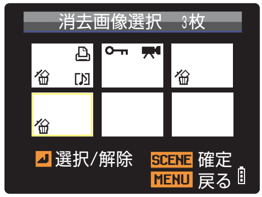
4 選択レバーを ▲ に倒して［選択消去］を選び、◎ を押す。



消去画像の選択画面が表示されます。

メモ　消去画像の選択画面はマルチ表示で表示されます。

5 選択レバーを ▲▼◀▶ に倒して消したい画像を選び、◎ を押す。



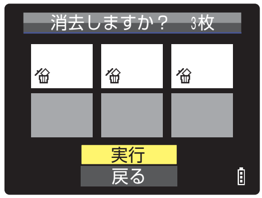
選んだ画像に［🗑］が表示されます。以後、この操作を繰り返して消したい画像を選びます。選択を解除するには、ゴミ箱［🗑］が表示されている画像を選び、◎ を押します。

メモ　選べる画像は 99 枚までです。

6 SCENE ボタン SCENE ○ を押す。

画像消去の確認画面が表示されます。

7 選択レバーを▲に倒して［実行］を選び、◎を押す。



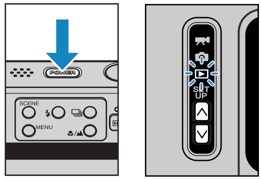
選択した画像が消去されます。

すべての画像を消す（全消去）

メモリーカードに記録されているすべての画像を消すことができます。

重要
・プロテクトされた画像（→ 99 ページ）は消すことができません。
・アフレコした画像（→ 102 ページ）を消去すると、音声も一緒に消えます。

1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

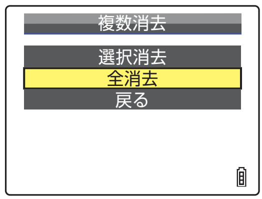
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して複数消去 [ ] を選び、 を押す。

複数消去の設定画面が表示されます。



4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［全消去］を選び、 を押す。

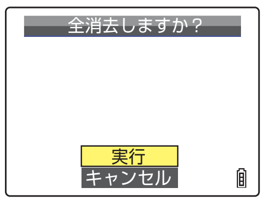
画像消去の確認画面が表示されます。



5 選択レバーを ▲ に倒して [実行] を選び、 を押す。

画像がすべて消去され、「画像がありません」の画面が表示されます。

重要　全消去しても画像が表示された場合は、その画像がプロテクトされていた可能性があります。強制的にすべての画像を消去するにはメモリーカードをフォーマットしてください。（「[フォーマット]　メモリーカードを初期化する」→ 153 ページ）



[⊶] 画像を消せないようにする（プロテクト）

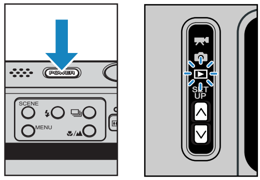
《対応画像：静止画／動画》

大切な画像を間違えて消さないように保護（プロテクト）することができます。

メモ　マルチ表示／グループ表示（→ 84 ページ）や Quick View（→ 46 ページ）からも設定できます。

プロテクトする

1　電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の“▶”を点灯させる。



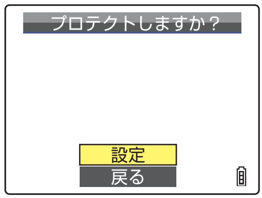
2　MENU ボタン ◯MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3　選択レバーを ◀ または ▶ に倒してプロテクト [⊶] を選び、◎ を押す。



4　選択レバーを ◀ または ▶ に倒してプロテクトしたい画像を選ぶ。

5　選択レバーを ▲ に倒して [設定] を選び、◎を押す。



[⊶] マークが表示され、プロテクトが設定されます。

メモ
- 続けてプロテクトするときは、操作 4 と 5 を繰り返します。
- グループ表示で連写グループの画像をプロテクトすると、連写グループ内のすべての画像がプロテクトされます。

次へ

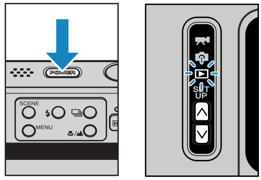
6 MENU ボタン ○MENU を押す。

重要　プロテクトした画像は、[全消去]（→ 98 ページ）では残りますが、[フォーマット]（→ 153 ページ）すると消去されてしまいますのでご注意ください。

メモ　シングル表示の場合は、SCENE ボタン ○SCENE を押すとプロテクト設定画面が表示されます。選択レバーを ▲ に倒して［設定］を選び、◎ を押すと表示中の画像がプロテクトされます。

プロテクトを解除する

1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

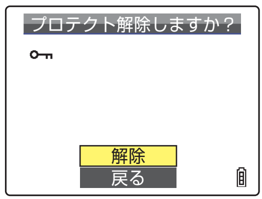
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してプロテクト [O-π] を選び、◎ を押す。



4 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してプロテクトを解除したい画像を選ぶ。

プロテクトされた画像には［O-π］が表示されます。

5 選択レバーを▲に倒して [解除] を選び、◎を押す。



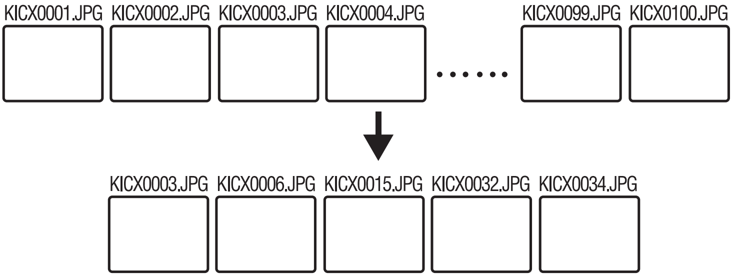
プロテクトが解除されます。

メモ
- 続けてプロテクトを解除するときは、操作 4 と 5 を繰り返します。
- グループ表示で連写グループのプロテクトを解除すると、連写グループ内のすべての画像のプロテクトが解除されます。

6 MENU ボタン ○MENU を押す。

■プロテクトと全消去を使った便利な画像の消しかた

例えば、画像が 100 枚記録されていて、そのうちの 5、6 枚の画像を残しておきたいとき、[消去] や [選択消去] で 1 枚ずつ消していくのは大変です。
このように画像がたくさん記録されていて、その中の数枚だけ残したいという場合は、[プロテクト] と [全消去] を使うと操作の手間が少なくて便利です。



1 **残しておきたい画像をプロテクトする。(「[○━] 画像を消せないようにする(プロテクト)」→ 99 ページ)**

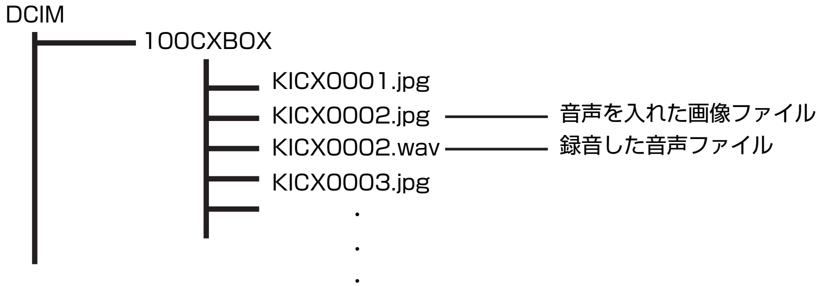
2 **次に、すべての画像を消去する。(「すべての画像を消す（全消去)」→ 98 ページ)**
プロテクトされている画像だけが残り、それ以外の画像は消去されます。

[🎙] 静止画に音声を入れる（アフレコ）

《対応画像：静止画のみ》

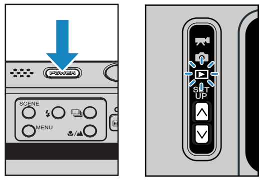
撮った画像に後から音声を入れることができます。

メモ
- マルチ表示／グループ表示（→ 84 ページ）からも設定できます。
- 録音した音声は、以下のように画像ファイルと同じフォルダーに拡張子のみ変えて記録されています。



録音する

1 電源を ON にし、モードボタン △ ▽ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してアフレコ [🎙] を選び、 ◎ を押す。

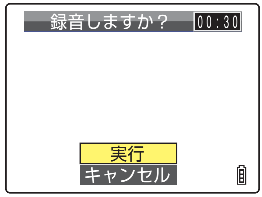


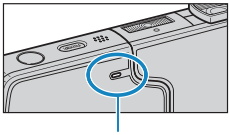
4 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して音声を入れたい画像を選ぶ。

次へ

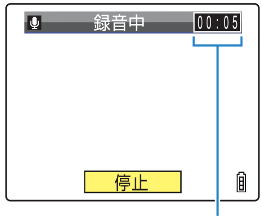
5 選択レバーを▲に倒して［実行］を選び、◎を押す。

音声の録音が始まります。
カメラ正面のマイクに向かって話すと、音声が録音されます。





マイク



録音中の秒数がカウントダウンで表示されます。最長30 秒まで録音できます。

6 ◎ を押す。

録音が終了し、操作 3 の画面に戻ります。

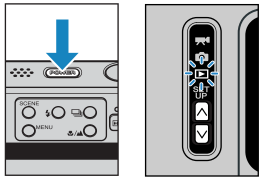
7 MENU ボタン ◯MENU を押す。

重要
- メモリーカードの空き容量が少なくなると、録音できないことがあります。
- 連写グループ、プロテクト画像、リサイズ画像にアフレコはできません。
- 本機以外で撮影した画像にはアフレコできない場合があります。

録音した音声を再生する

アフレコで録音した音声を再生します。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して音声を再生したい画像を選ぶ。

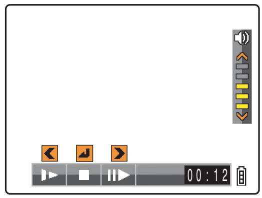
音声付きの画像には [♪] が表示されます。



3 ⊙ を押す。

音声の再生が始まります。
再生中は、以下の操作ができます。

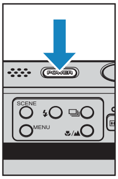
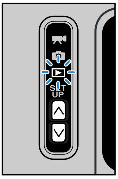
ボタン操作	説明
選択レバー ▲	音量が大きくなります。
選択レバー ▼	音量が小さくなります。
選択レバー ◀	倒し続けると 1/2 倍速再生（遅くなる）になり、離すと通常再生に戻ります。
選択レバー ▶	倒し続けると倍速再生になり、離すと通常再生に戻ります。
⊙	音声の再生を途中で終了します。



録音した音声を消去する

アフレコで録音した音声を消去します。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。

2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

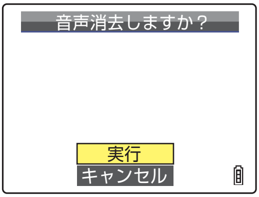
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してアフレコ [🎙] を選び、 ⏎ を押す。



4 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して音声を消去したい画像を選ぶ。

5 選択レバーを▲に倒して [実行] を選び、⏎を押す。

音声が消え、[録音しますか？] が表示されます。



6 MENU ボタン ○MENU を押す。

重要　プロテクト画像の音声を消すことはできません。

画素数の変更とトリミング（リサイズ）

《対応画像：静止画のみ》

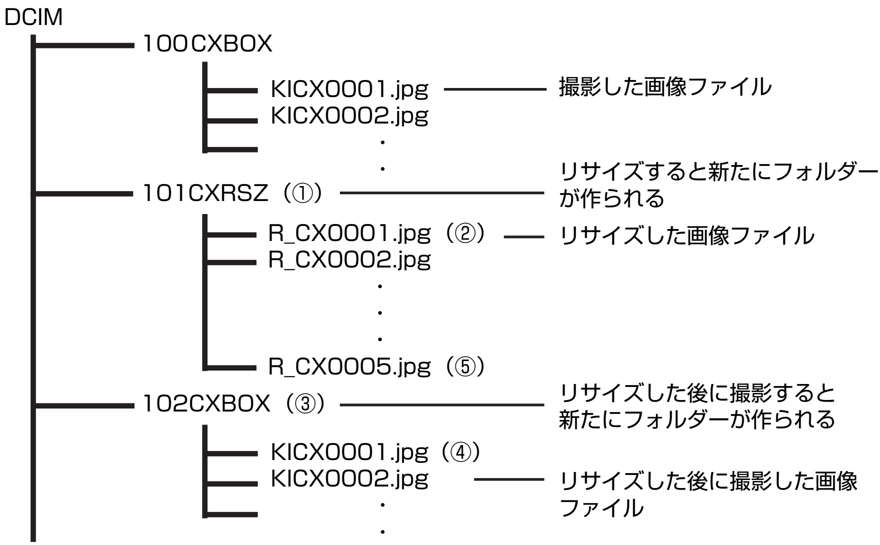
撮った画像の画素数を変更したり（リサイズ）、不要な部分を切り取ったりする（トリミング）ことができます。画素数は「320 × 240」と「160 × 120」から選ぶことができます。
リサイズしたりトリミングした画像は元の画像に上書きされず、新たな画像ファイルとして保存されます。

重要

- 連写グループはリサイズできません。
- 本機以外で撮影した画像はリサイズできない場合があります。
- メモリーカードの空き容量が少なくなると、リサイズできないことがあります。
- メモリーカードに 999CXBOX フォルダーがあるとリサイズできません。
- リサイズした画像は通常の再生で見ることができますが、ズーム再生で拡大することはできません。また、リサイズした画像を再度リサイズしたり、アフレコ、回転を行うこともできません。

メモ

- マルチ表示／グループ表示（→ 84 ページ）からも設定できます。
- リサイズした画像は、以下のように記録されています。

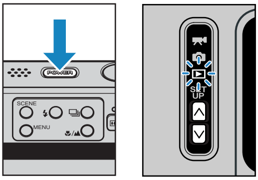


- 画像をリサイズすると新しい番号のフォルダーが作られ（①）、リサイズした画像ファイルはその中に記録されます（②）。画像をリサイズした後、撮影をおこなうと、再度新しい番号のフォルダーが作られ（③）、画像が記録されます（④）。その後、画像をリサイズした場合には、リサイズした画像（⑤）ははじめに作られたリサイズフォルダー（①）に記録されます。

次へ

リサイズする

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



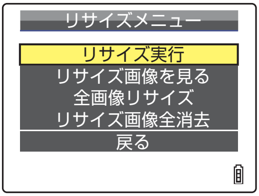
2 MENU ボタン ◯MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してリサイズ [ ] を選び、 を押す。

リサイズメニューが表示されます。



4 選択レバーを ▲ に倒して［リサイズ実行］を選び、 を押す。



5 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してリサイズしたい画像を選ぶ。

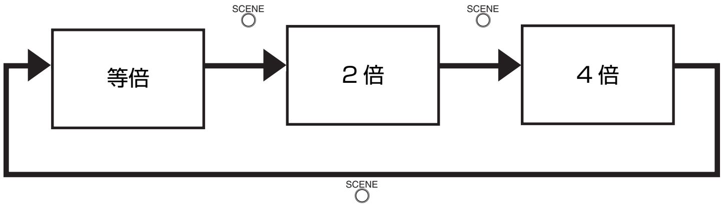
6 選択レバーを▲に倒して［決定］を選び、 を押す。



7 リサイズする範囲を決め、◎ を押す。



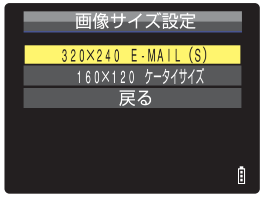
画素数だけを変えるときは ◎ を押します。
範囲を拡大するときは、SCENE ボタン ○ を押して 2 倍、4 倍に拡大し、選択レバー ▲▼◀▶ で範囲を決めたら、◎ を押します。





画素数と使用目的の参考が表示されます。

8 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して画像サイズを選び、◎ を押す。



リサイズした新たな画像の名前が表示されます。

[320x240 E-MAIL(S)]　：パソコンから E メールに添付して送るときに便利な、小さめの画像にリサイズします。
[160x120 ケータイサイズ]：携帯電話からのメールに添付して送るときに便利な、より小さめの画像にリサイズします。

メモ　携帯電話でメールに添付して送信する場合は、ご使用の携帯電話によって扱うことのできる画素数が異なります。詳しくはご使用の携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

9 ◎ を押す。

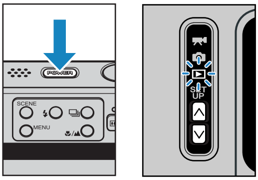


10 MENU ボタン ○ を押す。

リサイズした画像の確認と消去

リサイズした画像は通常の再生でも確認できますが、以下の手順ではリサイズした画像のみを再生または消去することができます。

1　電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2　MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3　選択レバーを ◀ または ▶ に倒してリサイズ [▦] を選び、◎ を押す。

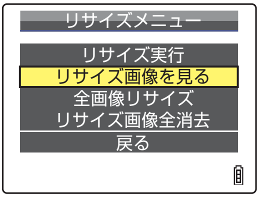
リサイズメニューが表示されます。



4　選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [リサイズ画像を見る] を選び、◎ を押す。

リサイズした画像が表示されます。

メモ　リサイズした画像が複数ある場合は、選択レバーを ◀ または ▶ に倒すと画像が切り替わります。





5　消去する場合は選択レバーを ▲ に倒して [🗑] を選び、◎ を押す。

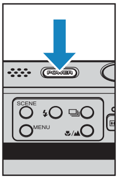


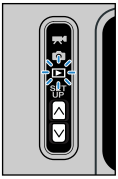
6　MENU ボタン ○MENU を押す。

すべての画像をリサイズする

メモリーカードに記録されているすべての画像をリサイズできます。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の "▶" を点灯させる。





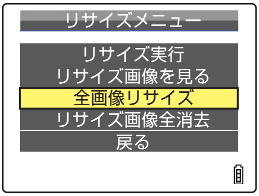
2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してリサイズ [ ] を選び、 を押す。



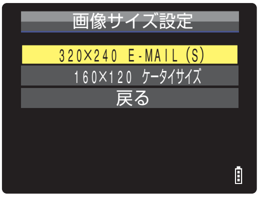
リサイズメニューが表示されます。

4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［全画像リサイズ］を選び、 を押す。



画素数と使用目的の参考が表示されます。

5 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して画像サイズを選び、 を押す。



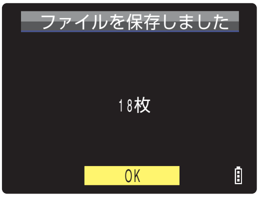
リサイズした画像数が表示されます。

[320x240 E-MAIL(S)]　：パソコンから E メールに添付して送るときに便利な、小さめの画像にリサイズします。

[160x120 ケータイサイズ]：携帯電話からのメールに添付して送るときに便利な、より小さめの画像にリサイズします。

メモ
- 携帯電話でメールに添付して送信する場合は、ご使用の携帯電話によって扱うことのできる画素数が異なります。詳しくはご使用の携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- リサイズ中にMENUボタン ○MENU を押すとリサイズは中断され、途中までリサイズした画像だけが保存されます。

6 確認したら ◎ を押す。



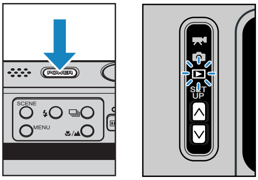
7 MENU ボタン ○MENU を押す。

重要
- 本機以外で撮影した画像はリサイズできない場合があります。
- 全画像リサイズ中にメモリーカードが一杯になるとリサイズは中断され、途中までリサイズした画像だけが保存されます。
- リサイズの範囲指定（トリミング）はできません。

リサイズ画像を全消去する

リサイズした画像をすべて消去します。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

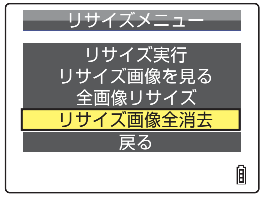
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してリサイズ［▦］を選び、◎ を押す。

リサイズメニューが表示されます。



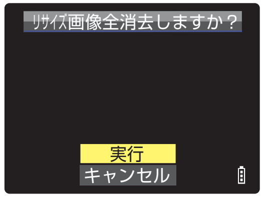
4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［リサイズ画像全消去］を選び、◎ を押す。

リサイズ画像消去の確認画面が表示されます。



5 選択レバーを ▲ に倒して［実行］を選び、◎を押す。

リサイズ画像がすべて消去されます。



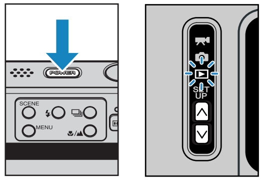
6 MENU ボタン ○MENU を押す。

[ ] 画像を回転させる

《対応画像：静止画のみ》

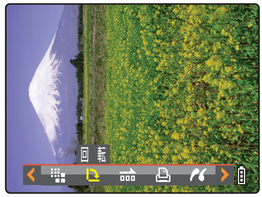
画像を右 90° または左 90° に回転させることができます。

1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の "▶" を点灯させる。



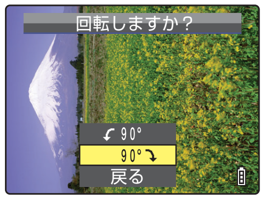
2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して回転 [ ] を選び、◎ を押す。



4 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して回転させたい画像を選ぶ。

5 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して回転方向を選び、◎ を押す。



回転した画像が表示されます。

⤺90° ：左に 90° 回転します。

90°⤻ ：右に 90° 回転します。

[戻る] ：メニューアイコンの画面に戻ります。

メモ 続けて画像を回転させるときは、操作 4 と 5 を繰り返します。



6 MENU ボタン ○MENU を押す。

重要
- プロテクト画像、連写グループ、リサイズ画像を回転させることはできません。
- 本機以外で撮影した画像は回転できない場合があります。
- マルチ表示／グループ表示では、回転前の向きで表示されます。

[ ]DPOF でプリントの設定をする

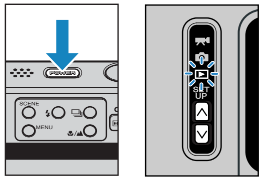
《対応画像：静止画のみ》

DPOF とは、デジタルカメラで撮影した画像を家庭用プリンターやプリント取扱店で手軽にプリントするための規格です。
プリントする画像や枚数の指定、日付の印字指定などの簡単な設定ができます。
ご使用のプリンター、プリント取扱店が DPOF サービスに対応しているかご確認ください。DPOF については、お使いの DPOF 対応プリンターの取扱説明書も併せてお読みください。

メモ　マルチ表示／グループ表示（→ 84 ページ）からも設定できます。

DPOF の設定をする

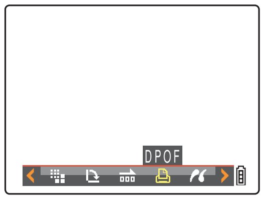
1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の “▶” を点灯させる。



2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

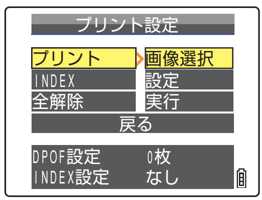
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して DPOF [ ] を選び、◎ を押す。

プリント設定の画面が表示されます。



4 選択レバーを ▲ に倒して［プリント］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。

プリント画像選択画面が表示されます。



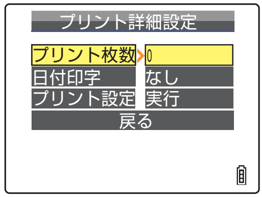
5 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してプリントの設定をしたい画像を選ぶ。

次へ

6 選択レバーを▲に倒して［決定］を選び、⏎を押す。

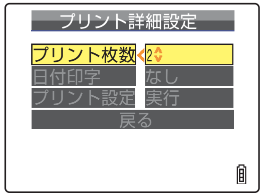


7 選択レバーを ▲ に倒して ［プリント枚数］ を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



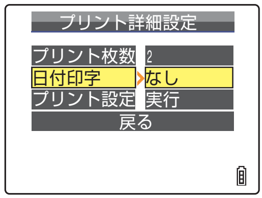
8 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して枚数を決め、⏎ を押す。

プリント枚数が設定されます。



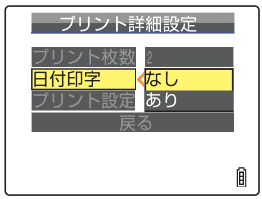
9 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して ［日付印字］ を選び、 選択レバーを ▶ に倒す。

重要　［日付写し込み］（→ 155 ページ）を［あり］にして設定された画像を、この［日付印字］を［あり］に設定してプリントすると、日付が二重に印字されます。



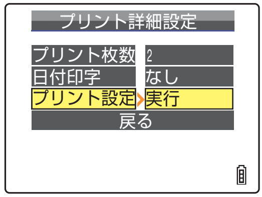
10 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して ［なし］ または ［あり］ を選び、 ⏎ を押す。

［なし］: 日付が印字されません。
［あり］: 日付が印字されます。



11 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して[プリント設定]を選び、選択レバーを ▶ に倒す。

DPOF が設定され、プリント設定の画面に戻ります。



12 MENU ボタン ◯MENU を押す。

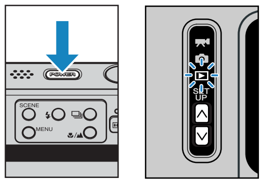
重要
- メモリーカードの空き容量が少なくなると、設定できないことがあります。
- リサイズ画像は設定できません。
- 本機以外で撮影した画像は設定できない場合があります。

メモ
- 他の画像の DPOF 設定を続ける場合は、操作４～１１を繰り返します。
- ［戻る］を選ぶと、操作１１までの手順で設定した内容をキャンセルしてプリント設定の画面に戻ります。

インデックスプリントを設定する

メモリーカードに記録されている画像の一覧をプリントします。

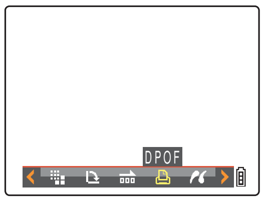
1 電源を ON にし、モードボタン ∧ ∨ を押してモード切替表示 LED の“▶”を点灯させる。



2 MENU ボタン ◯MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

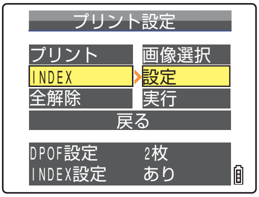
3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して DPOF［⎙］を選び、◎ を押す。

プリント設定の画面が表示されます。



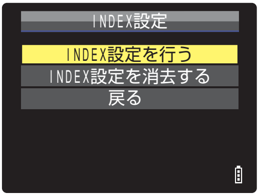
前へ 次へ

4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [INDEX] を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



5 選択レバーを ▲ に倒して［INDEX 設定を行う］を選び、Ⓞ を押す。

インデックスプリントが設定され、プリント設定の画面に戻ります。



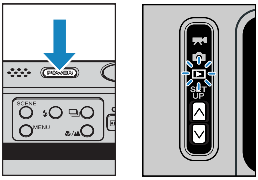
6 MENU ボタン ○MENU を押す。

メモ

・［INDEX 設定を消去する］を選んで Ⓞ を押すと、インデックスプリントの設定を解除してプリント設定の画面に戻ります。
・［戻る］を選ぶとプリント設定の画面に戻ります。

プリント設定をすべて解除する

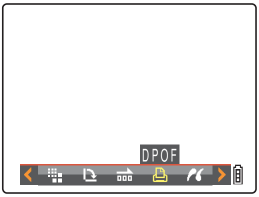
1 電源を ON にし、モードボタン ⋀ ⋁ を押してモード切替表示 LED の "▶" を点灯させる。



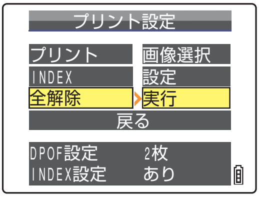
2 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して DPOF [🖶] を選び、Ⓞ を押す。

プリント設定の画面が表示されます。

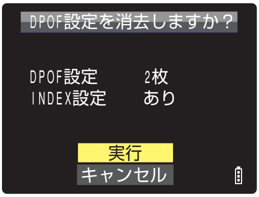


4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［全解除］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



5 選択レバーを▲に倒して［実行］を選び、◎を押す。

プリントの設定がすべて解除され、プリント設定の画面に戻ります。



6 MENU ボタン ○MENU を押す。

[PictBridge] カメラをプリンターに接続してプリントする（PictBridge）

《対応画像：静止画のみ》

カメラを PictBridge 対応のプリンターに接続して、カメラからの簡単な操作で画像をプリントすることができます。また、プリンターが DPOF に対応していれば、DPOF 設定した画像（→ 114 ページ）もプリントすることができます。ご使用の際は、お使いのプリンターの取扱説明書も併せてお読みください。

重要
・ご使用のプリンターが PictBridge に対応しているかご確認ください。
・ご使用の前に、プリンターの準備をしてください。（プリンターの取扱説明書をご覧ください。）

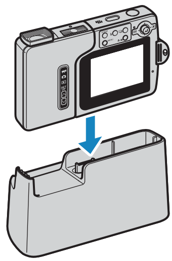
メモ　マルチ表示／グループ表示（→ 84 ページ）からも設定できます。

カメラとプリンターを接続する

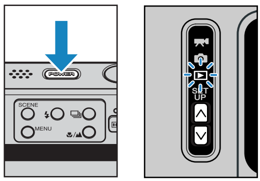
1 プリンターの電源を入れる。

2 カメラを USB クレイドルに取り付ける。

メモ　USB クレイドルの取り付けかたは「USB クレイドルの使いかた」（→ 31 ページ）をご覧ください。



3 電源を ON にし、モードボタン [∧] [∨] を押してモード切替表示 LED の “[▶]” を点灯させる。

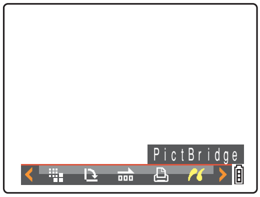


4 MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

次へ

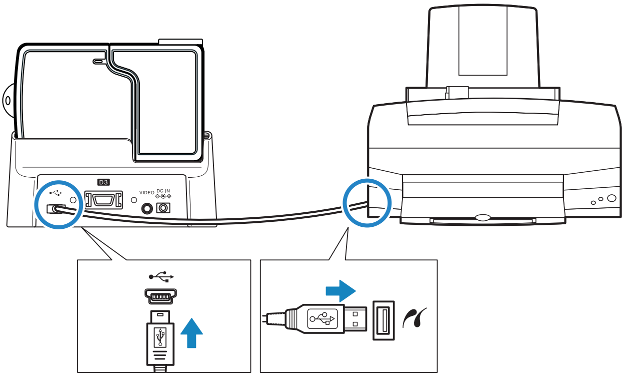
5 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して PictBridge［ ］を選び、 を押す。

プリンターの接続待ち画面が表示されます。





6 付属のUSBケーブルで、カメラを取り付けたUSBクレイドルとプリンターを接続する。



重要

- 操作５の「プリンタを接続してください」の画面が表示されてからプリンターと接続してください。表示される前にプリンターを接続すると、PC モードになり、プリントできません。
- USB 端子の大きさを確認してください。小さい端子は USB クレイドルに、大きな端子はプリンターの USB 端子に接続します。

プリントメニュー画面が表示されます。



プリントの設定をする

1 プリントメニュー画面で選択レバーを ▼ に倒して［プリント設定］を選び、◎ を押す。



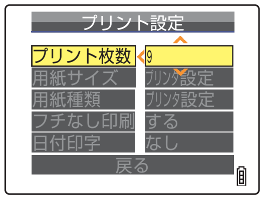
2 選択レバーを ▲ に倒して［プリント枚数］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



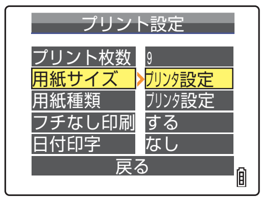
3 選択レバーを▲または▼に倒してプリント枚数を選び、◎ を押す。

プリント枚数が設定されます。

メモ　プリント枚数は 9 枚まで設定できます。



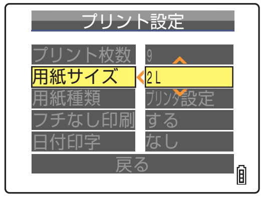
4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［用紙サイズ］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



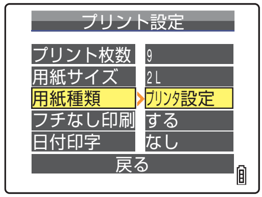
5 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して用紙サイズを選び、 を押す。

用紙サイズが設定されます。

メモ　用紙サイズは、プリンタ設定またはプリンターでサポートしているものが表示されます。



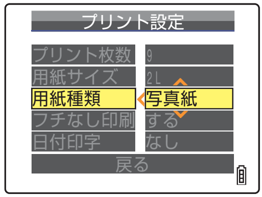
6 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［用紙種類］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



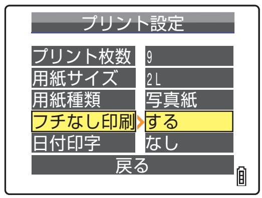
7 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して用紙種類を選び、 を押す。

用紙種類が設定されます。

メモ　用紙種類は、プリンタ設定またはプリンターでサポートしているものが表示されます。

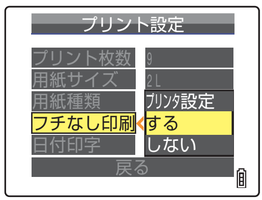


8 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［フチなし印刷］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。

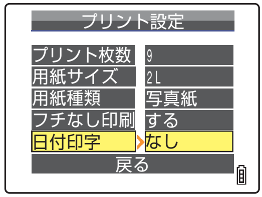


9 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して印刷方法を選び、 を押す。

［プリンタ設定］：プリンターの設定が優先されます。
［する］　　　　：用紙一杯にプリントします。
［しない］　　　：フチを付けてプリントします。

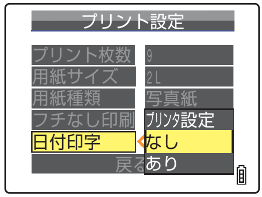


10 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して[日付印字] を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



11 選択レバーを▲または▼に倒して印刷方法を選び、を押す。

[プリンタ設定] ：プリンターの設定が優先されます。
[なし] ：日付が印字されません。
[あり] ：日付が印字されます。



12 選択レバーを ▼ に倒して ［戻る］ を選び、 を押す。

プリントメニュー画面に戻ります。

メモ 印刷実行の確認画面からプリントの設定をした場合は、印刷実行の確認画面に戻ります。

画像を一枚ずつプリントする

1 プリントメニュー画面で選択レバーを ▲ に倒して [1画像プリント］ を選び、 を押す。



2 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してプリントしたい画像を選ぶ。

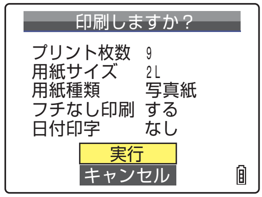
3 選択レバーを▲に倒して [決定] を選び、を押す。

印刷実行の確認画面が表示されます。
印刷設定の変更をする場合は 「プリントの設定をする」（→ 121 ページ）をご覧ください。



メモ MENU ボタン ○MENU を押すと、プリントメニュー画面が表示されます。

4 選択レバーを▲に倒して［実行］を選び、◉を押す。



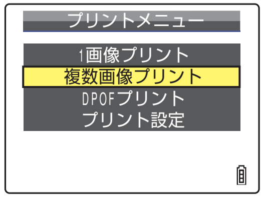
プリントが開始され、正常に終了すると印刷完了画面が表示されます。

重要　印刷中にエラーが起きた場合は画面にエラーメッセージが表示され、印刷が中断されます。表示されるメッセージと対処のしかたは 180 ページをご覧ください。

メモ
- この操作をする前に SCENE ボタン を押すと、プリントの設定ができます。（設定のしかたは 121 ページの操作 2 〜 12 をご覧ください。）
- 印刷中は、画面に印刷されている枚数と総印刷枚数が表示されます。
- 印刷を途中で中止する場合は、MENU ボタン を押します。

複数の画像をプリントする

1 プリントメニュー画面で選択レバーを▲または▼に倒して［複数画像プリント］を選び、◉を押す。



プリント画像選択画面が表示されます。

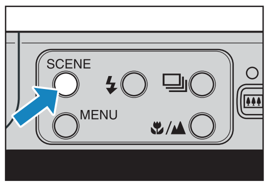
2 選択レバーを▲▼◀▶に倒してプリントしたい画像を選び、◉を押す。



選んだ画像に［🖶］が表示されます。以後、この操作を繰り返してプリントしたい画像を選択します。選択を解除するには、［🖶］が表示されている画像を選び、◉を押します。

メモ　選べる画像は 99 枚までです。

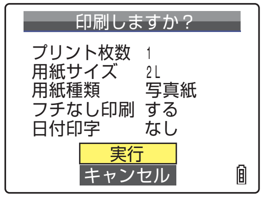
3 SCENE ボタン を押す。



印刷実行の確認画面が表示されます。
印刷設定の変更をする場合は「プリントの設定をする」（→ 121 ページ）をご覧ください。

メモ　MENU ボタン を押すと、プリントメニュー画面が表示されます。

4 選択レバーを▲に倒して [実行] を選び、◎を押す。



プリントが開始され、正常に終了すると印刷完了画面が表示されます。

重要　印刷中にエラーが起きた場合は画面にエラーメッセージが表示され、印刷が中断されます。表示されるメッセージと対処のしかたは 180 ページをご覧ください。

メモ
- この操作をする前に SCENE ボタン ○ を押すと、プリントの設定ができます。（設定のしかたは 121 ページの操作 2 ～ 12 をご覧ください。）
- 印刷中は、画面に印刷されている枚数と総印刷枚数が表示されます。
- 印刷を途中で中止する場合は、MENU ボタン ○ を押します。

DPOF の設定でプリントする

重要　画像が DPOF 設定されていないと DPOF 印刷することができません。（→ 114 ページ）

1 プリントメニュー画面で選択レバーを▲または▼に倒して ［DPOF プリント］ を選び、◎ を押す。



DPOF プリント画面が表示されます。

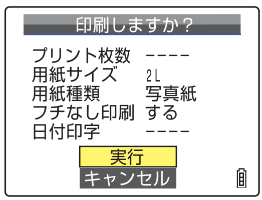
2 選択レバーを▲に倒して [実行] を選び、◎を押す。



印刷実行の確認画面が表示されます。
印刷設定の変更をする場合は「プリントの設定をする」（→ 121 ページ）をご覧ください。

メモ　MENU ボタン ○ を押すと、プリントメニュー画面が表示されます。

3 選択レバーを▲に倒して [実行] を選び、◎を押す。



プリントが開始され、正常に終了すると印刷完了画面が表示されます。

重要　印刷中にエラーが起きた場合は画面にエラーメッセージが表示され、印刷が中断されます。表示されるメッセージと対処のしかたは 180 ページをご覧ください。

メモ

- この操作をする前に SCENE ボタン を押すと、プリントの設定ができます。(設定のしかたは 121 ページの操作 2 ～ 12 をご覧ください。)
- プリント枚数と日付印字は DPOF の設定が優先されるため、表示されせん。
- 印刷中は、画面に印刷されている枚数と総印刷枚数が表示されます。
- 印刷を途中で中止する場合は、MENU ボタン を押します。

⚠ が表示された場合（PictBridge）

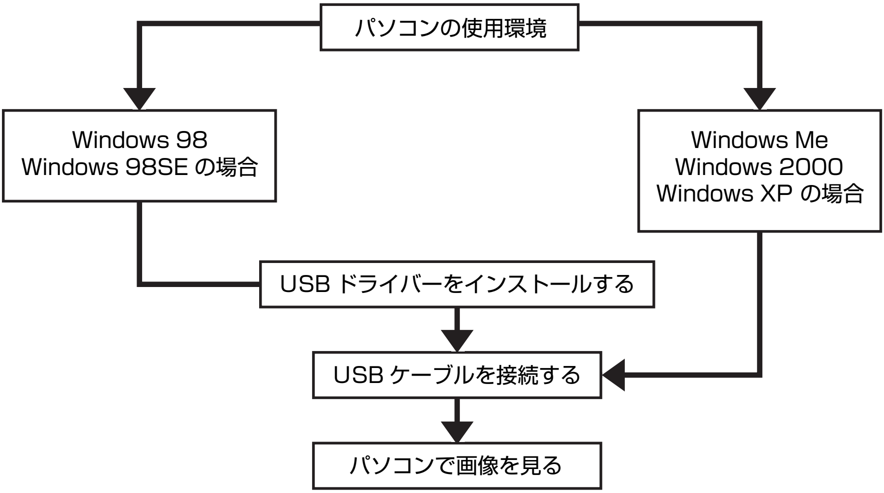
PictBridge でプリンターと接続している場合、画面左上に ⚠ マークが表示されることがあります。この場合、プリンターから警告メッセージを受けています。プリンターの状態を確認してください。
あわせて、プリンターの取扱説明書をご参照ください。

PictBridge を終了する

プリントメニュー画面が表示された状態で、USB ケーブルを取り外してください。

Windows パソコンにつなぐ

このカメラは、撮影した画像をパソコンで見たり、パソコンにコピーして加工したり、パソコンから E メールで送ることができます。
まずはお使いのパソコンの OS をご確認いただき、OS に合わせてお読みください。



パソコンの使用環境

- USB 端子が標準で装備されていること（カメラを接続するときに必要です。）
- Windows 98、Windows 98SE の場合は CD-ROM ドライブが装備されていること（USB ドライバーのインストール時に必要です。）
- Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional、Windows XP HomeEdition または Professional がプレインストールされていること

※上記の OS でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

※本製品は、USB2.0（Hi-Speed）に対応しております。
Hi-Speed に対応したパソコンと接続した場合、より高速にデータのやりとりができます。

次へ

USB ドライバーをインストールする（Windows 98、Windows 98SE のみ）

Windows 98、Windows 98SE の場合は、USB ドライバーのインストールが必要です。USB ドライバーはカメラに付属している CD-ROM（「取扱説明書」とドライバーソフト）に収録されています。

重要 USB ケーブルは、USB ドライバーのインストールが完了してから接続してください。先に USB ケーブルを接続すると USB ドライバーが正しくインストールされません。接続してしまった場合は、「デバイスの削除と対処法（Windows 98、Windows 98SE のみ）」（→ 135 ページ）をご覧ください。

1 パソコンの電源を ON にしてパソコンを起動する。

2 付属の CD-ROM（「取扱説明書」とドライバーソフト）をパソコンの CD-ROM ドライブにセットする。

CD-ROM が自動的に起動します。CD-ROM が自動的に起動しない場合は、「マイコンピュータ」内の「CONTAXU4R」アイコンをダブルクリックしてください。

3 言語選択の画面が表示されたら、使用する言語をクリックする。

4「USB ドライバーのインストール」をクリックする。



インストールが始まります。ガイドに従ってインストールを行ってください。

5「InstallShield Wizard の完了」のメッセージが表示されたら、［はい、今すぐコンピュータを再起動します。］がチェックされていることを確認して、［完了］をクリックする。



インストールが完了し、パソコンが再起動します。

重要 インストールに失敗した場合は「デバイスの削除と対処法（Windows 98、Windows 98SE のみ）」（→ 135 ページ）の手順に従ってアンインストールし、再度インストールを行ってください。

USB ドライバーが不要になった場合

1 **パソコンの電源を ON にしてパソコンを起動する。**

2 **[マイコンピュータ] をダブルクリックする。**

3 **[コントロールパネル] をダブルクリックする。**

4 **[アプリケーションの追加と削除] をダブルクリックし、[Digital Camera USB Device3] を選ぶ。**

5 **[追加と削除] をクリックする。**

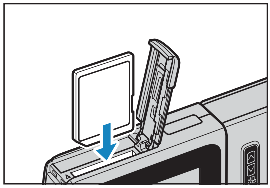
[選択したアプリケーション、およびすべてのコンポーネントを完全に削除しますか？] と表示されますので、[OK] をクリックしてください。これでドライバーは削除されます。

Windows パソコンで画像を見る

重要

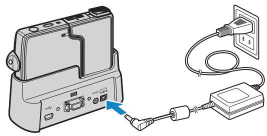
- Windows 98、Windows 98SE をお使いの場合は、USB ドライバーをインストールしてから USB ケーブルを接続してください。（→ 128 ページ）
- Windows Me、Windows 2000、Windows XP は USB ドライバーのインストールが不要です。ドライバーをインストールせずに USB ケーブルを接続してください。
- パソコンに画像を見るためのソフトウエアがインストールされている必要があります。（動画の再生には QuickTime4.1 以上が必要です。）
- パソコンと接続して画像を見たり、コピーするときは、必ず AC アダプターをご使用ください。バッテリーが消耗して電源が OFF になったときに、ファイルがこわれる場合があります。
- 大きな画素数、フレーム／ S で記録した動画は一度パソコンにコピーして、コピーした画像を再生してください。カメラに装着したメモリーカードの動画をパソコンで再生すると、データ転送速度が間に合わず、スムーズな再生ができない場合があります。

1 カメラにメモリーカードを入れる。（→ 26 ページ）



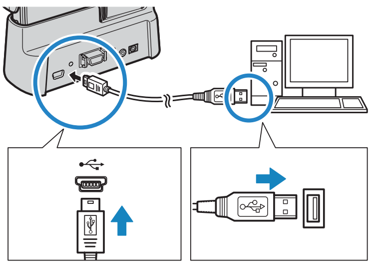
重要　カメラにメモリーカードが入っていないと、パソコンで画像を確認できません。

2 カメラを USB クレイドルに取り付け、AC アダプターに接続する。



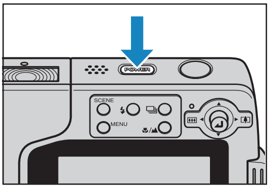
メモ　USB クレイドルの取り付けかたは「USB クレイドルの使いかた」（→ 31 ページ）をご覧ください。

3 付属のUSBケーブルで、カメラを取り付けたUSBクレイドルとパソコンを接続し、パソコンを起動する。

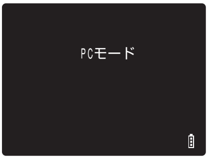


重要　USB 端子の大きさを確認してください。小さい端子は USB クレイドルに、大きな端子はパソコンの USB 端子に接続します。

4 POWER ボタン (POWER) を押してカメラの電源を ON にする。



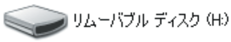
画面には［PC モード］と表示され、カメラのメモリーカードに保存されている画像をパソコンで確認したり、パソコンにコピーできるようになります。



重要
- Windows XP をお使いの場合は［スキャナとカメラウィザード］のウィンドウが表示されますが、［キャンセル］をクリックしてウィンドウを閉じてください。
- パソコンにつないで画像を見たり、画像をコピーしているときは、カードアクセス LED が点滅します。このときに以下のことをしないでください。
  - カメラを USB クレイドルから取り外す
  - USB ケーブルを抜く
  - パソコンの電源を切る

メモ
- カメラとパソコンが接続され、ファイルのやりとりが可能な通信状態にあるときはセルフタイマー LED が点灯します。
- 通信状態から USB ケーブルを抜く手順は、お使いの Windows のバージョンによって異なります。（→ 133 ページ）

5 ［マイコンピュータ］に［リムーバブルディスク］のアイコンが表示されたら、ダブルクリックしてウインドウを開く。



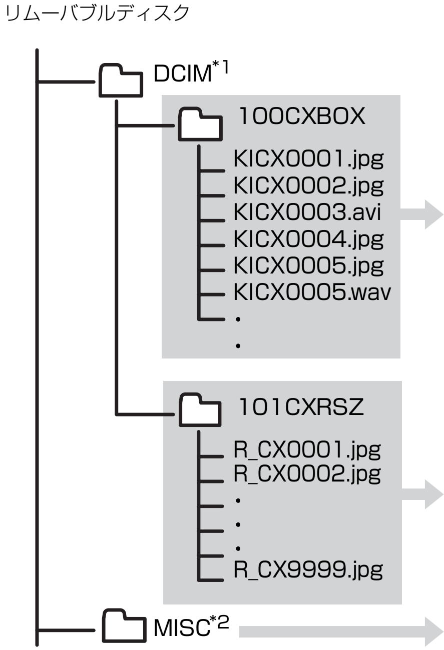
重要 「PC モード」が表示されていても、パソコン上に［リムーバブルディスク］のアイコンが表示されない場合には、USB ケーブルが確実に接続されているかをご確認ください。

6 DCIM フォルダー内の ［xxxCXBOX］ または [xxxCXRSZ] を開き、見たい画像ファイルを選んでダブルクリックする。

メモ フォルダー［xxxCXBOX］、[xxxCXRSZ] の xxx には、100 ～ 999 の数字が入ります。（→ 172 ページ）

■メモリーカードのフォルダー構成

Windows パソコン上で、カメラのメモリーカードのフォルダー構成は以下のようになっています。



静止画 / 動画 / 音声

同一フォルダー内に同じファイル名はできません。
カメラで画像を一つ削除すると、そのファイル名は欠番となります。
アフレコで録音した音声は、静止画と同じフォルダーに拡張子を「.wav」に変えて保存されます。

リサイズ画像はここに記載されます。

DPOF でプリント設定（→ 114ページ）を行ったときつくられるフォルダーです。

*1 DCIM：Digital Camera Image の略
*2 MISC：Miscellaneous の略

重要

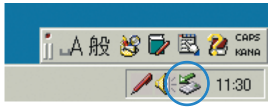
- パソコンからメモリーカードの画像ファイルを削除しないでください。必ずカメラ側で行ってください。
- 同一フォルダー内に同じファイル名はできません。カメラで画像を一つ削除すると、そのファイル名は欠番となります。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。
- 画像のサイズを変えたり、回転するなど画像を加工するときは、その前にパソコンにコピーすることを忘れないでください。メモリーカードの画像を直接加工すると、カメラで再生ができなくなります。
- パソコンからメモリーカードをフォーマットしないでください。カメラで使用できなくなるおそれがあります。

Windows パソコンから USB ケーブルを取り外す

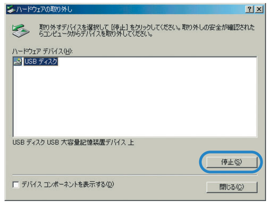
Windows パソコンから USB ケーブルを取り外すときは以下の手順で行ってください。

● Windows Me をお使いの場合

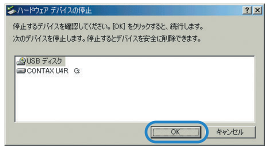
1 デスクトップ右下にある「タスクバー」の［ハードウェアの取り外し］アイコンをダブルクリックする。



2 ［USB ディスク］を選択して［停止］をクリックする。



3 ［USB ディスク］を選択して［OK］をクリックする。



4 ［‘USB ディスク’は安全に取り外すことができます。］とメッセージが表示されたら、［OK］をクリックする。



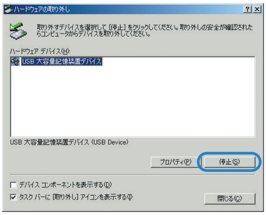
5 USB ケーブルをパソコンと USB クレイドルから取り外す。

● Windows 2000、Windows XP をお使いの場合

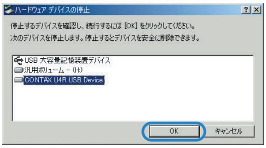
1 デスクトップ右下にある「タスクバー」の［ハードウエアの取り外し］アイコンをダブルクリックする。



2 ［USB 大容量記憶装置デバイス］を選択して［停止］をクリックする。



3 ［CONTAX U4R USB Device］を選択して［OK］をクリックする。



4 ［'USB 大容量記憶装置デバイス' は安全に取り外すことができます。］とメッセージが表示されたら、［OK］をクリックする。



5 USB ケーブルをパソコンと USB クレイドルから取り外す。

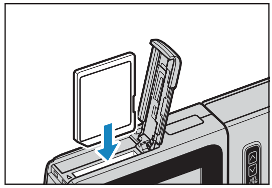
● Windows 98、Windows 98SE お使いの場合

カメラの電源を OFF にし、そのまま USB ケーブルを取り外してください。

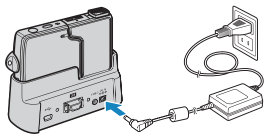
デバイスの削除と対処法（Windows 98、Windows 98SE のみ）

ドライバーソフトが正常にインストールされていないと、パソコンがカメラを認識できません。
その場合は、以下の手順に従ってデバイスを削除してください。その後、128 ページに記載されている手順に従って、再度ドライバーをインストールしてください。
※以下は Windows 98、Windows 98SE にのみ必要な操作です。

1 カメラにメモリーカードを入れる。（→ 26 ページ）

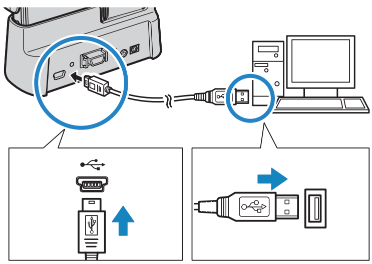


2 カメラを USB クレイドルに取り付け、AC アダプターに接続をする。



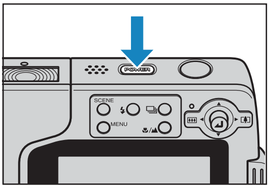
メモ USB クレイドルの取り付けかたは「USB クレイドルの使いかた」（→ 31 ページ）をご覧ください。

3 付属のUSBケーブルで、カメラに取り付けたUSBクレイドルとパソコンを接続し、パソコンを起動する。

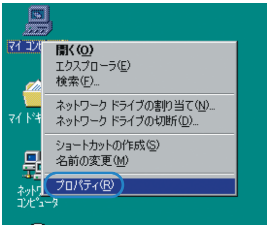


重要 USB 端子の大きさを確認してください。小さい端子は USB クレイドルに、大きな端子はパソコンの USB 端子に接続します。

4 **POWER ボタン (POWER) を押してカメラの電源を ON にする。**



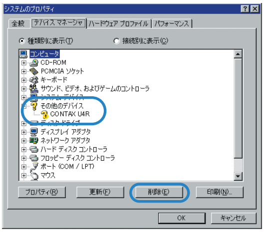
5 **［マイコンピュータ］を右クリックし、［プロパティ］を選ぶ。**



6 **システムのプロパティが表示されたら、［デバイスマネージャ］のタブをクリックする。**



7 **［その他のデバイス］の、“?” マークのついた［CONTAX U4R］を選択して［削除］をクリックする。**

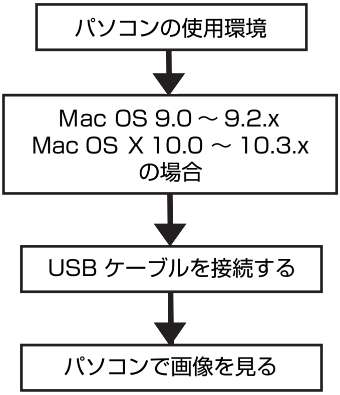


8 **デバイス削除の確認画面が表示されたら、［OK］をクリックする。**

9 **カメラの電源をOFFにしてからUSBケーブルを取り外し、パソコンを再起動する。**

Macintosh パソコンにつなぐ

このカメラは、撮影した画像をパソコンで見たり、パソコンにコピーして加工したり、パソコンから E メールで送ることができます。
まずはお使いのパソコンの OS をご確認いただき、OS に合わせてお読みください。



パソコンの使用環境

- USB 端子が標準で装備されていること（カメラを接続するときに必要です。）
- Mac OS 9.0 ～ 9.2.x または OS X 10.0 ～ 10.3.x（OS X サーバーを除く）がプレインストールされていること

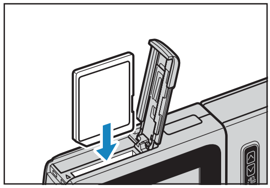
※上記の OS でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

Macintosh パソコンで画像を見る

重要

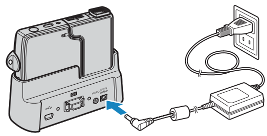
・Macintosh パソコンは USB ドライバーのインストールが不要です。ドライバーをインストールせずに USB ケーブルを接続してください。
・パソコンに画像を見るためのソフトウエアがインストールされている必要があります。(動画の再生には QuickTime4.1 以上が必要です。)
・パソコンと接続して画像を見たり、コピーするときは、必ず AC アダプターをご使用ください。バッテリーが消耗して電源が OFF になったときに、ファイルがこわれる場合があります。
・大きな画素数、フレーム／S で記録した動画は一度パソコンにコピーして、コピーした画像を再生してください。カメラに装着したメモリーカードの動画をパソコンで再生すると、データ転送速度が間に合わず、スムーズな再生ができない場合があります。

1 カメラにメモリーカードを入れる。(→ 26 ページ)



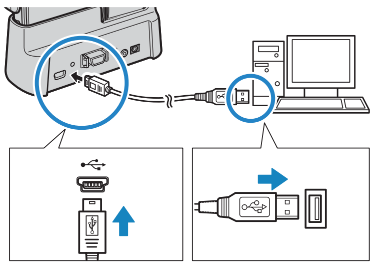
重要 カメラにメモリーカードが入っていないと、パソコンで画像を確認できません。

2 カメラを USB クレイドルに取り付け、AC アダプターを接続する。



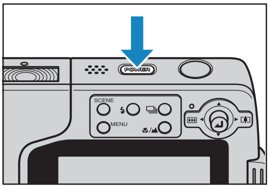
メモ USB クレイドルの取り付けかたは「USB クレイドルの使いかた」(→ 31 ページ)をご覧ください。

3 付属のUSBケーブルで、カメラを取り付けたUSBクレイドルとパソコンを接続し、パソコンを起動する。

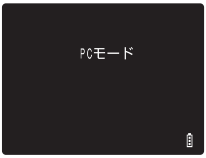


重要 USB 端子の大きさを確認してください。小さい端子は USB クレイドルに、大きな端子はパソコンの USB 端子に接続します。

4 POWER ボタン (POWER) を押してカメラの電源を ON にする。



画面には［PC モード］と表示され、カメラのメモリーカードに保存されている画像をパソコンで確認したり、パソコンにコピーできるようになります。



重要　パソコンにつないで画像を見たり、画像をコピーしているときは、カードアクセス LED が点滅します。このときに以下のことをしないでください。
・ カメラを USB クレイドルから取り外す
・ USB ケーブルを抜く
・ パソコンの電源を切る

メモ　カメラとパソコンが接続され、ファイルのやり取りが可能な通信状態にあるときはセルフタイマー LED が点灯します。

5 デスクトップに［名称未設定］のアイコンが表示されたら、ダブルクリックしてウインドウを開く。

※ Mac OS X 10.0 ～ 10.3.x は［NO_NAME］と表示されます。

重要　「PC モード」が表示されていても、パソコン上に［名称未設定］または［NO_NAME］のアイコンが表示されない場合には、USB ケーブルが確実に接続されているかをご確認ください。

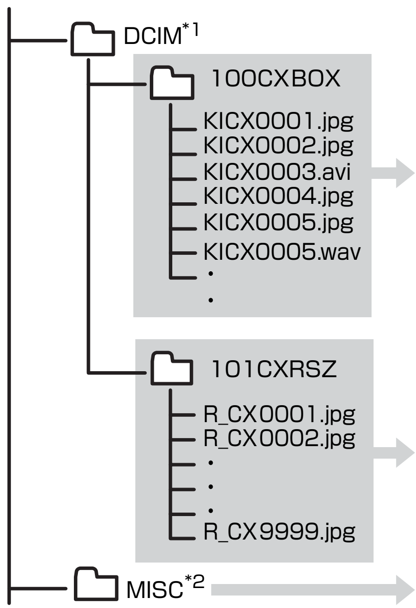
6 DCIM フォルダー内の［xxxCXBOX］または [xxxCXRSZ] を開き、見たい画像ファイルを選んでダブルクリックする。

メモ　フォルダー［xxxCXBOX]、[xxxCXRSZ] の xxx には、100 ～ 999 の数字が入ります。(→ 172 ページ)

■メモリーカードのフォルダー構成

Macintosh パソコン上で、カメラのメモリーカードのフォルダー構成は以下のようになっています。

名称未設定



静止画 / 動画 / 音声

同一フォルダー内に同じファイル名はできません。カメラで画像を一つ削除すると、そのファイル名は欠番となります。

アフレコで録音した音声は、静止画と同じフォルダーに拡張子を「.wav」に変えて保存されます。

リサイズ画像はここに記載されます。

DPOF でプリント設定（→ 114 ページ）を行ったときつくられるフォルダーです。

*1 DCIM：Digital Camera Image の略
*2 MISC：Miscellaneous の略

重要

- パソコンからメモリーカードの画像ファイルを削除しないでください。必ずカメラ側で行ってください。
- 同一フォルダー内に同じファイル名はできません。カメラで画像を一つ削除すると、そのファイル名は欠番となります。
- パソコンが省エネルギー設定によるスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。
- 画像のサイズを変えたり、回転するなど画像を加工するときは、その前にパソコンにコピーすることを忘れないでください。メモリーカードの画像を直接加工すると、カメラで再生ができなくなります。
- パソコンからメモリーカードをフォーマットしないでください。カメラで使用できなくなるおそれがあります。

Macintosh パソコンから USB ケーブルを取り外す

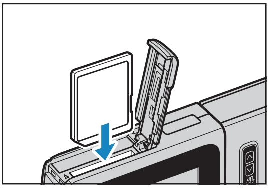
デスクトップ上の［名称未設定］（Mac OS 9 の場合）または［NO_NAME］（Mac OS X の場合）のフォルダーをドラッグしてゴミ箱に入れてください。[安全に取り外すことができます］のメッセージが表示されているか、「名称未設定」のアイコンがディスプレイ上から消えていることを確認してからUSBケーブルを取り外してください。

テレビにつなぐ

≪ビデオ出力端子を使ってテレビにつなぐ≫

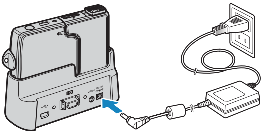
このカメラは撮影した画像をテレビで見ることができます。旅先やご自宅のテレビで、撮影した画像を見ることができます。

1 カメラにメモリーカードを入れる。（→ 26 ページ）



重要　カメラにメモリーカードが入っていないと、テレビで画像を確認できません。

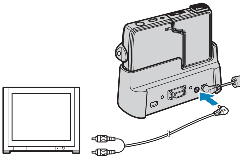
2 カメラを USB クレイドルに取り付け、AC アダプターに接続する。



重要　カメラとテレビの電源は OFF にしてから接続してください。

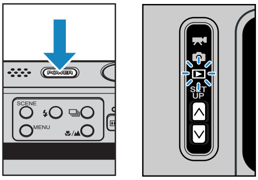
メモ　USB クレイドルの取り付けかたは「USB クレイドルの使いかた」（→ 31 ページ）をご覧ください。

3 付属のビデオケーブルで、カメラを取り付けた USB クレイドルとテレビを接続し、テレビの電源を ON にする。



次へ

4 カメラの電源を ON にし、モードボタン [∧] [∨] を押してモード切替表示 LED の“[▶]”を点灯させる。



テレビに画像が表示されます。
この状態で撮影や再生、 セットアップの機能が使用できます。

重要
- テレビはビデオ入力モードにしてください。
- ビデオケーブル接続中は、液晶モニター表示は OFF になります。
- テレビで画像を見る場合、表示が欠ける場合があります。

メモ このカメラのビデオ出力形式は NTSC 方式と PAL 方式が選べます。テレビの送受信方式は国によって異なりますので、旅先でカメラをテレビにつなぐときはその国の方式を設定してください。設定方法は 169 ページをご覧ください。

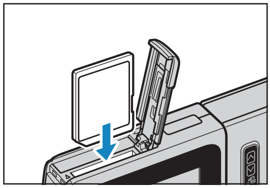
≪ D3 映像入力端子以上に対応したテレビで再生する≫

このカメラは撮影した画像を D3 映像入力端子以上に対応したテレビで見ることができます。D3 映像出力端子からテレビにつなぐと、ビデオ出力端子からつないだ場合より精細な画像で見ることができます。

D 端子とは
デジタルチューナーや DVD などに対応した統一規格のコンポーネント（映像）端子です。
このカメラの有効走査線数は 1080 本です。 D3 映像入力端子または D4 映像入力端子に接続して画像をテレビで見ることができます（D4 映像入力端子に接続しても、D3 映像で表示されます）。D1 映像入力端子、D2 映像入力端子ではテレビで画像を見ることはできません。

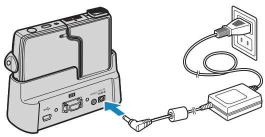
重要
- D3 映像入力端子以上に対応したテレビとの接続は、日本国内のみの機能です。海外ではご利用になれません。
- D3映像入力端子以上に対応したテレビにつなぐと撮影、セットアップの機能は使用できません。
- D3 映像入力端子以上に対応したテレビでの再生では、動画の再生、静止画にアフレコした音声の再生はできません。動画は 1 コマ目のみ表示されます。

1 カメラにメモリーカードを入れる。（→ 26 ページ）



重要　カメラにメモリーカードが入っていないと、テレビで画像を確認できません。

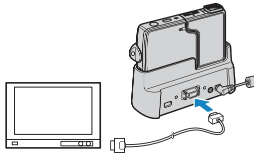
2 カメラを USB クレイドルに取り付け、AC アダプターに接続する。



重要　カメラとテレビの電源は OFF にしてから接続してください。

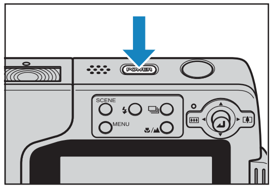
メモ　USB クレイドルの取り付けかたは「USB クレイドルの使いかた」（→ 31 ページ）をご覧ください。

3 D端子ケーブルで、カメラを取り付けたUSBクレイドルとテレビを接続し、テレビの電源をONにする。



重要　D3映像端子の左右のツメがパチッと入るまで、D端子ケーブルを押し込んでください。

4 カメラの電源をONにする。



テレビに画像が表示されます。
再生中は以下の操作ができます。

ボタン操作	説明
選択レバー ▲	ファイル No 表示に切り替えます。(→ 20 ページ)
選択レバー ◀	画像を逆送りに表示できます。
選択レバー ▶	画像を順送りに表示できます。



重要
・D 端子ケーブル接続中は、液晶モニター表示は OFF になります。
・テレビで画像を見る場合、表示が欠ける場合があります。

メモ　動画やアフレコした音声がある静止画は［🎥］や［♪］が表示されます。

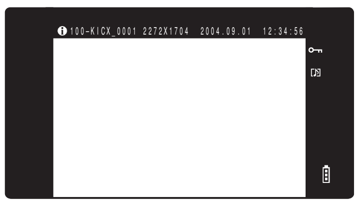
情報を表示する（ファイル No 表示）

《対応画像：静止画／動画》

再生中の画像のファイル名や画素数などの情報を確認できます。

1 画像再生中に選択レバーを ▲ に倒す。

再生中の画像の情報が表示されます。



メモ
・表示される画面の詳細については 20 ページをご覧ください。
・情報を表示している間に MENU ボタン ○MENU を押すと通常の再生画像に戻ります。

[回転] 画像を回転させる

《対応画像：静止画のみ》

画像を右 90˚ または左 90˚ に回転させることができます。

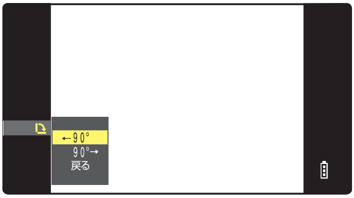
1 画像再生中に MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

2 選択レバーを ▲ に倒して回転 [回転] を選び、◎ を押す。



3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して回転させたい画像を選ぶ。

4 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して回転方向を選び、◎ を押す。



回転した画像が表示されます。

←90˚ ：左に 90˚ 回転します。

90˚→ ：右に 90˚ 回転します。

[戻る] ：メニューアイコンの画面に戻ります。

メモ 続けて画像を回転させるときは、操作３と４を繰り返します。

5 MENU ボタン ○MENU を押す。

重要
- プロテクト画像、リサイズ画像を回転させることはできません。
- 本機以外で撮影した画像は回転できない場合があります。

[ ] 自動的に次々と表示する（スライドショー）

《対応画像：静止画／動画》

画像を撮影した順に一定間隔で表示させせます。画像が切り替わるときの効果（エフェクト）を設定できます。

スライドショーの設定をする

このカメラのスライドショーは、以下の設定ができます。

- 再生間隔　：次の画像を表示するまでの時間
- 開始画像　：最初に再生する画像
- エフェクト　：画像が切り替わるときの効果（エフェクト）

1　画像再生中に MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

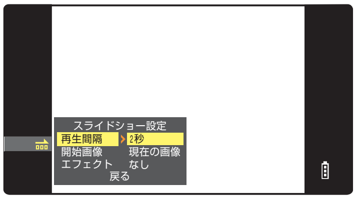
2　選択レバーを ▲ または ▼ に倒してスライドショー［ ］を選び、 を押す。



3　選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［詳細設定］を選び、 を押す。

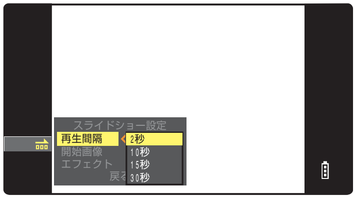


4　選択レバーを ▲ に倒して［再生間隔］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。

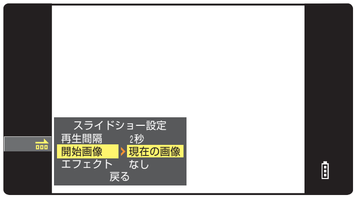


5 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して秒数を選び、◎ を押す。

再生間隔は 2 秒、10 秒、15 秒、30 秒から選べます。

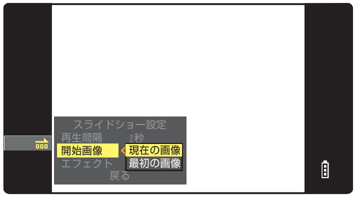


6 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［開始画像］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。

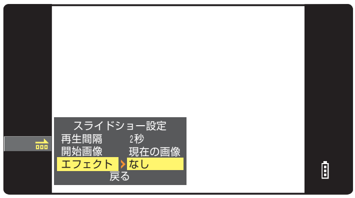


7 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して開始する画像を選び、◎ を押す。

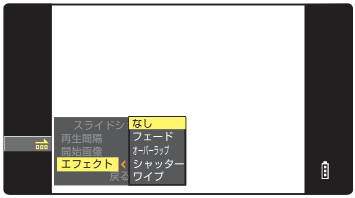
［現在の画像］：表示されている画像から再生されます。
［最初の画像］：ファイル名の番号が若い順から再生されます。



8 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［エフェクト］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



9 選択レバーを ▲ または ▼ に倒してエフェクトを選び、◎ を押す。



［なし］　　　　：エフェクトは設定されません。
［フェード］　　：再生中の画像は徐々に暗くなり、次の画像が徐々に明るくなって表示されます。
［オーバーラップ］：再生中の画像に次の画像が重なり、入れ替わります。
［シャッター］　：黒い幕が上下から閉じて再生中の画像が消えます。その後、黒い幕が上下に開いて次の画像が表示されます。
［ワイプ］　　　：再生中の画像が左から拭き取られるように消え、次の画像に入れ替わります。

10 MENU ボタン ○MENU を押す。

スライドショーの開始と終了

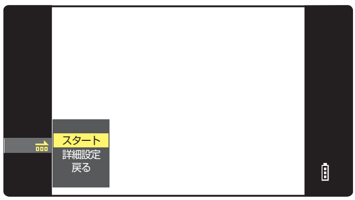
スライドショーの設定については 147 ページをご覧ください。

1 画像再生中に MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒してスライドショー［ ］を選び、◎ を押す。



3 選択レバーを ▲ に倒して［スタート］を選び、◎ を押す。



スライドショーが始まります。

メモ　MENU ボタン ○MENU を押すと、スライドショーを途中で終了します。

[O━] 画像を消せないようにする（プロテクト）

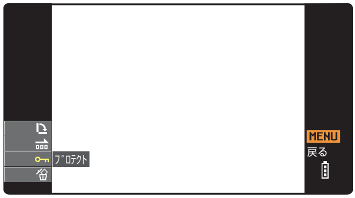
《対応画像：静止画／動画》

大切な画像を間違えて消さないように保護（プロテクト）することができます。

プロテクトする

1 画像再生中に MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒してプロテクト［O━］を選び、⊙ を押す。

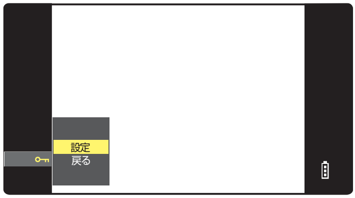


3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してプロテクトしたい画像を選ぶ。

4 選択レバーを ▲ に倒して［設定］を選び、⊙ を押す。

［O━］マークが表示され、プロテクトが設定されます。

メモ 続けてプロテクトするときは、操作３と４を繰り返します。



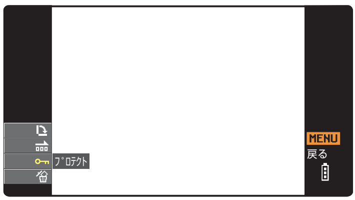
5 MENU ボタン ○MENU を押す。

重要 プロテクトした画像は、［全消去］（→ 98 ページ）では残りますが、［フォーマット］（→ 153 ページ）すると消去されてしまいますのでご注意ください。

プロテクトを解除する

1 画像再生中に MENU ボタン ○MENU を押してメニューアイコンを表示させる。

2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒してプロテクト［O━］を選び、⊙ を押す。



3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒してプロテクトを解除したい画像を選ぶ。

プロテクトされた画像には［ ］が表示されます。

4 選択レバーを ▲ に倒して［解除］を選び、 を押す。



プロテクトが解除されます。

メモ　続けてプロテクトを解除するときは、操作 3 と 4 を繰り返します。

5 MENU ボタン を押す。

[ ] 画像を一枚だけ消す（消去）

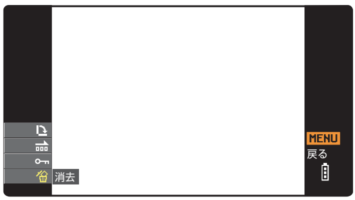
《対応画像：静止画／動画》

画像を一枚だけ消去することができます。

重要
- プロテクトされた画像（→ 99 ページ）は消すことができません。
- アフレコした画像（→ 102 ページ）を消去すると、音声も一緒に消えます。

1 画像再生中に MENU ボタン を押してメニューアイコンを表示させる。

2 選択レバーを ▼ に倒して消去 [ ] を選び、 を押す。



3 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して消去したい画像を選ぶ。

4 選択レバーを ▲ に倒して［実行］を選び、 を押す。



画像が消去され、次の画像が表示されます。
他に画像がない場合は「画像がありません」と表示されます。

メモ　続けて消去するときは、操作 3 と 4 を繰り返します。

5 MENU ボタン を押す。

設定

この章では、様々なカメラの設定について説明します。

▼ご覧になりたい項目をクリックしてください。

- メモリーカードをフォーマットする（フォーマット）
- 液晶の明るさを調節する（液晶の明るさ）
- 画像に日付を入れる（日付写し込み）
- オート OFF を設定する（オートOFF）
- 操作音を調節する（操作音）
- シャッター音を調節する（シャッター音）
- 起動画面を設定する（起動画面）
- 撮影直後の画像を表示する（RECレビュー）
- 言語を選ぶ（言語LANGUAGE）
- ビデオ出力の設定をする（ビデオ出力）
- 起動時のモードを選ぶ（起動モード）
- 画像情報の表示方法を選ぶ（情報表示）
- ファイル名の連番をリセットする（連番リセット）
- 設定をリセットする（設定リセット）

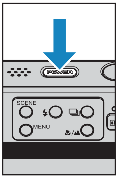
[フォーマット]　メモリーカードを初期化する

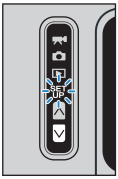
新しいメモリーカードを使う前や、画像を含むすべてのファイルを消去したいときは、メモリーカードをフォーマットします。

重要
- 本機の性能を充分に発揮するため、フォーマットは本機で行うことをおすすめします。
- フォーマットすると、プロテクトした画像も消去されますのでご注意ください。

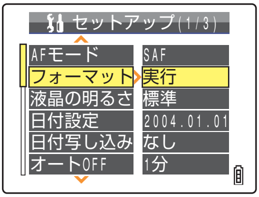
1 電源をONにし、モードボタン∨を押してモード切替表示LEDの“SET UP”を点灯させる。

セットアップメニュー画面が表示されます。



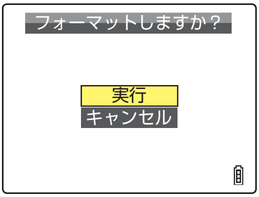


2 選択レバーを▲または▼に倒して[フォーマット]を選び、選択レバーを▶に倒す。



3 選択レバーを▲に倒して[実行]を選び、Ⓞを押す。

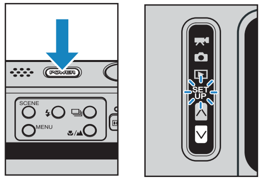
フォーマットが始まります。
フォーマットが完了するとセットアップメニュー画面に戻ります。



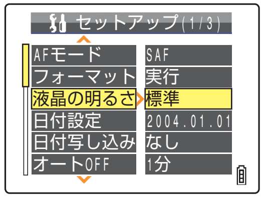
[液晶の明るさ]　液晶モニターの明るさを調節する

液晶モニターの明るさを 5 段階で調節できます。お好みに応じて設定してください。

1 電源をONにし、モードボタン▽を押してモード切替表示 LED の “SET UP” を点灯させる。



2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [液晶の明るさ] を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して明るさを選び、◎ を押す。



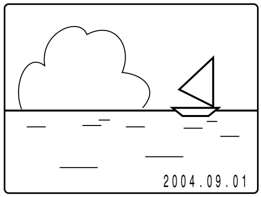
選んだ明るさが設定されます。

[＋2]　：明るさが一番明るい設定です。
[＋1]　：標準よりもやや明るい設定です。
[標準]　：一般的な明るさです。（初期設定）
[－1]　：標準よりもやや暗い設定です。
[－2]　：明るさが一番暗い設定です。

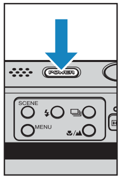
メモ　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

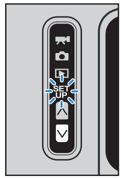
[日付写し込み]　画像に日付を入れる

画像に日付を写し込むことができます。

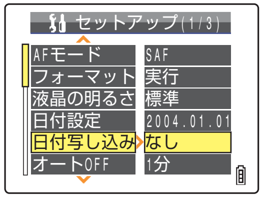


1 電源をONにし、モードボタン▽を押してモード切替表示 LED の“SET UP”を点灯させる。



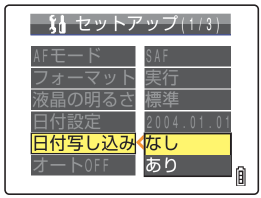


2 選択レバーを▲または▼に倒して[日付写し込み]を選び、選択レバーを▶に倒す。



3 選択レバーを▲または▼に倒して日付の[なし]または［あり］を選び、Ⓞを押す。

選んだ設定が反映されます。



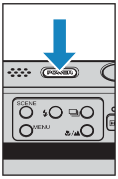
重要　［日付写し込み］を［あり］に設定して撮影された画像を、［DPOF］（→ 114 ページ）の［日付印字］を［あり］に設定してプリントすると、日付が二重に印字されます。

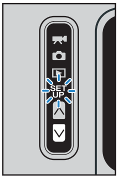
メモ
- この設定は電源を OFF にしても保持されます。
- ［日付写し込み］を［なし］に設定すると、電源を ON にしたときに 3 秒間だけ日付が表示されます。
- 日付は画像の右下に書き込まれます。書き込まれた日付だけを消去することはできません。
- 日付を写しこんだ部分の背景が白や黄色のように明るいときは、日付の数字が見づらくなることがあります。

[オート OFF]　電源を自動的に OFF にして節電する

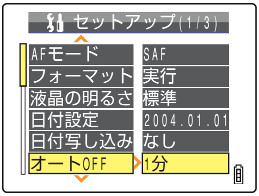
このカメラは電源の切り忘れによるバッテリーの消費を少なくするため、電源をON にしたまま放置しておくと数分後にカメラの電源が OFF になるオート OFF 機能が付いています。オート OFF 機能を使うと、カメラは設定時間後に休止状態になり、その 2 分後に電源が OFF になります。休止状態になると液晶モニターの表示が消えます。
ここではカメラが休止状態になるまでの時間を設定できます。

1　電源をONにし、モードボタン を押してモード切替表示 LED の“SET UP”を点灯させる。



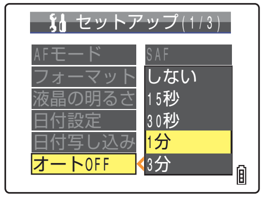


2　選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [オート OFF] を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



次へ

3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して時間を選び、⏎ を押す。



選んだ設定が反映されます。

[しない] ：電源は自動的に OFF になりません。切り忘れにご注意ください。

[15 秒] ：“📷” モード、“🎥” モードでは 15 秒後に液晶モニターの表示が消えます。“▶” モード、“SET UP” モードでは 1 分後に電源が OFF になります。

[30 秒] ：“📷” モード、“🎥” モードでは 30 秒後に液晶モニターの表示が消えます。“▶” モード、“SET UP” モードでは 1 分後に電源が OFF になります。

[1 分] ：“📷” モード、“🎥” モードでは 1 分後に液晶モニターの表示が消えます。“▶” モード、“SET UP” モードでは 1 分後に電源が OFF になります。（初期設定）

[3 分] ：“📷” モード、“🎥” モードでは 3 分後に液晶モニターの表示が消えます。“▶” モード、“SET UP” モードでは 3 分後に電源が OFF になります。

重要 以下の場合は、オート OFF になりません。

- スライドショー実行中
- 動画撮影 / 再生中
- 連写再生中
- PC モード時（パソコンとカメラの接続中）
- PictBridge 対応プリンター接続中

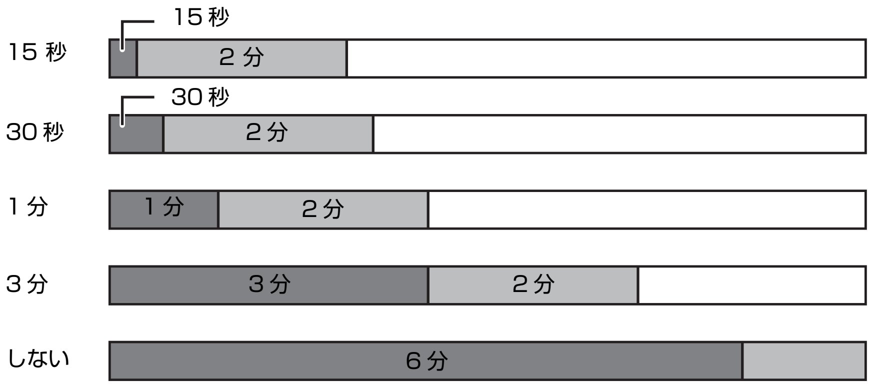
メモ この設定は電源を OFF にしても保持されます。

■オート OFF 使用上のご注意（“ ” モード、“ ” モードのとき）

オート OFF の設定により、カメラは以下のように動作します。

● ［オート OFF］ を ［15 秒］、［30 秒］、［1 分］、［3 分］ に設定したとき
電源を ON にしたまま設定時間以上カメラを放置すると、2 分間液晶モニターの表示が消えます。
この間にシャッターボタンを半押しするか他のボタンを押すと、撮影できる状態に戻りますが、この 2 分間を超えるとカメラの電源が OFF になります。

● ［オート OFF］ を ［しない］ に設定したとき
電源を ON にしたまま 6 分間以上カメラを放置すると、液晶モニターの表示が消えます。
カメラの電源は OFF にならずに液晶モニターの表示が消えた状態が続きます。シャッターボタンを半押しするか他のボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。



：撮影可能な状態。

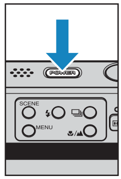
：液晶モニターの表示が消えた状態。シャッターボタンを半押しするか他のボタンを操作すると、撮影できる状態に戻る。（休止状態）

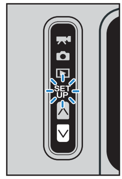
：電源が OFF の状態。

[操作音]　ボタンを押したときの音量を調節する

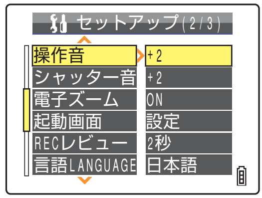
各ボタンを押したときの操作音とカメラの起動音の音量を調節します。

1 電源をONにし、モードボタン∨を押してモード切替表示 LED の "SET UP" を点灯させる。





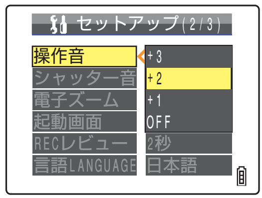
2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［操作音］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して音量を選び、⏎を押す。

選んだ音量が反映されます。

[＋3] ：音量大
[＋2] ：音量中（初期設定）
[＋1] ：音量小
[OFF] ：操作音を OFF にします。

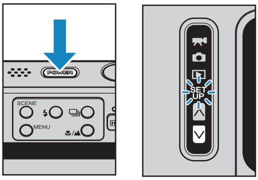


メモ　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

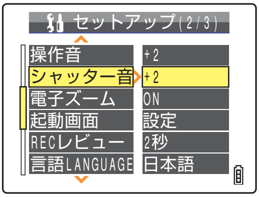
[シャッター音]　シャッター音の音量を調節する

シャッター音の音量を調節します。

1 電源をONにし、モードボタン⋁を押してモード切替表示 LED の“SET UP”を点灯させる。



2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [シャッター音] を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して音量を選び、⏎を押す。

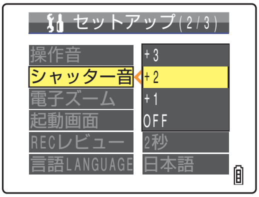
選んだ音量が反映されます。

[＋3] ：音量大

[＋2] ：音量中（初期設定）

[＋1] ：音量小

[OFF] ：シャッター音を OFF にします。



メモ　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

[起動画面]　起動画面を選ぶ

電源を ON にした直後に表示される起動画面を、以下の中から選ぶことができます。

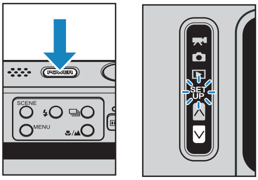
- コンタックスロゴの画面（シングル）：コンタックスロゴの画面が約 1 秒間表示されます。（初期設定）
- コンタックスロゴの画面（マルチ）：コンタックスロゴのアニメーションが約 1 秒間表示されます。
- ユーザー設定画面（シングル）：メモリーカードに保存されている画像から選択し、約 1 秒間表示できます。
- ユーザー設定画面（マルチ）：メモリーカードに保存されている画像の中から複数の画像を選んで、アニメーションのように約 1 秒間連続再生することができます。（10 枚まで）
- OFF 画面：起動画面は表示されません。

メモ　電源を ON にすると、カメラはメモリーカードの確認を行います。このときメモリーカードに記録されているデータが多いと、確認動作が終わるまで起動画面が表示されます。マルチの起動画面を設定している場合は、最後の 1 コマが長く表示されます。

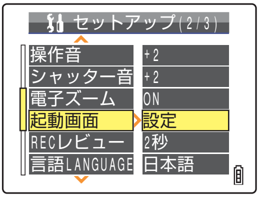
コンタックスロゴの画面にする（シングル／マルチ）

1　電源を ON にし、モードボタン ∨ を押してモード切替表示 LED の "SET UP" を点灯させる。

セットアップメニュー画面が表示されます。

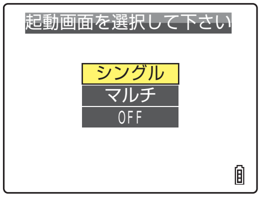


2　選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［起動画面］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



次へ

3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［シングル］または ［マルチ］ を選び、 ◎ を押す。



4 選択レバーを ◀ に倒してコンタックスロゴの画面を選び、 ◎ を押す。

コンタックスロゴの画面が設定され、起動画面デモが 1 秒間表示されたあと、セットアップメニュー画面に戻ります。



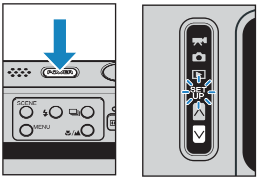
メモ　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

ユーザー設定画面にする（シングル）

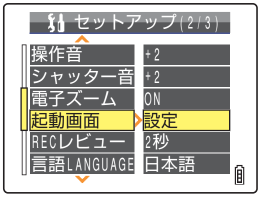
重要　設定したい画像が記録されているメモリーカードが、カメラに入っていることを確認してください。

1 電源をONにし、モードボタン ▽ を押してモード切替表示 LED の "SET UP" を点灯させる。

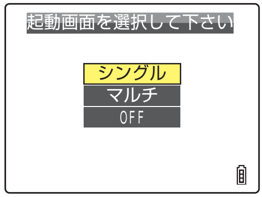
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［起動画面］を選び、 選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ に倒して［シングル］を選び、⏎ を押す。



4 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して中央を選び、選択レバーを ▼ に倒す。



画像選択の画面が表示され、メモリーカードに記録されている静止画が表示されます。

メモ　リセットを選ぶとリセット確認の画面が表示されます。［実行］を選んで ⏎ を押すと、設定されていたユーザー設定画面がメモリーから削除されます。

5 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して画像を選び、⏎ を押す。



画像設定の確認画面が表示されます。

6 選択レバーを ▲ に倒して［設定］を選び、⏎ を押す。



選択した画像がカメラ内のメモリーに保存されます。
ユーザー設定画面が設定され、起動画面デモが 1 秒間表示されたあと、セットアップメニュー画面に戻ります。

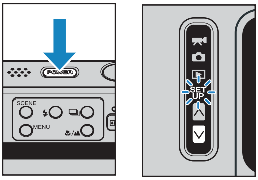
メモ
- この設定は電源を OFF にしても保持されます。
- 設定した画像はカメラ内のメモリーに保存されますので、メモリーカードを変えたり、画像をメモリーカードから消去しても設定した起動画面は変わりません。

ユーザー設定画面にする（マルチ）

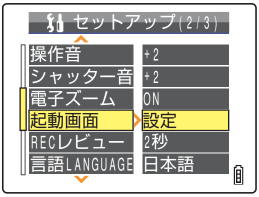
重要 設定したい画像が記録されているメモリーカードが、カメラに入っていることを確認してください。

1 電源をONにし、モードボタン を押してモード切替表示 LED の "SET UP" を点灯させる。

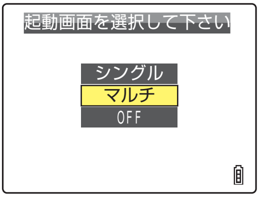
セットアップメニュー画面が表示されます。



2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［起動画面］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［マルチ］を選び、 を押す。



4 選択レバーを ◀ または ▶ に倒して中央を選び、選択レバーを ▼ に倒す。

画像選択の画面が表示され、メモリーカードに記録されている静止画が表示されます。

メモ リセットを選ぶとリセット確認の画面が表示されます。［実行］を選んで を押すと、設定されていたユーザー設定画面がメモリーから削除されます。



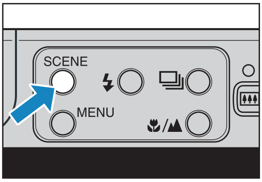
5 選択レバーを◀または▶に倒して画像を選び、Ⓞを押す。



選んだ画像の左下に番号が表示されます。以後、この操作を繰り返して設定したい画像を選びます。

メモ　最大 10 枚まで画像を選ぶことができます。画像を 10 枚選んだ場合、操作 7 に進みます。

6 SCENE ボタンを押す。



画像設定の確認画面が表示されます。

メモ　7 枚以上画像を選んだ場合、選択レバーを ◀ または ▶ に倒すと残りの画像を確認できます。

7 選択レバーを▲に倒して [設定] を選び、Ⓞを押す。

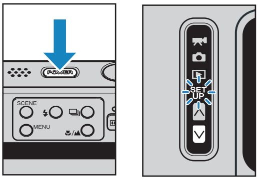


選択した画像がカメラ内のメモリーに保存されます。
ユーザー設定画面が設定され、起動画面デモが 1 秒間表示されたあと、セットアップメニュー画面に戻ります。

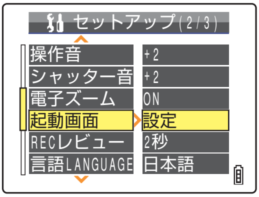
メモ
- この設定は電源を OFF にしても保持されます。
- 設定した画像はカメラ内のメモリーに保存されますので、メモリーカードを変えたり、画像をメモリーカードから消去しても設定した起動画面は変わりません。

起動画面を OFF にする

1 電源をONにし、モードボタン⩒を押してモード切替表示 LED の "SET UP" を点灯させる。

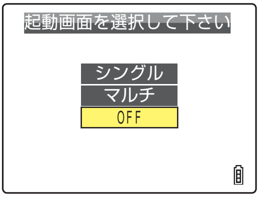


2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［起動画面］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▼ に倒して［OFF］を選び、◎ を押す。

起動画面が OFF になり、セットアップメニュー画面に戻ります。



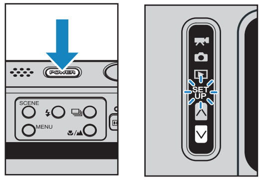
メモ　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

[REC レビュー]　撮影直後に撮った画像を表示する

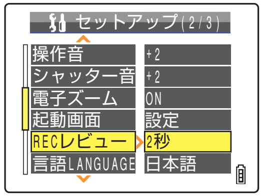
《対応モード：📷》

撮影直後、撮った画像を数秒間表示させるように設定できます。

1 電源をONにし、モードボタン⌄を押してモード切替表示 LED の “SET UP” を点灯させる。



2 選択レバーを▲または▼に倒して [RECレビュー] を選び、選択レバーを ▶ を押す。



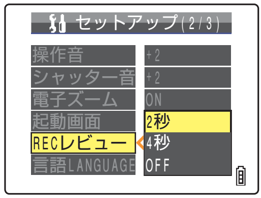
3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して設定したい秒数を選び、⏎ を押す。

表示秒数が設定されます。

[2 秒]：撮影直後に 2 秒間、撮った画像を表示します。(初期設定)

[4 秒]：撮影直後に 4 秒間、撮った画像を表示します。

[OFF]：撮影直後画像を表示しません。



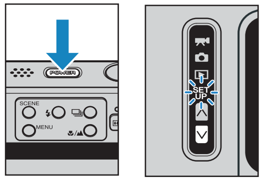
重要　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

[言語 LANGUAGE]　メニューに表示する言語を選ぶ

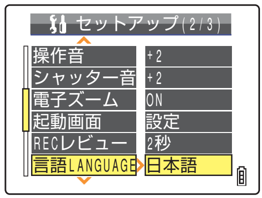
画面に表示する言語を以下の中から選べます。

- 日本語
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- スペイン語
- 中国語（簡体字）

1 電源をONにし、モードボタンを押してモード切替表示 LED の “SET UP” を点灯させる。

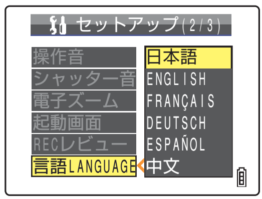


2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［言語 LANGUAGE］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して言語を選び、を押す。

選んだ設定が反映されます。



メモ　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

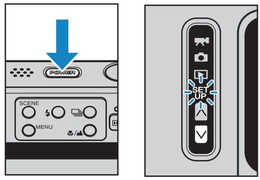
[ビデオ出力]　テレビにつなぐときの出力形式を設定する

USB クレイドルのビデオ出力端子からカメラをテレビにつなぐときは、ビデオ出力形式を NTSC 方式と PAL 方式から選びます。テレビの送受信形式は国によって異なりますので、旅先でカメラをテレビにつなぐときはその国の形式を設定してください。

※日本は NTSC 形式です。

メモ　この設定に関係なく D 端子ケーブルでつなぐと自動的に D3 出力形式になります。

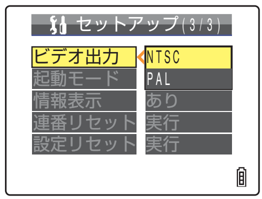
1 電源をONにし、モードボタン を押してモード切替表示 LED の “SET UP” を点灯させる。



2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [ビデオ出力] を選び、 選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを ▲ または ▼ に倒してビデオ出力形式を選び、 を押す。



選んだ設定が反映されます。

[NTSC]：日本やアメリカで使われているビデオ出力形式です。（初期設定）

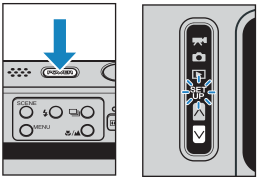
[PAL]　：おもにヨーロッパで使われているビデオ出力形式です。

メモ　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

[起動モード]　カメラを起動したときのモードを設定する

カメラの電源をONにしたときのモードを静止画モードにするか、前回電源OFF時のモードにするか選ぶことができます。

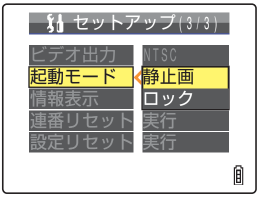
1 電源をONにし、モードボタン∨を押してモード切替表示LEDの“SET UP”を点灯させる。



2 選択レバーを▲または▼に倒して[起動モード]を選び、選択レバーを▶に倒す。



3 選択レバーを▲または▼に倒してモードを選び、⏎を押す。



選んだ設定が反映されます。

[静止画]：カメラの電源を ON にしたときに、静止画モードになります。（初期設定）

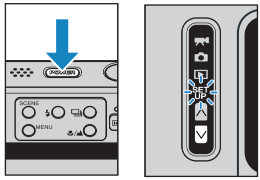
[ロック]：カメラの電源を ON にしたときに、前回電源 OFF 時のモードになります。

メモ　この設定は電源を OFF にしても保持されます。

[情報表示]　画面の情報を表示する方法を選ぶ

“ ”モードや“ ”モードでは、たくさんのアイコンが液晶モニターに表示されます。撮影のときにアイコンが邪魔になる場合は、表示を変えて画面を見やすくすることができます。

1　電源をONにし、モードボタン を押してモード切替表示LEDの“SET UP”を点灯させる。



2　選択レバーを ▲ または ▼ に倒して［情報表示］を選び、選択レバーを ▶ に倒す。

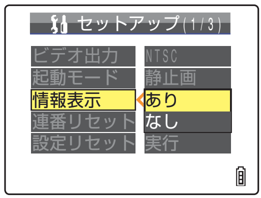


3　選択レバーを ▲ または ▼ に倒して表示方法を選び、 を押す。

選んだ設定が反映されます。

［あり］：設定しているすべてのアイコンと画面情報が表示されます。（初期設定）

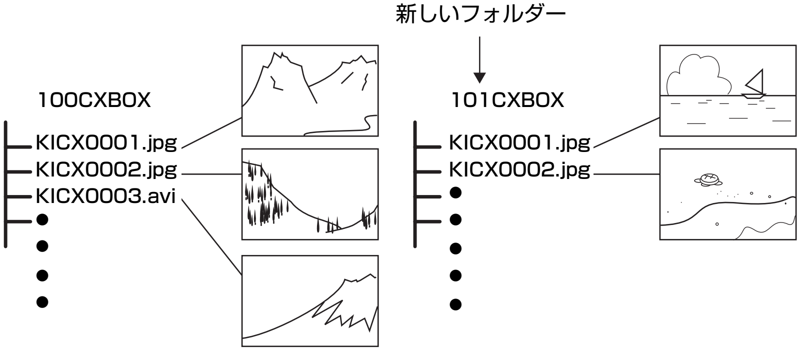
［なし］：ストロボモードアイコン、マクロ／遠景モードアイコン、シーンモードアイコン、電子ズーム倍率、日付が表示されます。



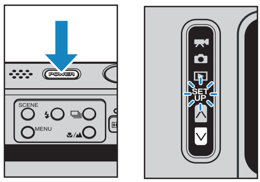
メモ　この設定は電源をOFFにしても保持されます。

[連番リセット]　画像ファイルの名前を 0001 から始める

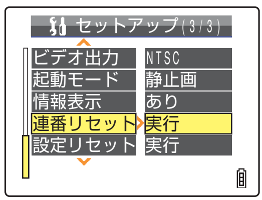
このカメラで撮影した画像は連続した番号が順にファイル名に付けられ、「100CXBOX」というフォルダーに保存されています。
連番リセットを行うと、新しく「101CXBOX」というフォルダーが作られ、以後、撮影される画像はそのフォルダーに保存されます。ファイル名は新しく「0001」から番号が付けられます。
撮影シーンごとにフォルダーを変えたいときなどに連番リセットは便利です。



1 **電源をONにし、モードボタン⍌を押してモード切替表示 LED の “SET UP” を点灯させる。**



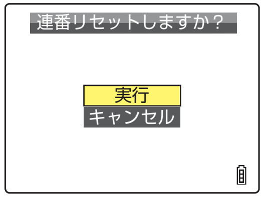
2 **選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [連番リセット] を選び、選択レバーを ▶ に倒す。**



次へ

3 選択レバーを▲に倒して[実行]を選び、を押す。

連番がリセットされ、セットアップメニュー画面に戻ります。



メモ

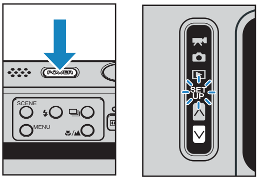
- 作成できるフォルダーは、「100CXBOX」～「999CXBOX」です。
- 「999CXBOX」があるときは、連番リセットができません。
- フォルダー番号をリセットして「100CXBOX」に戻す場合は、メモリーカードを入れずに連番リセットを行い、フォーマット済みのメモリーカードを入れて撮影してください。

[設定リセット]　設定した機能を初期状態に戻す

設定したモードやメニューを初期状態に戻したいときに使います。

1 電源をONにし、モードボタン⌵を押してモード切替表示 LED の "SET UP" を点灯させる。

セットアップメニューが表示されます。

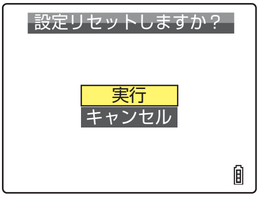


2 選択レバーを ▲ または ▼ に倒して [設定リセット] を選び、選択レバーを ▶ に倒す。



3 選択レバーを▲に倒して [実行] を選び、Ⓔを押す。

設定がリセットされ、セットアップメニュー画面に戻ります。



メニューと初期設定の一覧表

モード	メニュー	OFF 後	初期設定	ページ
静止画モード 動画モード	ストロボモード	初	AUTO	58
	連写モード	前	単写	39
	シーンモード	前	ノーマル	48
	/ マクロ / 遠景モード	初	ノーマル	51
	/ セルフタイマー	初	OFF	53
	画素数	前	2272 × 1704	73
	画素数	前	320 × 240	73
	フレームレート	前	30fps	44
	/ 露出補正	初	± 0.0	62
	/ ホワイトバランス	前	AUTO	75
	ISO	前	AUTO	64
	測光モード	前	評価測光	66
	/ フォーカス	前	マルチ AF	68
	彩度	前	標準	77
	シャープネス	前	標準	79

OFF 後 ：電源を OFF にした後のメニューの設定状態
初 ：初期設定に戻る
前 ：電源を OFF にする前の設定を保持する
— ：対象外

モード	メニュー	OFF 後	初期設定	ページ
SET UP セットアップモード	AF モード	前	SAF	72
	フォーマット	—	—	153
	液晶の明るさ	前	標準	154
	日付設定	前	—	29
	日付写し込み	前	なし	155
	オート OFF	前	1 分	156
	操作音	前	+2	159
	シャッター音	前	+2	160
	電子ズーム	前	ON	56
	起動画面	前	コンタックスロゴの画面（シングル）	161
	REC レビュー	前	2 秒	167
	言語 LANGUAGE	前	お客様が設定された言語	168
	ビデオ出力	前	NTSC	169
	起動モード	前	静止画	170
	情報表示	前	あり	171
	連番リセット	—	—	172
	設定リセット	—	—	174

OFF 後 ：電源を OFF にした後のメニューの設定状態
初 ：初期設定に戻る
前 ：電源を OFF にする前の設定を保持する
— ：対象外

困ったときには

故障とお考えになる前に、以下の事項を確認してください。

現象と処置

現象	原因	処置	ページ
液晶モニターに何もでてこない。	バッテリー切れ、またはリチウムイオンバッテリーパックが入っていません。	リチウムイオンバッテリーパックをカメラに入れて充電してください。	23 25
	オート OFF 機能で電源が OFF になりました。	再度 POWER ボタン (POWER) を押して ON にしてください。	28
液晶モニターが消えている。	カメラの操作を行わずにしばらく放置すると、カメラが休止の状態になります。	シャッターボタンを半押しするか、他のボタンを操作すると、撮影できる状態に戻ります。オート OFF で設定した内容によって異なります。	156
	カメラの近くに磁石やテレビなどの磁気を発生するものがあります。	磁気を発生するものからカメラを遠ざけてください。	—
	カメラを取り付けた USB クレイドルにビデオケーブルがつながっています。	ビデオケーブルを USB クレイドルから外します。	142
テレビに映らない。	ビデオ出力方式がテレビと合っていません。	ビデオ出力方式をテレビに合わせてください。	169
撮影したのに撮影可能枚数が変わらない。	撮影した画像の容量が少ないためです。	画素数や被写体の状態によるものなので、問題ありません。	—
画像が消去できない。“O━”点灯	画像がプロテクトされています。	プロテクトを解除してください。	99
画像を消去したのに撮影可能枚数が増えない。	消去した画像の容量が少なかったためです。	画素数や被写体の状態によるものなので、問題ありません。	—

次へ

現象	原因	処置	ページ
充電ができない。	リチウムイオンバッテリーパックが入っていません。	リチウムイオンバッテリーパックをカメラに入れてください。	23
	リチウムイオンバッテリーパックの＋－の向きが逆になっています。	リチウムイオンバッテリーパックを正しく入れ直してください。	23
	AC アダプターが正しくつながっていません。	カメラやコンセントにしっかりと接続し直してください。	25
	バッテリーパックの接点が汚れています。	接点を柔らかいきれいな布で拭いてください。	—
充電ができない。または、中断してしまう。警告 LED 遅い点滅	周囲の温度が高すぎるまたは低すぎるため、充電保護回路が働いて充電を停止しました。	周囲の温度が＋ 10 ℃～ 30 ℃の範囲で充電してください。（＋ 5 ℃～ 40 ℃でも充電可能ですが、充電時間が多少遅くなります。）	—
カメラが熱くなる。	液晶モニター使用時は大量に電流が流れるため長時間使用すると熱くなります。	故障ではありませんが、しばらく休止してからお使いください。	—
警告 LED 遅い点滅	ストロボの充電中です。	一旦シャッターボタンから指を離してお待ちください。	22
警告 LED 速い点滅	カメラぶれ警告です。シャッタースピードが遅くなります。	安定したところにカメラを設置して撮影してください。	22
ピントが合わない。撮影マーク点滅。	ピントが合いにくい被写体を撮影しています。	フォーカスロックを使って被写体のコントラストの強いところにピントを合わせてから、構図を決めて撮影してください。	70
真っ白な画像ばかり撮れてしまう。	露出オーバーです。	露出補正を－に設定する、または設定リセットを行ってください。	62 174
画像のノイズが多い。	ISO 感度を上げていると、ノイズがでやすくなります。	ストロボを使うか、ISO 感度を下げるなどして撮影してください。	64

現象	原因	処置	ページ
画像の回転、DPOF 設定、プロテクト、フォーマットができない。	SD メモリーカードのライトプロテクトがロック（書き込み禁止）されています。	SD メモリーカードのロックを解除してください。	26
カメラとパソコンをつないでもパソコンに［リムーバブルディスク］、［名称未設定］、［NO_NAME］が表示されない。	USB ケーブルが確実に差し込まれていません。	USB ケーブルをしっかり差し込んでください。	130 138
	キーボードや USB ハブの USB ポートに接続されています。	USB ケーブルをパソコン本体の USB ポートに差し込んでください。	—
	ドライバーがインストールされていない、またはインストールが失敗しています。	デバイスの削除と対処法（Windows 98、Windows 98SE のみ）の手順に従ってください。	135
プリンターと接続して印刷できない。	PictBridge 対応のプリンターではありません。	プリンターの取扱説明書をご覧ください。	—
	プリンターと正しく接続されていません。	プリンターと USB ケーブルで正しく接続されているか確認してください。	119
	動画は印刷できません。	—	—
	プリンターが DPOF プリント対応になっていないと DPOF プリントができません。	プリンターの取扱説明書をご覧ください。	—

メッセージとその処置

メッセージ	原因	処置	ページ
“カードが一杯です”	メモリーカードの記録容量が不足しています。	新しいメモリーカードを入れる、または不要な画像を消去してください。	37
	メモリーカードに9999 枚以上画像が記録されています。		
	メモリーカードに「999CXBOX」フォルダーと「KICX9999.jpg」が記録されています。	必要な画像をパソコンに保存してから、メモリーカードをフォーマットするか、画像を全消去してください。	37
“カードがありません”	メモリーカードが入っていません。	カメラにメモリーカードを入れてください。	26
“ライトプロテクト”	SD メモリーカードのライトプロテクトスイッチがロック（書き込み禁止）されています。	SD メモリーカードのロックを解除する、または他のメモリーカードをご使用ください。	26
“カードエラーです”または“未対応フォーマット”	他の機種でフォーマットされたメモリーカードを使っています。	カメラでメモリーカードのフォーマットをしてください。	153
	このカメラで取り扱いできないフォーマット形式のメモリーカードです。	別のメモリーカードを入れる、またはフォーマットをしてください。	153
	カードが正しく装着されていません。	メモリーカードを装着し直してください。	26
“画像がありません”	メモリーカードに何も記録されていません。	撮影済みのメモリーカードを入れてください。または撮影してください。	—
“再生できません”	ファイル形式が違う画像ファイルがメモリーカードに記録されています。	別のメモリーカードを入れる、またはフォーマットをしてください。	153
“カバーが開いています”	カード／バッテリーカバーが開いています。	カード／バッテリーカバーを閉じてください。	23

メッセージ	原因	処置	ページ
“LOW BATTERY”	バッテリー残量がありません。	バッテリーパックを充電するか、AC アダプターをご使用ください。	25
“プリンタエラーです”	プリンターが印刷不可能な状態になりました。	プリンターを印刷可能な状態にしてください。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。	—
	プリンターとの接続でエラーを検出しました。	もう一度プリンターとの接続からやり直してください。	119
“用紙エラーです” または “インクエラーです”	プリンターが印刷不可能な状態になりました。	プリンターを印刷可能な状態にしてください。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。	—
“ファイルエラーです”	選択した画像をプリンターが印刷できませんでした。	印刷できない画像です。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。	—

デジタルカメラの基本用語解説

AE（自動露出 =Auto Exposure）

被写体の明るさに合わせてカメラが自動的に露出（シャッタースピードと絞り値）を調節する機能です。

AF（オートフォーカス =Auto Focus）

被写体に対してカメラが自動的にピントを合わせる機能です。

CCD（電荷結合素子 =Charge Coupled Device）

レンズから入ってきた光の情報をデジタルデータに変換する部品です。ＣＣＤ はごく小さな部品ですが、この上に光を受ける素子が何十万と並んでいます。その数を画素数といいます。画素数が多いほど光から変換される情報量が多くなり、精巧な画像を撮影できます。

DCF（カメラファイルシステム規格 =Design rule for Camera File system）

デジタルカメラとその関連機器のファイル形式などの規格です。ＤＣＦ 規格に準拠したデジタルカメラであれば、メーカーが異なっていても撮影した画像を相互に利用できることになっています。このカメラも ＤＣＦ 規格に準拠しています。

・ DCF は、（社）日本電子工業振興会（JEIDA）の団体商標です。

DPOF（デジタルプリントオーダーフォーマット =Digital Print Order Format）

デジタルカメラで撮影した画像を、家庭用のプリンターやプリント取扱店で手軽にプリントするための規格です。DPOF に対応したプリンターやプリント取扱店であれば、このカメラ（DPOF に対応しています）で設定したプリント枚数や形式通りにプリントできます。

・ 商標 DPOF は、「デジタルカメラのプリント情報に関するフォーマット、DPOF」に従った製品であることを示すもので、キヤノン株式会社、イーストマンコダック社、富士フイルム株式会社、松下電器産業株式会社が仕様書 Version1.00 に対する著作権を保有しています。

EV（露出値 =Exposure Value）

露出をあらわす値です。絞り値が「F 1」、シャッター速度が「1 秒」のときの露出を「EV=1」とします。露出が半分になる毎に「EV=2」、「EV=3」・・・となります。逆に、露出が倍になる毎に「EV= − 1」、「EV= − 2」・・・・となります。

次へ

ISO（国際標準化機構 =International Organization for Standardidition）感度

ISO が定めた、光を感じる能力をあらわす数値です。この数値が大きいほど感度が高くなり、暗い場所でも撮影できるようになりますが、画像のザラつき（ノイズ）も出やすくなります。

JPEG（Joint Photographic Experts Group）

画像ファイルの圧縮方式のひとつです。ファイルを任意の圧縮率で保存できます。
圧縮率が高いと画像ファイルの容量は小さくなりますが、画質は劣化します。

PictBridge

メーカーや機種に関係なく、デジタルカメラやビデオカメラを USB ケーブルで直接プリンターに接続し、プリントするための標準規格です。

TFT（薄膜トランジスタ =Thin Film Transistor）カラー液晶モニター

このカメラで使用している液晶モニターです。解像度が高く応答性にも優れています。

赤目現象

ストロボを使って撮影したときに、被写体の眼底に光が反射し目が赤く写ってしまう現象です。このカメラには赤目現象を防ぐための赤目軽減発光モードがあります。

撮影マーク

撮影準備が整ったときに液晶モニターに点灯する “●” マークのことです。

絞り

レンズを通る光の量を、レンズ内部にある開口部の大きさを変えて調節するしくみです。

絞り値

絞りの開き具合を示す数値のことです。「F2.8」などのように表され、数値が大きくなるほど開口部が小さくなり、レンズを通る光の量が少なくなります。

シャッタースピード

撮影の際にシャッター（レンズの奥にある幕）の開いている時間です。

焦点距離

レンズからピントの合う被写体までの距離をあらわします。焦点距離が短くなれば写せる範囲が広くなり、焦点距離が長くなれば遠いものが大きく写ります。

ズーム

撮影倍率を段階的に変えることです。被写体を大写しにしていくことを「ズームイン」、逆に縮小していくことを「ズームアウト」といいます。

ズームレンズ

撮影倍率を段階的に変えられるレンズのことです。ズームレンズは焦点距離を変えていくことで撮影倍率を変化させます。

ストロボ

シャッターを開いたとき、瞬間的に強い閃光（フラッシュ）を発生させます。室内や夜間などの暗い場所での撮影に使用します。ただし、多用するとカメラのバッテリーを消耗します。

被写界深度

被写体にピントを合わせたとき、被写体の前後にもピントが合った範囲ができます。ピントが合った範囲が広い場合は「被写界深度が深い」、逆に狭い場合は「被写界深度が浅い」といいます。被写体深度は絞り値が大きい、または被写体とカメラの距離が長いほど深くなります。

被写体

カメラで撮影する対象物のことです。人物を撮影するのであれば人物が、風景を撮影するのであれば風景が被写体となります。

ピント

レンズの焦点（フォーカス）のことで、広義には被写体が鮮明に写っている状態も意味します。焦点が合って、被写体が鮮明に写っている状態を「ピントが合った」、そうでない状態を「ピントがはずれた」と表現します。

フォーマット

メモリーカードの内部を、ファイルが書き込めるように整える作業のことです。フォーマットをするとメモリーカード内のすべてのファイルが消去されます。初期化とも言います。

ホワイトバランス

蛍光灯や白熱灯の光にはそれぞれ微妙な色が付いています。これらの光源の下でそのまま撮影をすると実際とは異なった色になってしまいます。そこで、撮影前に白い被写体を基準にして色調を補正し、実際と同じような色に撮影できるようにします。

無限遠

被写体がレンズからある距離以上に離れるとピントが変化しない状態になります。被写体がピントに変化を生じないほど遠方にある状態を無限遠といいます。

メモリーカード

情報の書き換えが可能な記録媒体です。このカメラでは SD メモリーカードまたはマルチメディアカードが使用できます。

露出

カメラのフィルムやセンサー（このカメラでは CCD）に当たる光の量です。露出はシャッタースピードと絞りの組合せによって調節します。露出によって画像の明るさが決まります。

索引

A
ACアダプター 25
AE（エー・イー、オートエクスポージャー） 182
AEロック 70
AF（エー・エフ、オートフォーカス） 182
AFモード 72
AF連写 39
CAF 72
SAF 72

C
CCD（シー・シー・ディー） 182

D
D3映像出力端子 15
D3映像入力端子以上に対応したテレビ 144
DCF（ディー・シー・エフ） 182
DPOF（ディー・ポフ） 114, 182
インデックスプリント 116

E
EV（イー・ブイ） 182

I
ISO（イソ） 64, 183

J
JPEG（ジェイペグ） 183

L
LED（エル・イー・ディー） 21
カードアクセスLED 14
警告LED 14
セルフタイマーLED 14

M
Macintosh（マッキントッシュ） 137
MENUボタン 14

P
PictBridge（ピクトブリッジ） 119, 183
POWERボタン 14

Q
Quick View（クイック・ビュー） 46

R
REC（レック）レビュー 167

S
SCENEボタン 14
SD（エス・ディー）メモリーカード 26
SET UP（セット・アップ）→（設定）

T
TFT（ティー・エフ・ティー） 183

U
USB（ユー・エス・ビー）
USBケーブル 120, 130, 138
USB端子 15
USBドライバー 128
USB（ユー・エス・ビー）クレイドル 15, 31
USBクレイドル端子 14

W
WB（ダブル・ビー、ホワイトバランス）プリセット 75
Windows（ウィンドウズ） 127

あ
赤目現象 183
アフレコ 102
インフォメーション 20, 46, 83
液晶
液晶の明るさ 154
液晶モニター 14, 17
遠景モード 52
オートOFF 156

か
カード／バッテリーカバー 14
回転 113
画素数 73
カバーガラス 14
カメラケース 32
カメラ接続端子 15

次へ

カメラぶれ　35
起動画面　161
起動モード　170
クリーナー　33
グループ表示　84
言語 LANGUAGE　168

さ

再生　80
彩度　77
撮影可能時間　17, 43
撮影可能枚数　17
撮影マーク　17, 183
シーンモード　48
絞り　183
　絞り値　183
シャープネス　79
シャッター
　シャッター音　160
　シャッタースピード　183
　シャッターボタン　14
　シャッターボタンの半押し　37
消去　95
　全消去　98
　選択消去　96
　複数消去　96
焦点距離　183
情報表示　171
初期化　153
白黒モード　50
シングル表示　87
ズーム　184
　光学ズーム　55
　ズームレンズ　184
　電子ズーム　55
ストラップ　32
ストロボ　184
　ストロボボタン　14
　ストロボマーク　38
スポーツモード　49
スライドショー　90
静止画
　静止画を再生　81
　静止画を撮影　35
設定　152
設定リセット　174
セピアモード　50
セルフタイマー　53
選択レバー　14
操作音　159
測光モード　66

た

テレビ　142
電源入力端子　15
動画
　動画を再生　89
　動画を撮影　42
トワイライトモード　49

は

パソコン　127, 137
バッテリー残量表示　17
バッテリーパック　23
被写界深度　184
被写体　184
日付写し込み　155
日付設定　29
ビデオケーブル　142
ビデオ出力　169
　ビデオ出力端子　15
表示モード　84
ピント　184
ファイル No　46, 83
フォーカス　68
　スポット AF　68
　フォーカスフレーム　17
　フォーカスロック　70
　マルチ AF　68
フォーマット　153, 184
フレームレート　44
プロテクト　99
　プロテクトを解除　100
ポートレートモード　49
ホワイトバランス　75, 184

ま

マクロモード　51
マクロ／遠景ボタン　14
マルチ表示　84
無限遠　184
メニュー　17, 175
メモリーカード　185

モード切替表示 LED　14
モードボタン　14

や

夜景ポートレートモード　49
夜景モード　50
夕焼けモード　49

ら

ライトプロテクト　26
リサイズ　106
　全画像リサイズ　110
　トリミング　106
連写　39
　連写グループ　88
　連写再生　88
　連写ボタン　14
レンズ　14
　レンズフード　14
連番リセット　172
露出　185
　露出補正　62